（様式第10）

京 大 病 サ 企 第 ６ ５ 号
令 和　 元 年 １ ０ 月 ４ 日

厚生労働大臣　　殿

開設者名
国立大学法人京都大学
学長　　山　極　壽　一　　（印）

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成３０年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒 606-8501　　京都府京都市左京区吉田本町
氏　　名	国立大学法人　京都大学

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

京都大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒 606-8507　　京都府京都市左京区聖護院川原町54番地
電話（ 075 ） 751-3111

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に〇印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	☑ 有 ・ □ 無

内科と組み合わせた診療科名等

1 呼吸器内科	2 消化器内科	③ 循環器内科	4 腎臓内科
5 神経内科	6 血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11 リウマチ科

診療実績
呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌内科、代謝内科、感染症内科、アレルギー疾患内科またはアレルギー科、リウマチ科の内容は内科で診療している。
神経内科の診療内容は、脳神経内科にて提供している。

（注）　1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に〇印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科	☑ 有 ・ □ 無
外科と組み合わせた診療科名 ① 呼吸器外科　2 消化器外科　3 乳腺外科　4 心臓外科 5 血管外科　⑥ 心臓血管外科　7 内分泌外科　8 小児外科	
診療実績 消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科の内容は外科で診療している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

① 精神科	② 小児科	③ 整形外科	④ 脳神経外科	⑤ 皮膚科	
⑥ 泌尿器科	7 産婦人科	⑧ 産科	⑨ 婦人科	⑩ 眼科	⑪ 耳鼻咽喉科
⑫ 放射線科	13 放射線診断科	14 放射線治療科	⑮ 麻酔科	⑯ 救急科	

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4)歯科

歯科	□ 有 ・ ☑ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 小児歯科　② 矯正歯科　3 口腔外科	
歯科の診療体制 通常の歯科診療内容は歯科口腔外科で提供している。	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 歯科口腔外科	2 形成外科	3 リハビリテーション科	4 病理診断科	5 脳神経内科
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
60 床	0 床	15 床	0 床	1,046 床	1,121 床

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　　種	常　勤	非常勤	合　計	職　　種	員　数	職　　種		員　数
医　師	537 人	544 人	678.5　人	看護補助者	76 人	診療エックス線技師		0 人
歯科医師	19 人	3 人	20.5　人	理学療法士	25 人	臨床	臨床検査技師	93 人
薬剤師	94 人	3 人	96.3　人	作業療法士	18 人	検査	衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0.0　人	視能訓練士	9 人		その他	0 人
助産師	46 人	1 人	46.7　人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師		0 人
看護師	1,162 人	57 人	1206.4　人	臨床工学士	28 人	医療社会事業従事者		6 人
准看護師	0 人	0 人	0.0　人	栄　養　士	0 人	その他の技術員		130 人
歯科衛生士	6 人	1 人	6.7　人	歯科技工士	2 人	事　務　職　員		417 人
管理栄養士	14 人	1 人	14.7　人	診療放射線技師	65 人	その他の職員		168 人

(注)　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
　　2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
　　3　「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	94 人	眼科専門医	4 人
外科専門医	51 人	耳鼻咽喉科専門医	6 人
精神科専門医	7 人	放射線科専門医	0 人
小児科専門医	16 人	脳神経外科専門医	3 人
皮膚科専門医	7 人	整形外科専門医	16 人
泌尿器科専門医	5 人	麻酔科専門医	13 人
産婦人科専門医	5 人	救急科専門医	12 人
		合　計	239 人

(注)　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
　　2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　　宮本　享　　）　任命年月日　　平成　31年　4月　1日

平成27年4月から平成31年3月まで医療安全管理委員会の委員として医療に係る安全管理の業務に従事した。

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯　科　等　以　外	歯　科　等	合　　計
1日当たり平均入院患者数	832.7 人	14.3 人	847.0 人
1日当たり平均外来患者数	1,802.5 人	76.3 人	1,878.8 人
1日当たり平均調剤数	1,204.4 剤		
必要医師数	195.0 人		
必要歯科医師数	6.0 人		
必要薬剤師数	29.0 人		
必要（准）看護師数	487.0 人		

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	777.87 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	病床数	45 床	心電計	☑ 有 ・ □ 無
			人工呼吸装置	☑ 有 ・ □ 無	心細動除去装置	☑ 有 ・ □ 無
			その他の救急蘇生装置	☑ 有 ・ □ 無	ペースメーカー	☑ 有 ・ □ 無
無菌病室等	［固定式の場合］床面積 806.99 ㎡		病床数 56 床			
	㎡		病床数 床			
	［移動式の場合］台　数 台					
医　薬　品 情報管理室	［専用室の場合］床面積 73.12 ㎡ ［共用室の場合］共用する室名					
化学検査室	591.00 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	全自動生化学分析装置、全自動血球計数装置		
細菌検査室	199.00 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	全自動微生物培養検出装置，全自動細菌培養感受性装置		
病理検査室	349.20 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	密閉式自動固定包埋装置、 全自動H&E染色装置、自動免疫染色装置		
病理解剖室	57.00 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	解剖台、写真撮影装置		
研　究　室	39,073.55 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	電子顕微鏡、遠心分離機		
講　義　室	496.00 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数 2 室	収容定員 329 人		
図　書　室	787.00 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数 7 室	蔵書数 220,023 冊程度		

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹　介　率	80.2 %	逆　紹　介　率	90.9 %
算出根拠	A：紹介患者の数		14,903 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		20,038 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		2,772 人
	D：初診の患者の数		22,035 人

（注）　1　「紹介率」欄は、Ａ、Ｃの和をＤで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2　「逆紹介率」欄は、ＢをＤで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3　Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
潮見　佳男	京都大学副学長（法務・コンプライアンス担当）		総長が指名する副学長	☑ 有 ・ □ 無	3
平野　哲郎	立命館大学　法科大学院　教授		法律に関する専門的知識を有する者	□ 有 ・ ☑ 無	1
佐和　貞治	京都府立医科大学　医療安全管理部　部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	□ 有 ・ ☑ 無	1
伊藤　英樹	広島大学病院　医療安全管理部　部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	□ 有 ・ ☑ 無	1
山口　育子	認定NPO法人　ささえあい医療人権センターCOML　理事長	○	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	□ 有 ・ ☑ 無	2
				□ 有 ・ □ 無	
				□ 有 ・ □ 無	

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	☑ 有 ・ □ 無
委員の選定理由の公表の有無	☑ 有 ・ □ 無
公表の方法 京都大学ホームページ	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	9人
LDLアフェレシス療法	0人
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	8人
MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法	25人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植　重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	2人
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法　肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫（病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。）	3人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断　不明熱（画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。）	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘出　子宮頸がん（FIGＯによる臨床進行期分類がIB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGＯによる臨床進行期分類がIA2期以上及びⅡB期以下の腺がんであって、リンパ節転位及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。）	4人
テモゾロミド用量強化療法　膠芽腫（初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。）	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法　全身性エリテマトーデス（初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。）	0人
マルチプレックス遺伝子パネル検査	21人
FOLFIRINOX療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	再発・難治性成人T細胞白血病に対するアバカビルの有効性および安全性に関する多施設共同治験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 化学療法後の再発もしくは治療抵抗性の成人T細胞白血病(ATL)患者を対象に、 核酸逆転写酵素阻害薬であるアバカビルの有効性と安全性を検討する（第II相医師主導治験）			
医療技術名	DSP-1958の拡大治験	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 悪性リンパ腫患者を対象に、自家造血幹細胞移植の前治療としてDSP-1958を静脈内投与したときの安全性を検討する。（第Ⅲ相、拡大治験）			
医療技術名	急性骨髄性白血病に対するASP2215の第Ⅲ相試験	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 FLT3-ITD遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病患者を対象とした同種造血幹細胞移植後の維持療法におけるASP2215の国際多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照第III相試験			
医療技術名	ステロイド抵抗性の慢性移植片対宿主病に対するルキソリチニブの治験	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 同種幹細胞移植後副腎皮質ステロイド抵抗性急性移植片対宿主病患者を対象としたルキソリチニブとbest available therapyを比較する第III相ランダム化非盲検国際多施設共同試験			
医療技術名	経皮的大動脈弁置換術（TAVR）	取扱患者数	56人
当該医療技術の概要 かつては開胸手術しか選択がなかったがカテーテルによる経皮的僧帽弁形成術が可能となった。治療は全身麻酔下でハイブリッド手術室で施行され、施行施設認定には厳しい条件が付与される。			
医療技術名	エキシマレーザー使用によるデバイスリード抜去術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 感染などの理由で、植え込み術後数年が経過したペースメーカーや除細動器を抜去する必要が生じた場合には、癒着したリードを剥離するエキシマレーザーが必要になることが多い。手術は心臓血管外科のバックアップのもとに、ハイブリッド手術室で行う必要がある。			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術（BPA）	取扱患者数	1人（延26人）
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)に対するバルーン肺動脈形成術は、外科的な接戦内膜摘除が適応とならない末梢型のCTEPHに対して施行している。薬物治療と比較して治療効果も高く、治療後に在宅運動療法から離脱出来たり、薬剤が減量できる症例も多い。			
医療技術名	経カテーテル的心房中隔閉鎖術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 従来開胸手術で閉鎖していた心房中隔欠損を経カテーテル的に閉鎖デバイスを用いて閉鎖するものである。			
医療技術名	経皮的僧帽弁形成術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 重症僧帽弁閉鎖不全症患者に行われる、以前は開胸手術しか選択がなかったが、カテーテルにより僧帽弁をクリップすることにより経皮的僧帽弁形成術が可能となり開胸手術に対しハイリスク患者に治療を行うこと出来るようになった。全身麻酔下でハイブリッド手術室で施行され、施行施設認定には厳しい条件が付与される。			
医療技術名	リードレスペースメーカー	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 血管閉塞、認知症、フレイルなど通常のペースメーカ植え込みが困難あるいはリスクの高い症例、VVI適応の症例について、当院では心臓血管外科のバックアップのもとにリードレスペースメーカ植え込み術を施行している。			
医療技術名	内視鏡的金属マーカー留置術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 動体追尾強度変調放射線治療のため、超音波内視鏡下に金属マーカーを留置するもの			

医療技術名	免疫沈降法を用いた自己抗体スクリーニング	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 免疫沈降法を用いた自己抗体スクリーニングにより、保険診療で測定できない自己抗体を同定することによる診断と治療法選択の補助。			
医療技術名	家族性パーキンソン病の遺伝子診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 パーキンソン病では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性てんかんの遺伝子診断	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 てんかんでは遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性脊髄小脳変性症の遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 脊髄小脳変性症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性運動ニューロン疾患の遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 運動ニューロン疾患では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	認知症の遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 認知症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている			
医療技術名	脳機能外科における複合的高次脳機能マッピング	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 難治部分てんかん・脳腫瘍の術前・術中脳機能評価において、高次脳機能課題の事象関連電位測定、皮質電気刺激による課題遂行の評価を用いて、複合的な高次脳機能マッピングを行い、術後の高次脳機能温存に応用している。			
医療技術名	がんクリニカルシーケンス検査	取扱患者数	111人
当該医療技術の概要 当院では、自費診療となるが、がんクリニカルシーケンス検査として、224遺伝子パネルであるOncoPrime、リキッドバイオプシーのGuardantを提供している。			
医療技術名	RIC （Radial Incision and Cutting）	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 食道癌や直腸癌に対する内視鏡治療後狭窄、手術後吻合部狭窄などの良性狭窄に対し、内視鏡を用いて切開を加え狭窄を解除する治療を行っている。			
医療技術名	透析患者における抗がん薬治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 血液透析中のがん患者に対して、血中濃度を測定し、薬物動態を検討しながら、抗がん薬治療を行っている。			
医療技術名	トラスツズマブ、ラパチニブ	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 HER2/ErbB2 陽性の原発性乳癌患者を対象とした術後補助療法におけるラパチニブ単独療法、トラスツズマブ単独療法、両剤の逐次療法、および両剤併用療法に関する無作為化、多施設共同、オープンラベル、第Ⅲ相試験			
医療技術名	Neratinib	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 HER-2/neu過剰発現又は遺伝子増幅のある早期乳癌患者を対象にトラスツズマブ術後補助化学療法後のNeratinib(HKI-272)投与による無作為化二重盲検プラセボ対照試験			
医療技術名	トラスツズマブエムタンシン	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 手術可能なHER2陽性原発性乳癌患者を対象とした術後補助療法としてのアントラサイクリン化学療法後のタキサン+トラスツズマブ+ペルツズマブとトラスツズマブ　エムタンシン+ペルツズマブを比較する多施設共同非盲検ランダム化第Ⅲ相比較試験			

医療技術名	オラパリブ	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 十分な局所性治療及び術前補助化学療法又は術後補助化学療法を終了した高リスク生殖細胞系BRCA1/2変異陽性HER2陰性原発乳癌患者に対する術後補助療法としてのオラパリブの有効性と安全性を評価する無作為化二重盲検並行群間比較プラセボ対照多施設共同第Ⅲ相試験			
医療技術名	MK-3475	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 切除不能の局所再発又は転移性トリプルネガティブ乳癌の化学療法未治療患者を対象としたMK-3475及び化学療法併用投与とプラセボ及び化学療法併用投与を比較する二重盲検、無作為化、第Ⅲ相試験（KEYNOTE-355）			
医療技術名	KHK2375	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 進行・再発乳癌患者を対象としたKHK2375の第Ⅱ相臨床試験			
医療技術名	PD-0332991（サイクリン依存性キナーゼ4/6阻害薬）	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 日本人進行固形癌患者を対象に単剤投与した際，および日本人ER陽性HER2陰性の閉経後進行乳癌患者を対象に1次治療としてレトロゾールと併用投与した際の，有効性，安全性および薬物動態を検討するPD-0332991（サイクリン依存性キナーゼ4/6阻害薬）の第1/2相臨床試験（製造販売後臨床試験）			
医療技術名	アベマシクリブ	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 リンパ節転移陽性、ホルモン受容体陽性、HER2陰性の再発高リスク早期乳癌患者を対象とした標準的な術後内分泌療法単独、とアベマシクリブとの併用の無作為化非盲検第Ⅲ相試験			
医療技術名	アテゾリズマブ（抗PD-L1抗体）	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 手術可能なトリプルネガティブ乳癌患者を対象とした、術後補助療法におけるアテゾリズマブ（抗PD-L1抗体）+アンスラサイクリン/タキサンベースの化学療法と化学療法単独を比較する多施設共同ランダム化非盲検第Ⅲ相試験			
医療技術名	ペルツズマブ	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 手術可能なHER2陽性原発性乳癌における術後療法としての化学療法+トラスツズマブ+プラセボと化学療法+トラスツズマブ+ペルツズマブのランダム化、多施設共同、二重盲検、プラセボ対照での比較試験（製造販売後臨床試験）			
医療技術名	サイクリン依存症キナーゼ(CDK)4/6阻害薬palbociclib(PD-0332991)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ネオアジュバント化学療法後の再発リスクが高いホルモン受容体陽性HER2陰性原発性乳癌患者を対象としたサイクリン依存症キナーゼ(CDK)4/6阻害薬palbociclib(PD-0332991)を評価する第Ⅲ相試験「PENELOPEB」			
医療技術名	エリブリンメシル酸塩	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 Triple negative乳癌における、エリブリンメシル酸塩を用いた術前化学療法多施設共同無作為化第Ⅱ相臨床試験			
医療技術名	抗PD-1抗体薬	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 HER2陰性転移性乳癌に対する抗PD-1抗体薬+放射線療法の安全性、有効性および免疫学的バイオマーカーとの関連を探索する臨床試験　－第Ⅰb/Ⅱ相試験－			
医療技術名	パルボシクリブ	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 PALLAS:PALbociclib CoLlaborative Adjuvant Study（パルボシクリブの術後補助療法に関する共同研究）ホルモン受容体陽性（HR+）／ヒト上皮成長因子受容体2（HER2）陰性の早期乳がんに対するパルボシクリブと標準的な術後補助内分泌療法の併用と標準的な術後補助内分泌療法単独を比較する無作為化第Ⅲ相試験			
医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 生体ドナーから肝臓を提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			

医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 脳死ドナーから肝臓を提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	膵島移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 ドナーから膵臓を提供いただき膵島を分離した後、レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	膵臓移植	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 ドナーから膵臓を提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	小腸移植	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 ドナーから小腸を提供いただきレシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	難治緑内障に対するチューブシャント手術	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 従来の緑内障手術や点眼加療では十分な眼圧下降が得られない難治性緑内障にたいして、バルベルト®緑内障インプラントやアーメド緑内障バルブを用いた治療を行い、良好な治療成績が得られている。			
医療技術名	preperimetric glaucomaのOCTを用いた形態学的検査法	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 緑内障は進行すれば失明につながる疾患であり、早期発見が重要であるが、OCTなどの眼底イメージングを用いた前視野緑内障の診断を行っている。			
医療技術名	増殖糖尿病網膜症に対する小切開硝子体手術	取扱患者数	約30人
当該医療技術の概要 難治性の網膜疾患である増殖糖尿病網膜症に対して、低侵襲な小切開硝子体手術を行い、合併症が少なく、良好な治療成績を得ている。			
医療技術名	糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF療法	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 難治性の慢性疾患である糖尿病黄斑浮腫への新規治療である抗VEGF療法を行った。			
医療技術名	糖尿病網膜症の新規眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	約110人
当該医療技術の概要 糖尿病網膜症に対して、光干渉断層計、光干渉断層計血管撮影、超広角眼底撮影などの眼底イメージングを用いて客観的な評価を行った。			
医療技術名	滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法	取扱患者数	約400人
当該医療技術の概要 滲出型加齢黄斑変性に対して、アフリベルセプトまたはラニビズマブ硝子体注射を行った。			
医療技術名	萎縮型加齢黄斑変性及びその前駆病変の眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	約320人
当該医療技術の概要 萎縮型加齢黄斑変性およびその前駆病変(ドルーゼン)の患者に対して、カラー眼底写真、蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、眼底自発蛍光などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	次世代シーケンサーを用いた網膜色素変性の遺伝子変異診断	取扱患者数	68人
当該医療技術の概要 網膜色素変性を含む遺伝性網膜変性疾患に対し、次世代シーケンサーを用いた網羅的な遺伝子解析を行い、約半数の症例で原因となる遺伝子変異を同定した。			
医療技術名	仮面症候群及び急性網膜壊死に対する硝子体手術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 仮面症候群は悪性腫瘍に伴うブドウ膜炎で、予後不良の疾患である。また、急性網膜壊死はヘルペスウイルスによる視力障害が重篤な疾患である。これらに対して、診断目的もしくは視機能改善を目指した硝子体手術を施行した。			

医療技術名	難治性不妊症患者に対する自己末梢血リンパ球を用いた免疫療法	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 複数回に渡る形態良好胚を移植しても妊娠にいたらない難治性不妊患者に対して自己末梢血リンパ球を一定期間培養した後、胚移植に先んじて子宮内に投与する方法			
医療技術名	子宮内膜癌に対する体腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の実施(III期)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 リンパ節転移を伴う子宮体がん症例に対して、腹腔鏡下で傍大動脈及び骨盤内リンパ郭清を行う。			
医療技術名	びまん性子宮腺筋症患者に対する3-flap法による腺筋症核出術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 子宮体部全体が腺筋症に置き換わった症例に対して3-flap法を用いて腺筋症核出、及び子宮再建を行う方法。			
医療技術名	小児・若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵巣組織凍結保存	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、卵巣組織を腹腔鏡にて摘出し、保存する方法。			
医療技術名	小児・若年女性のがん患者における妊孕能温存のための卵巣組織凍結保存	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、体外受精と同様の方法で、未受精卵子を採卵し、凍結保存する方法。			
医療技術名	小児カテーテル治療	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要 経皮的心臓内手術をカテーテルにより行う			
医療技術名	胎児心エコー診断	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 胎児期に心臓エコーで先天性心疾患を診断			
医療技術名	胎児心臓病治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 主に不整脈疾患の胎児心臓病治療			
医療技術名	在宅肺高血圧治療薬持続点滴	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 重症肺高血圧治療の一環として在宅点滴医療			
医療技術名	CAR-T細胞療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 再発/難治急性リンパ性白血病に対するCD19　CAR-T細胞治療			
医療技術名	完全体腔内尿路変向術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 体腔鏡下膀胱全摘除術に伴う尿路変向術（回腸導管造設術・回腸利用新膀胱造設術など）を体腔鏡下に実施する事でより低侵襲に手術を行う。			
医療技術名	膀胱前腔温存 ロボット支援体腔鏡下前立腺全摘除術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ロボット支援体腔鏡下前立腺全摘除術の際に膀胱前腔温存を温存するアプローチを採用することで術後の尿失禁を予防する。			
医療技術名	Level 2 以上IVC塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 肝内IVCのレベルまで進展した腫瘍塞栓を伴う腎癌に対する腎摘除術を安全・確実に行う。			

医療技術名	全身化学療法後の精巣腫瘍に対する後腹膜リンパ節郭清	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 全身化学療法後に強固に癒着した後腹膜リンパ節組織を安全・確実に郭清する。			
医療技術名	高気圧酸素治療を併用した骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する外科的治療	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 入院下に高気圧酸素治療を外科的治療（腐骨を含めて骨切除、反復腐骨少量除去等）の前後に1－2クール併用する。			
医療技術名	前立腺癌に対する寡分割定位的強度変調放射線治療	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 前立腺癌に対して寡分割定位的強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することが可能となり、患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	食道癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 食道癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、従来は実現不能だった脊髄への線量を抑え、癌病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	肛門管癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 肛門管癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、外陰部、膀胱、小腸への不要な高線量被曝をを抑え、癌病巣へ必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	永久脱毛予防のVMAT併用全脳全脊髄照射	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 頭蓋内腫瘍に対して強度変調放射線治療を併用した全脳照射を用いることで、病巣への必要な線量を投与し、頭皮への不要な高線量被曝を抑え、従来の治療法と比べ頭髪の永久脱毛を予防することが可能となった。			
医療技術名	Dynamic WaveArc照射法	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 Vero4DRTではその構造上の特徴から、患者を動かすことなく非同一平面からの照射を用いた回転式の強度変調放射線治療を行うことが可能となり、病巣の周囲の正常臓器への線量を通常の回転式強度変調放射線治療よりも低減することが可能となった。			
医療技術名	下部直腸癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 下部直腸癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、小腸、大腸への不要な高線量被曝を軽減し、原発巣と所属リンパ領域へ適切な線量を投与可能となった。			
医療技術名	多発脳転移に対するsingle isocenter volumetric-modulated arc radiosurger	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 多発脳転移に対して強度変調放射線治療と定位放射線治療を併用することにより、短い治療時間で病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	術中3TMRIを用いた頭蓋内腫瘍摘出術	取扱患者数	87人
当該医療技術の概要 頭蓋内腫瘍摘出術中に3TMRIを撮影し、腫瘍摘出や合併症の有無を検査することでより高度な治療を提供する。			
医療技術名	覚醒下手術と機能部位同定を用いた頭蓋内腫瘍・てんかん焦点切除術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 てんかん、脳腫瘍の手術で術中に覚醒し、神経機能マッピング、脳波検査を行ない、より正確な局在診断の上で手術を実施できる。			
医療技術名	移動型CT・術中3TMRIを用いた内視鏡下経鼻的頭蓋底腫瘍摘出術	取扱患者数	36人
当該医療技術の概要 移動型CT・術中3TMRIを用いることでより正確な頭蓋底腫瘍摘出が可能である。			
医療技術名	functional MRI	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 MRIを用いて脳機能マッピングを行い、摘出可能領域を決定する。			

医療技術名	propofolを用いたWADA test	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 頚動脈よりプロポフォールを投与し、優位半球となる言語、記憶機能半球を同定する			
医療技術名	内視鏡下腫瘍摘出術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 小開頭で内視鏡を用いることで、低侵襲頭蓋内腫瘍摘出を行う			
医療技術名	脳磁図(MEG)を用いた脳機能局在の解析	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 脳磁図を用いた脳機能局在、てんかん焦点の同定			
医療技術名	ロボットスーツHALを用いたリハビリテーション	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 脳損傷後運動障害に対するロボットスーツHALを用いたリハビリテーションを行うことで機能回復をはかる			
医療技術名	定位頭蓋内電極(SEEG)を用いたてんかん・脳機能ネットワークの解析	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 脳内に刺入するタイプの電極、及び特殊な固定具を使用することにより、低侵襲での頭蓋内脳波記録を行う。			
医療技術名	flow diverter stentを用いた脳動脈瘤の治療	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 難治性大型脳動脈瘤に対して、flow diverter stentを使用した血管内治療を行う。			
	難治性脳血管障害に対するハイブリッド手術室を使用した複合治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 難治性脳血管障害に対して、ハイブリッド手術室で、直達手術と血管内治療の複合治療を行う。			
医療技術名	右左反転生体肺移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 ドナーの右下葉を、レシピエントの左肺として移植する方法。世界で京都大学でのみ行われている。			
医療技術名	上葉温存生体肺移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 患者の上葉を温存して生体肺移植を行なう方法。世界で京都大学のみで行われている。順調に経過した。			
医療技術名	保険算定外の薬物血中濃度測定	取扱患者数	98検体
当該医療技術の概要 シロリムス、イトラコナゾールなど、治療上必要であるが保険算定外の薬物について、血中濃度測定および解析を行う。			
医療技術名	脳磁図	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 脳磁図はてんかんの患者に対する手術部位の診断や手術方法の選択を含めた治療方針の決定のために欠かせない非侵襲的な脳機能検査法であり、原発性及び続発性てんかん、中枢神経疾患に伴う感覚障害及び運動障害の鑑別診断としても行われる。脳波に比べ優れた空間解像度と、MRI/PETより優れた時間解像度を併せ持つ。脳機能センター、脳神経内科、脳外科、てんかん・運動異常生理学が協力して提供している。			
医療技術名	広帯域脳波解析	取扱患者数	56人
当該医療技術の概要 当科と日本光電工業株式会社とで共同開発した高周波帯域脳波解析ツールを用い、従来の脳波検査で主対象とされていなかった0.1ヘルツ以下、並びに40ヘルツ以上の活動を解析する。ビデオ脳波モニタリング・頭蓋内脳波モニタリング患者の発作時・発作間欠期の脳波にてんかん焦点を同定するために極めて有用である。2018年度は頭蓋内脳波モニタリング2件、ビデオ脳波モニタリング54件を行った。			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　　患　　名	患者数		疾　　患　　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	ベーチェット病	117
2	筋萎縮性側索硬化症	37	57	特発性拡張型心筋症	71
3	脊髄性筋萎縮症	9	58	肥大型心筋症	13
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	27	60	再生不良性貧血	44
6	パーキンソン病	355	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	9	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	43
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	34
11	重症筋無力症	112	66	IgA 腎症	44
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	30
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	68	68	黄色靭帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	22	69	後縦靭帯骨化症	51
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	7
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	86
17	多系統萎縮症	57	72	下垂体性ADH分泌異常症	22
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	51	73	下垂体性TSH分泌亢進症	3
19	ライソゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	12
21	ミトコンドリア病	11	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	148	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	30
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	107
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	101
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	183
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	79
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	30
34	神経線維腫症	35	89	リンパ脈管筋腫症	29
35	天疱瘡	14	90	網膜色素変性症	169
36	表皮水疱症	5	91	バッド・キアリ症候群	16
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	88
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	17
40	高安動脈炎	94	95	自己免疫性肝炎	11
41	巨細胞性動脈炎	4	96	クローン病	176
42	結節性多発動脈炎	37	97	潰瘍性大腸炎	297
43	顕微鏡的多発血管炎	43	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	22	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	46	101	腸管神経節細胞僅少症	1
47	バージャー病	10	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	578	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	240	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	233	106	クリオピリン関連周期熱症候群	9
52	混合性結合組織病	72	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	65	108	TNF受容体関連周期性症候群	2
54	成人スチル病	27	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	19	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	9
113	筋ジストロフィー	12	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	2
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	3
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	9
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	3	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	4	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	2	266	家族性地中海熱	6
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	14	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	19
224	紫斑病性腎炎	6	272	進行性骨化性線維異形成症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	2	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	1	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	7	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	2
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	2
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	1	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	32
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	17
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトースー１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	5

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	1
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	8

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料（一般病棟）7対1入院基本料	・後発医薬品使用体制加算2
・特定機能病院入院基本料（結核病棟）7対1入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算
・オンライン診療料	・入退院支援加算
・超急性期脳卒中加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算1	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1	・特定集中治療室管理料4
・急性期看護補助体制加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・看護職員夜間配置加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・看護補助加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・療養環境加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算2	・精神科急性期治療病棟入院料1
・緩和ケア診療加算	・短期滞在手術等基本料1
・精神科応急入院施設管理加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算	
・総合評価加算	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・精密触覚機能検査
・糖尿病合併症管理料	・抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）
・がん性疼痛緩和指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
・がん患者指導管理料イ	・検体検査管理加算（Ⅰ）
・がん患者指導管理料ロ	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・がん患者指導管理料ハ	・国際標準検査管理加算
・外来緩和ケア管理料	・遺伝カウンセリング加算
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）	・胎児心エコー法
・糖尿病透析予防指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・ヘッドアップティルト試験
・院内トリアージ実施料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	・脳波検査判断料1
・外来放射線照射診療料	・脳磁図
・ニコチン依存症管理料	・神経学的検査
・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	・ロービジョン検査判断料
・がん治療連携計画策定料	・コンタクトレンズ検査料1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・内服・点滴誘発試験
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・画像診断管理加算3
・薬剤管理指導料	・遠隔画像診断
・医療機器安全管理料1	・ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料2	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	・CT撮影及びMRI撮影
・在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料	・冠動脈CT撮影加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・乳房MRI撮影加算
・遺伝学的検査	・頭部MRI撮影加算

施設基準の種類	施設基準の種類
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）
・外来化学療法加算1	・人工中耳植込術
・無菌製剤処理料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・心大血管疾患リハビリテーション料（Ｉ）	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ｉ）	・喉頭形成手術（甲状軟骨固定用器具を用いたもの）
・運動器リハビリテーション料（Ｉ）	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術
・呼吸器リハビリテーション料（Ｉ）	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・がん患者リハビリテーション料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
・歯科口腔リハビリテーション料2	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・精神科作業療法	・乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
・認知療法・認知行動療法1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
・医療保護入院等診療料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・人工腎臓	・同種死体肺移植術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・生体部分肺移植術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・CAD／CAM冠	・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・センチネルリンパ節加算	・経カテーテル大動脈弁置換術
・皮膚移植術（死体）	・経皮的僧帽弁クリップ術
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・磁気ナビゲーション加算
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	・経皮的中隔心筋焼灼術
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの）
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合）
・補助人工心臓	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・植込型補助人工心臓（非拍動流型）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
・腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・輸血管理料Ⅰ
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・コーディネート体制充実加算
・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下肝切除術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・生体部分肝移植術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・同種死体肝移植術	・麻酔管理料（Ⅰ）
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・麻酔管理料（Ⅱ）
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	・外来放射線治療加算
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・高エネルギー放射線治療
・生体部分小腸移植術	・1回線量増加加算
・同種死体小腸移植術	・強度変調放射線治療（IMRT）
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・画像誘導放射線治療（IGRT）
・腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）	・定位放射線治療
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・画像誘導密封小線源治療加算
・生体腎移植術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・膀胱水圧拡張術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・病理診断管理加算2
・人工尿道括約筋植込・置換術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下仙骨膣固定術	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（注）1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
（注）2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	40回
剖検の状況	剖検症例数 45 例 ／ 剖検率 12.9 %

（注） 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1　研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
中分子アゴニスト創薬のロジカルデザイン～ＯＸ４０アゴニスト開発を実施例として～	髙折　晃史	血液内科	12,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
機能的抗体誘導ＨＩＶワクチン開発に関する研究	髙折　晃史	血液内科	1,560,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
ＨＴＬＶ－１感染によるＤＮＡ修復障害と発癌過程の解明と新規治療開発	髙折　晃史	血液内科	20,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
ＨＩＶ感染者等保健福祉相談事業	髙折　晃史	血液内科	750,000	補 委	公益財団法人エイズ予防財団　理事長
慢性移植片対宿主病の病態における好中球細胞外トラップの役割の解明	山下　浩平	血液内科	1,560,000	補 委	文部科学省
マウスB細胞腫瘍モデルを用いたNotchシグナル活性化の意義の解明	錦織　桃子	血液内科	1,430,000	補 委	文部科学省
臨床データ解析による臍帯血移植成績向上のための国際標準アルゴリズム確立	諫田　淳也	血液内科	1,300,000	補 委	文部科学省
造血幹細胞移植における、キメラ抗原受容体（CAR）T細胞を用いた新規前処置の開発	新井　康之	血液内科	1,560,000	補 委	文部科学省
成人T細胞白血病におけるFOXP3発現機序の解明	菱澤　方勝	血液内科	1,560,000	補 委	文部科学省
ＴＫＩ製剤による免疫細胞への影響とＴｒｅｇ減少感受性の検証	北脇　年雄	血液内科	1,950,000	補 委	国立大学法人大阪大学免疫学フロンティア研究センター　拠点長
HIV-1感染症におけるA3Gのアセチル化とVif/HDAC3複合体の役割	白川　康太郎	血液内科	1,430,000	補 委	文部科学省
HIV-1 Vifの細胞内調節機構および機能発現機構の解明	新堂　啓祐	血液内科	1,430,000	補 委	文部科学省
日米医学協力計画を基軸にしたアジアの栄養・代謝に関する疫学・介入研究と人材育成	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	6,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,170,000	補 委	独立行政法人国立病院機構京都医療センター　院長
食によるヘルスケア産業創出コンソーシアム「食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献」	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,999,999	補 委	国立研究開発法人　農業・食品産業技術総合研究機構　理事長
高齢者糖尿病患者の登録・介入・評価	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター理事長　鳥羽　研二
ベトナム国での生活習慣病の進展防止に向けたアプリを用いた栄養指導の開発研究	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,905,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
ヒトサンプルおよび食品成分のメタボロームデータの統合的解析によるマクロ栄養素摂取量に関するバイオマーカーの開発	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	9,997,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
シングルセルエピゲノム解析を用いた膵β細胞増殖制御機構の解明	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	3,250,000	補 委	文部科学省
インクレチン分泌機構の統合的理解：GIPならびにGLP-1分泌の共通点と相違点	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,940,000	補 委	文部科学省
２型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験（Ｊ－ＤＯＩＴ３）	稲垣　暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	300,000	補 委	公益財団法人　日本糖尿病財団　理事長
GIP分泌における脂肪酸受容体の役割についての研究	原田　範雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補 委	文部科学省
CNP/NPR-Bシグナルによる骨伸長促進作用のメカニズムの解明	八十田　明宏	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補 委	文部科学省
肥満症及び糖尿病の治療に向けた新規標的分子の探索	藤田　義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	5,218,400	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
次世代シーケンス技術を用いた、若年発症糖尿病の新規原因遺伝子解明	田中　大祐	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補 委	文部科学省

小計
25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
脂肪酸結合タンパク5（FABP5）によるGIP分泌制御機構の解明	山根　俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補 委	文部科学省
テトラヒドロビオプテリンの褐色脂肪分化・増殖への関与因子の解明と移植医療への応用	藤田　義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補 委	文部科学省
周囲の者との関係性が動機や幸福感に関与する日本人に適した療養支援方法の確立	池田　香織	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,080,000	補 委	文部科学省
ゆるやかなつながりにより心身の健康に複合的効果を及ぼす農の社会的価値の検証	池田　香織	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,730,000	補 委	文部科学省
老化とリンクする解糖系代謝の生物学的効果の解明	三河　拓己	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,170,000	補 委	文部科学省
中性脂肪蓄積心筋血管症に対する中鎖脂肪酸を含有する医薬品の開発	木村　剛	循環器内科	100,001	補 委	国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科長
大動脈弁狭窄症治療の臨床成績を検討するためのレジストリーデータ解析作業	木村　剛	循環器内科	4,225,000	補 委	支出負担行為担当官　国立保健医療科学院　総務部長
心不全発症経過における成人マウス心筋からの転写コアクチベータｐ３００複合体精製	木村　剛	循環器内科	450,000	補 委	独立行政法人国立病院機構京都医療センター　院長
高ずり応力を伴う循環器難病に随伴する出血性合併症予知法の開発	木村　剛	循環器内科	260,000	補 委	国立大学法人東北大学加齢医学研究所　所長
拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	木村　剛	循環器内科	260,000	補 委	国立大学法人九州大学学長
Neoatherosclerosisと退行性血管病変の本態解明と治療法開発	木村　剛	循環器内科	4,550,000	補 委	文部科学省
（国立循環器病研究センターからの受託研究）生体弁置換術後心房細動患者の抗血栓療法に関するレジストリー	木村　剛	循環器内科	24,000	補 委	国立研究開発法人　国立循環器病研究センター理事長
心肥大・心不全に関わる長鎖非コードRNAの機能解析	尾野　亘	循環器内科	4,030,000	補 委	文部科学省
マイクロRNAによる新規免疫チェックポイント阻害療法の開発	尾野　亘	循環器内科	2,990,000	補 委	文部科学省
マイクロＲＮＡと心血管疾患に関する基礎的・臨床的研究	尾野　亘	循環器内科	520,000	補 委	独立行政法人国立病院機構京都医療センター　院長
コレステロール代謝に関わるマイクロＲＮＡ－３３ａ／ｂの制御によるＮＡＦＬＤ、ＮＡＳＨ治療法の開発	尾野　亘	循環器内科	10,886,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
microRNA-33a/bによる包括的代謝調節機構の解明と特異的人工核酸の開発	尾野　亘	循環器内科	4,420,000	補 委	文部科学省
新規血管石灰化マウスを用いた大動脈弁狭窄症のメカニズム解析	芦田　昇	循環器内科	1,560,000	補 委	文部科学省
経口抗凝固薬治療における出血・塞栓症出現に関わる感受性遺伝子のＳＮＰタイピングによる検索	静田　聡	循環器内科	1,000,000	補 委	国立大学法人　滋賀医科大学　学長
3次元プリンターを用いた心血管カテーテル治療シミュレーター開発	齋藤　成達	循環器内科	1,690,000	補 委	文部科学省
先天性ＱＴ延長症候群スプライシング変異を標的とした創薬開発	牧山　武	循環器内科	23,400,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
心臓および全身の飢餓応答としての心不全	加藤　貴雄	循環器内科	1,560,000	補 委	文部科学省
高齢心不全患者の多剤併用および薬剤性有害事象に関する診療実態調査	加藤　貴雄	循環器内科	3,250,000	補 委	信州大学
遺伝性不整脈疾患における疾患特異的iPS細胞研究	牧山　武	循環器内科	1,430,000	補 委	文部科学省
マイクロRNAによる新たな肝臓の線維化機構の解明～新規NASH治療法の開発へ～	堀江　貴裕	循環器内科	1,560,000	補 委	文部科学省
コペプチンの心血管疾患に対する診断・予後予測マーカーとしての包括的役割の解明	塩見　紘樹	循環器内科	260,000	補 委	文部科学省
エドキサバンの吸収・代謝・排泄に関わる蛋白分子とその単一塩基多型（ＳＮＰ）による修飾（医師主導研究）	牧山　武	循環器内科	1,000,000	補 委	国立大学法人　滋賀医科大学　学長

小計
27

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
ＲＹＲ２遺伝子異常に起因するカテコラミン誘発性多型性心室頻拍等の遺伝性不整脈の原因解明	牧山　武	循環器内科	650,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター　理事長
ＬＱＴ－ｉＰＳ細胞モデルを用いた薬効評価	牧山　武	循環器内科	8,450,000	補委	国立大学法人　滋賀医科大学　学長
小胞体ストレス軽減作用を有した新規化合物による心筋梗塞治療法の開発	井手　裕也	循環器内科	1,690,000	補委	文部科学省
大動脈弁周囲石灰化の定量評価と経カテーテル的大動脈弁留置術後の予後との関連性	渡部　宏俊	循環器内科	780,000	補委	文部科学省
KUS剤の心不全に対する治療応用に関する研究	渡邉　真	循環器内科	1,560,000	補委	文部科学省
iPS細胞を用いたカルモジュリン遺伝子関連不整脈疾患の病態解析と新規治療法開発	山本　雄大	循環器内科	2,080,000	補委	文部科学省
変動するヒエラルキーに着目した消化器癌治療法～マウスからヒト可視化モデルへ～	妹尾　浩	消化器内科	5,200,000	補委	文部科学省
階層性を標的とした新規膵がん治療法の開発	妹尾　浩	消化器内科	14,408,000	補委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
次世代シークエンス技術を駆使したウイルスゲノム解析によるＣ型肝炎の病態解明と臨床応用：ＨＣＶ多剤耐性変異・肝移植症例の解明	上田　佳秀	消化器内科	2,000,000	補委	国立大学法人山梨大学
肝移植後C型肝炎に対するインターフェロンフリー治療の薬剤耐性機序の解明	上田　佳秀	消化器内科	1,560,000	補委	文部科学省
TLR9とRIG-Iを標的とした肝がんに対するin situワクチン療法の開発	高橋　健	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
Ｃ型肝炎のウイルス排除後に起こる病態に関する研究	髙井　淳	消化器内科	3,500,000	補委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
膵発癌におけるクロマチンリモデリング因子Arid1Aの機能的役割	福田　晃久	消化器内科	1,560,000	補委	文部科学省
微生物叢と宿主の相互作用に基づく膵がん発症メカニズムの解明	福田　晃久	消化器内科	13,000,000	補委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
サイトメガロウイルス感染合併炎症性腸疾患における重症化、難治化機構の解明	山本　修司	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
クロマチンリモデリング因子ＢＲＧ１を標的とした新規膵がん治療法の開発	福田　晃久	消化器内科	15,600,000	補委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
クローン病腸管線維化治療を目的としたHSP47の線維化機構の解明	本澤　有介	消化器内科	1,040,000	補委	文部科学省
膵前癌病変PanINと膵癌におけるクロマチンリモデリング因子BRG1の役割の探索	津田　喬之	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
慢性炎症からの肝発癌過程における塩基除去修復異常の解析	惠莊　裕嗣	消化器内科	2,080,000	補委	文部科学省
慢性胃炎粘膜のゲノム解析による胃癌の起源の同定	清水　孝洋	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
新規治療開発を目指した膵癌におけるHes1の機能解析	西川　義浩	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
ヒトｉＰＳ細胞を用いた呼吸器難病の病態機序の解明と新規創薬基盤の確立	平井　豊博	呼吸器内科	75,770,000	補委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
Geno-endo-phenotype解析による重症喘息病型形成・増悪の機序解明	松本　久子	呼吸器内科	650,000	補委	文部科学省
ヒトiPS細胞から誘導した機能的気道線毛上皮細胞シートの作製	伊藤　功朗	呼吸器内科	4,030,000	補委	文部科学省
iPS細胞を用いた家族性間質性肺炎由来肺胞上皮細胞の解析による肺線維化機構の解明	伊藤　功朗	呼吸器内科	1,040,000	補委	文部科学省
肺上皮細胞における転写因子の加齢性機能低下とCOPDの発症様式との検討	佐藤　篤靖	呼吸器内科	1,820,000	補委	文部科学省

小計
26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
全国レベルでのデータベースの構築を目指して、ＳＣＲＵＭ－Ｊａｐａｎへの登録推進と、自施設における臨床データのＥＤＣ入力体制の整備	金　永学	呼吸器内科	200,000	補 委	国立研究開発法人　国立がん研究センター　理事長
COPDにおける細気管支幹細胞群の機能低下に起因する末梢気道病変の検討	田辺　直也	呼吸器内科	1,300,000	補 委	文部科学省
慢性呼吸器疾患におけるサルコペニアの意義と新規バイオマーカーの探索	谷澤　公伸	呼吸器内科	1,690,000	補 委	文部科学省
ＩｇＧ４　関連疾患の新規バイオマーカーと治療ターゲット開発に関する研究	三森　経世	免疫・膠原病内科	27,560,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
疾患ゲノム情報を活用した自己免疫疾患における核酸ゲノム創薬の推進―ＲＡ・ＳＬＥ大規模ゲノムデータへのＭＩＧＷＡＳ適用とバイオマーカー同定	大村　浩一郎	免疫・膠原病内科	7,150,000	補 委	国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科　研究科長
各種自己免疫疾患における検体および臨床データの回収	大村　浩一郎	免疫・膠原病内科	403,000	補 委	国立大学法人東京大学総長　代理人　医学部附属病院　事務部長
ミスフォールド蛋白質・ＨＬＡクラスⅡ分子複合体の病原性の解析	大村　浩一郎	免疫・膠原病内科	1,300,000	補 委	国立大学法人大阪大学微生物病研究所長
振動工学の概念に基づき血清の動的性質（モード）をNMRでとらえる新規検査法の開発	小池　薫	初期診療・救急科	3,640,000	補 委	文部科学省
欠損型C型肝炎ウイルス変異による薬剤耐性獲得メカニズムの解明	大鶴　繁	初期診療・救急科	1,300,000	補 委	文部科学省
AARS2変異によるミトコンドリア機能異常を介した白質ジストロフィーの病態解明	陣上　直人	初期診療・救急科	1,040,000	補 委	文部科学省
脳血管障害とパーキンソン病における脳神経回路障害とその機能回復に関わるトランスレータブル脳・行動指標の開発	髙橋　良輔	脳神経内科	102,401,540	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
第ＩＩ相試験の実施	髙橋　良輔	脳神経内科	1,449,500	補 委	国立大学法人東京大学総長　代理人　医学部附属病院　事務部長
実用化に向けた新規作用機序に基づくハンチントン病治療薬の開発（髙橋良輔先生分）	髙橋　良輔	脳神経内科	31,200,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
パーキンソン病の代謝産物バイオマーカー創出およびその分子標的機構に基づく創薬シーズ同定：候補代謝産物ＢＭの動物モデル・ｉＰＳ細胞モデルを用いた検証	髙橋　良輔	脳神経内科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
αシヌクレイン伝播に基づく新規パーキンソン病モデルマウスの作製と病態解析	髙橋　良輔	脳神経内科	5,330,000	補 委	文部科学省
αシヌクレイノパチーの分子病態解明と治療法の開発	髙橋　良輔	脳神経内科	11,570,000	補 委	文部科学省
ＤＡＴ－ＳＰＥＣＴ、神経学的診察、認知機能等の心理評価、ＭＲＩデータの収集、解析	髙橋　良輔	脳神経内科	751,920	補 委	国立研究開発法人　国立精神・神経医療研究センター　理事長
【症例タイプ】パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究（The Japan Parkinson’s Progression Markers Initiative（通称：ｊ－PPMI））	髙橋　良輔	脳神経内科	528,000	補 委	国立研究開発法人　国立精神・神経医療研究センター　理事長
適切な医療を目指した軽度認知障害等の患者の情報登録及び連携に関する研究	葛谷　聡	脳神経内科	1,200,000	補 委	国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター　理事長　鳥羽　研二
多系統萎縮症の病態解明と治療法の開発	山門　穂高	脳神経内科	1,040,000	補 委	文部科学省
多系統萎縮症におけるオリゴデンドロサイト前駆細胞の役割解明と新規治療法開発	眞木　崇州	脳神経内科	10,400,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
軽度認知障害患者に対するシロスタゾール療法の臨床効果並びに安全性に関する医師主導治験（ＣＯＭＣＩＤ）	眞木　崇州	脳神経内科	3,094,200	補 委	国立研究開発法人　国立循環器病研究センター　理事長
急性期脳梗塞へのアドレノメデュリンの有効性と安全性を探索する医師主導治験に向けた基盤データの収集	眞木　崇州	脳神経内科	2,000,000	補 委	国立研究開発法人　国立循環器病研究センター　理事長
アルツハイマー病におけるオリゴデンドロサイトの関与の解明と治療応用	眞木　崇州	脳神経内科	1,560,000	補 委	文部科学省

小計
24

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
Targeting age associated white matter lesions（加齢性大脳白質病変の決定因子の解明）	眞木　崇州	脳神経内科	3,965,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
REM睡眠障害が及ぼす認知症関連タンパク質の蓄積についての検討	江川　斉宏	脳神経内科	1,560,000	補 委	文部科学省
アルツハイマー病リスク遺伝子SV2Bによるシナプス$A\beta$の産生調節機構の解明	宮本　将和	脳神経内科	1,820,000	補 委	文部科学省
多発性硬化症における、新規治療法開発と個別化医療実現のためのバイオマーカー確立	木村　公俊	脳神経内科	2,080,000	補 委	文部科学省
チロシンヒドロキシラーゼによるアルファシヌクレインの修飾部位の決定とヒトパーキンソン病患者におけるアルファシヌクレインの解析	綾木　孝	脳神経内科	5,200,000	補 委	公立大学法人大阪市立大学　理事長
OPTN機能異常を基盤とした神経変性疾患の病理学、細胞学的検討と治療薬候補の探求	綾木　孝	脳神経内科	1,300,000	補 委	文部科学省
初代培養細胞モデルによる多系統萎縮症治療薬の開発	梶　誠兒	脳神経内科	1,560,000	補 委	文部科学省
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究－ダルベポエチン　アルファ製剤低反応に関する検討－（ＢＲＩＧＨＴＥＮ）	柳田　素子	腎臓内科	43,200	補 委	公益財団法人　先端医療振興財団　理事長
代謝からみた組織の可塑性限界決定ダイナミズム	柳田　素子	腎臓内科	3,250,000	補 委	文部科学省
腎臓内微小環境の加齢性変容の分子的定義付けと可視化にもとづく老化制御メカニズムの解明	柳田　素子	腎臓内科	25,740,000	補 委	国立大学法人東北大学病院長
腎臓の修復を担う幹細胞とそのニッチ環境の加齢に伴う変容の解明	柳田　素子	腎臓内科	3,120,000	補 委	文部科学省
脂質メディエイターがつくる加齢微小環境の解析と治療への展開	柳田　素子	腎臓内科	4,290,000	補 委	文部科学省
細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻による組織線維化の制御機構の解明と医学応用	柳田　素子	腎臓内科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
加齢に伴う障害応答性低下をもたらす三次リンパ組織形成の分子基盤の解析	柳田　素子	腎臓内科	5,590,000	補 委	文部科学省
脊髄損傷後疼痛の発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的変化の探索	山本　正道	腎臓内科	2,340,000	補 委	国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科長
心臓・骨・腎臓ネットワーク機構とこれを支える血管恒常性メカニズムの解明：マウスＨＤＯＣＩによる骨・腎ネットワーク調節機構の解明	横井　秀基	腎臓内科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
糸球体内皮細胞の恒常性維持に関わる新規シグナル伝達経路の解明	松原　雄	腎臓内科	1,300,000	補 委	文部科学省
ポドサイトに発現するナトリウム利尿ペプチドの下流創薬標的の慢性腎臓病における意義	横井　秀基	腎臓内科	1,300,000	補 委	文部科学省
高脂肪、高蛋白食及び高食塩食による糖尿病性腎症進展への影響に対するCTGFの意義	石井　輝	腎臓内科	2,470,000	補 委	文部科学省
難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究	武藤　学	腫瘍内科	19,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
診療機関併設バイオバンクのネットワーク参画	武藤　学	腫瘍内科	39,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
消化管内視鏡を用いた治療における標準治療確立のための多施設共同研究（２９－Ａ－３）	武藤　学	腫瘍内科	5,650,000	補 委	国立研究開発法人　国立がん研究センター　理事長
国内完結型がんクリニカルシークエンスの社会実装と統合データベース構築およびゲノム医療人材育成に関する研究開発	武藤　学	腫瘍内科	80,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究（MASTERKEY Project）	武藤　学	腫瘍内科	11,000,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター　理事長
ゲノム医療従事者の育成プログラム開発	武藤　学	腫瘍内科	4,550,000	補 委	国立大学法人　岡山大学学長

小計

25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
がんと診断された時からの緩和ケアの推進に関する研究	武藤　学	腫瘍内科	4,870,000	補 委	厚生労働省
がんクリニカルシークエンスにおけるVUS変異の生物学的・臨床的意義の解明	武藤　学	腫瘍内科	6,110,000	補 委	文部科学省
ＨＥＲ２増幅固形癌に対するトラスツズマブ・ペルツズマブ併用療法のバスケットトライアル Basket trial of trastuzumab and pertuzumab combination therapy for HER２ amplified	武藤　学	腫瘍内科	2,597,400	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学　学長
「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	武藤　学	腫瘍内科	300,000	補 委	国立研究開発法人　国立がん研究センター　理事長
アセトアルデヒド代謝機能改善に基づく食道発がん予防法の開発	大橋　真也	腫瘍内科	1,820,000	補 委	文部科学省
弾性圧迫グローブ・ストッキングによる圧迫療法の化学療法起因性末梢神経障害予防効果を検討する探索的な多施設共同ランダム化比較試験	川口　展子	腫瘍内科	10,010,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
大腸癌の遺伝子異常の解析～新しい分類を目指して～	坂井　義治	消化管外科	650,000	補 委	文部科学省
再発危険因子を有するＳｔａｇｅ　ＩＩ大腸癌に対するＵＦＴ／ＬＶ療法の臨床的有用性に関する研究（ＪＦＭＣ４６－１２０１）	坂井　義治	消化管外科	21,600	補 委	公益財団法人　がん集学的治療研究財団　理事長
ＳｔａｇｅⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのｍＦＯＬＦＯＸ６療法またはＸＥＬＯＸ療法における５－ＦＵ系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験（ＪＦＭ）	坂井　義治	消化管外科	54,000	補 委	公益財団法人　がん集学的治療研究財団　理事長
切除不能または再発食道癌に対するＣＦ（シスプラチン＋５－ＦＵ）療法とｂＤＣＦ（ｂｉｗｅｅｋｌｙドセタキセル＋ＣＦ）療法のランダム化第ＩＩＩ相比較試験―局所進行がん及び進行・再発がんに対する予後の改善を目指した治療法確立のための臨床試験―	角田　茂	消化管外科	1,000,000	補 委	静岡県立静岡がんセンター　局長
上部消化管癌患者に対する周術期栄養運動プログラムの開発	角田　茂	消化管外科	1,430,000	補 委	文部科学省
癌微小環境における骨髄由来細胞をターゲットとした新たな大腸癌治療戦略	河田　健二	消化管外科	1,430,000	補 委	文部科学省
正常大腸幹細胞を傷害しない大腸癌幹細胞特異的治療ターゲットの解明	久森　重夫	消化管外科	1,560,000	補 委	文部科学省
ケモカインを用いた大腸癌治療における新規バイオマーカーの開発	稲本　将	消化管外科	2,210,000	補 委	文部科学省
インターネットを用いた胃癌術後補助化学療法中の症状報告システムの開発	錦織　達人	消化管外科	1,430,000	補 委	文部科学省
腫瘍微小環境における好中球をターゲットとした新規大腸がん治療戦略の構築	板谷　喜朗	消化管外科	1,430,000	補 委	文部科学省
NSAIDsによる直腸癌術後縫合不全のメカニズムの解明と治療ターゲットの探索	水野　礼	消化管外科	1,560,000	補 委	文部科学省
新規概念によるNMR測定を用いた乳がん血清診断法の開発	戸井　雅和	乳腺外科	7,540,000	補 委	文部科学省
革新的研究開発推進プログラム（ＩｍＰＡＣＴ）「イノベーティブな可視化技術による新成長産業の創出」（価値実証：医療と美容健康）イノベイティブな可視化技術による新成長産業の創出	戸井　雅和	乳腺外科	92,290,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構　理事長
（東京大学からの受託研究）がん免疫データ多層解析法の開発	戸井　雅和	乳腺外科	3,000,000	補 委	国立大学法人東京大学総長　代理人　医学部附属病院　事務部長
乳癌微小環境におけるマクロファージの脳転移特異的な役割の解明	鈴木　栄治	乳腺外科	1,430,000	補 委	文部科学省
乳がんの免疫チェックポイント活性化に関わる脂肪酸の同定とその分子機構の解明	川島　雅央	乳腺外科	1,430,000	補 委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
IgGFc N型糖鎖を使用した乳癌予測モデルの開発	川口　展子	乳腺外科	1,040,000	補 委	文部科学省
手術の安全性向上における３次元肝臓模型の有効性に関する検討	上本　伸二	肝胆膵・移植外科	2,338,960	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
肝移植におけるｉＴｒｅｇ細胞療法を用いた慢性拒絶防止の検証	上本　伸二	肝胆膵・移植外科	6,500,000	補 委	国立大学法人大阪大学免疫学フロンティア研究センター　拠点長
ブタをin vivo bioreactorとした移植可能なヒト肝臓再生戦略	上本　伸二	肝胆膵・移植外科	13,650,000	補 委	文部科学省
ヒトｉＰＳ細胞と生体臓器骨格の融合による新たな再生臓器移植療法の開発	上本　伸二	肝胆膵・移植外科	2,600,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
３）家族性膵癌登録制度の支援（２８－Ａ－１）	髙折　恭一	肝胆膵・移植外科	500,000	補 委	国立研究開発法人　国立がん研究センター　理事長
内外分泌連関に着目した膵島細胞増殖因子の解明とその治療的応用	増井　俊彦	肝胆膵・移植外科	1,300,000	補 委	文部科学省
水素による移植肝包括的保存戦略の構築　～いつ、どこに、いかに作用させるか？～	秦　浩一郎	肝胆膵・移植外科	6,110,000	補 委	文部科学省
肝硬変における細胞外基質の変化が肝細胞機能へ与える影響の解析と治療法の探索	小木曽　聡	肝胆膵・移植外科	1,330,000	補 委	文部科学省
移植用臓器の体外治療を可能にする潅流保存装置開発と、メタボロミクスを用いた臓器潜在機能の客観的評価基軸の構築	秦　浩一郎	肝胆膵・移植外科	62,595,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
ブタモデルを用いた化学療法誘導性肝障害の薬物による克服～大腸癌予後改善に向けて～	瀬尾　智	肝胆膵・移植外科	1,820,000	補 委	文部科学省
不飽和脂肪酸分解に着目した膵液瘻重症化因子解明と治療的応用	長井　和之	肝胆膵・移植外科	1,170,000	補 委	文部科学省
胆管癌幹細胞の単離と新規治療標的の同定に関する研究	石井　隆道	肝胆膵・移植外科	1,300,000	補 委	文部科学省
肝移植後のbacterial translocationのメカニズム解明	小川　絵里	小児外科	1,820,000	補 委	文部科学省
難治がんに対する動体追尾放射線治療の臨床評価に関する研究	溝脇　尚志	放射線治療科	47,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
次世代Ｄｙｎａｍｉｃ　ＷａｖｅＡｒｃ照射法の開発と長期有効性・安全性の評価	溝脇　尚志	放射線治療科	19,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
高リスク前立腺がんに対する寡分割立体回転強度変調放射線治療法の開発	溝脇　尚志	放射線治療科	1,040,000	補 委	文部科学省
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	松尾　幸憲	放射線治療科	650,000	補 委	国立大学法人広島大学学長
難治癌に対する放射線治療における腫瘍内低酸素の動態解析と高精度放射線治療の融合	吉村　通央	放射線治療科	1,820,000	補 委	文部科学省
強度変調放射線治療を利用した胸部食道癌の新規治療開発	坂中　克行	放射線治療科	1,300,000	補 委	文部科学省
放射性ヨウ素内用療法におけるヨウ素集積の定量化と吸収線量の推定法の確立	飯塚　裕介	放射線治療科	1,950,000	補 委	文部科学省
腫瘍動体に頑強な四次元放射線治療システムの開発	椋本　宜学	放射線治療科	1,950,000	補 委	文部科学省
強度変調放射線治療プランのQA結果予測システムの開発	小野　智博	放射線治療科	1,690,000	補 委	文部科学省
転移性脳腫瘍に対する多段階連続照射と最適な線量投与方法の開発	宇藤　恵	放射線治療科	1,560,000	補 委	文部科学省
画像診断ナショナルデータベース実現のための開発研究	富樫　かおり	放射線診断科	10,270,000	補 委	国立大学法人九州大学学長
妊娠高血圧症候群患者における妊娠転帰の予測に関するMRI有用性の検討	木戸　晶	放射線診断科	780,000	補 委	文部科学省
圧縮センシングの脳・頸部MRIへの応用	伏見　育崇	放射線診断科	2,730,000	補 委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
非造影MRAと圧縮センシングの融合を軸とした肝移植ドナー術前MRI検査法の確立	有薗　茂樹	放射線診断科	780,000	補 委	文部科学省
乳癌個別化治療に直結する新たな拡散強調MRI画像診断法の確立	飯間　麻美	放射線診断科	2,340,000	補 委	文部科学省
拡散ＭＲＩを用いた革新的な腫瘍診断技術の構築	飯間　麻美	放射線診断科	3,099,200	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
臨床的・ゲノム学的アプローチの融合による強度近視関連失明の総合的病態解明	辻川　明孝	眼科	4,940,000	補 委	文部科学省
網脈絡膜血管疾患において液性免疫が組織学的変化を惹起する分子機構	辻川　明孝	眼科	3,120,000	補 委	文部科学省
培養角膜内皮細胞を用いた水疱性角膜症に対する革新的再生医療の早期薬事承認による社会還元	辻川　明孝	眼科	3,224,000	補 委	京都府公立大学法人　理事長
次世代眼科医療を目指す、ＩＣＴ／人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築	辻川　明孝	眼科	1,300,000	補 委	筑波大学
共通化システムの海外展開の推進	辻川　明孝	眼科	956,124	補 委	筑波大学
原発開放隅角緑内障眼の緑内障手術治療効果に影響する遺伝因子の検討と治療効果予測	赤木　忠道	眼科	1,560,000	補 委	文部科学省
次世代補償光学眼底イメージングを用いた萎縮型加齢黄斑変性の病態解明と治療開発	大音　壮太郎	眼科	1,300,000	補 委	文部科学省
網膜血管の4層網の再構築と単一血球動態に基づく網膜無灌流の機序解明	村岡　勇貴	眼科	1,690,000	補 委	文部科学省
糖尿病網膜症における眼底イメージングを用いた新規病変の探索とその分子機構の解明	村上　智昭	眼科	1,690,000	補 委	文部科学省
多角的アプローチによる加齢黄斑変性の病態解明と新規治療の検討	宮田　学	眼科	1,560,000	補 委	文部科学省
高比重リポタンパクを利用した後眼部疾患に対する点眼治療の開発	須田　謙史	眼科	2,080,000	補 委	文部科学省
加齢黄斑変性とpachychoroid neovasculopathyの病態解明	三宅　正裕	眼科	2,080,000	補 委	文部科学省
黄斑疾患における補償光学搭載光干渉断層計を用いた網脈絡膜循環のライブイメージング	宇治　彰人	眼科	1,300,000	補 委	文部科学省
網膜色素変性患者由来iPS細胞を利用した新規治療開発	大石　明生	眼科	1,300,000	補 委	文部科学省
加齢黄斑変性におけるrefractile drusenの臨床的特徴・遺伝学的背景	高橋　綾子	眼科	1,560,000	補 委	文部科学省
新規遺伝子異常を有する疾患特異的iPS細胞を用いた網膜色素変性症の病態解明	岩井　祥子	眼科	2,080,000	補 委	文部科学省
卵巣癌のゲノム多様性に基づく播種・転移・薬剤耐性・免疫逃避機序の解明と臨床応用	万代　昌紀	産科婦人科	2,470,000	補 委	文部科学省
婦人科癌の包括的サポートプログラム開発を目指した患者モニタリング法の探索	万代　昌紀	産科婦人科	3,510,000	補 委	文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた人工胎盤の創成と胎盤機能再生医療の開発	近藤　英治	産科婦人科	5,850,000	補 委	文部科学省
着床不全患者の診断法の開発	堀江　昭史	産科婦人科	356,200	補 委	国立大学法人　金沢大学学長　山崎　光悦
リキッドバイオプシーを用いた卵巣癌の術前組織診断法と卵巣癌予測診断法の開発	山口　建	産科婦人科	1,820,000	補 委	文部科学省
ヒト胚着床に関わるversicanの機能解析	堀江　昭史	産科婦人科	1,300,000	補 委	文部科学省
早産治療を目指したヒト羊膜におけるTLR4阻害化合物の探索	千草　義継	産科婦人科	2,470,000	補 委	文部科学省
前期破水の治癒機構の解明と新規治療法の開発	最上　晴太	産科婦人科	1,820,000	補 委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
産後うつ病の発症と自律神経機能の関連に関する妊娠期からの前方視的研究	江川　美保	産科婦人科	650,000	補 委	文部科学省
卵巣癌の微小環境をターゲットとした層別化による個別化治療の開発	村上　隆介	産科婦人科	2,080,000	補 委	文部科学省
ヒト小児二次卵胞における新しい体外培養系の開発	伊藤　美幸	産科婦人科	2,860,000	補 委	文部科学省
分子プロファイリングを基盤とした小児期からＡＹＡ世代に発症する難治がんの新規治療法の開発	滝田　順子	小児科	18,238,249	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
進行小児固形腫瘍に対するオラパリブを用いた治療法開発	滝田　順子	小児科	390,000	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学　学長
小児がんと神経発達のクロストークの解明と新規治療法の開発	滝田　順子	小児科	3,770,000	補 委	文部科学省
マルチオミックス情報を基盤とした難治性小児がんに対する新規克服法の開発	滝田　順子	小児科	4,810,000	補 委	文部科学省
アレクチニブの小児難治悪性固形腫瘍に対する安全性および有効性についてのエビデンスの創出をめざした研究	滝田　順子	小児科	130,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター　理事長
Ｔ－ＡＬＬにおける転写因子高発見機序の解明	滝田　順子	小児科	3,000,000	補 委	独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター院長
疾患特異的ｉＰＳ細胞とモデルマウスを用いたＡｉｃａｒｄｉ－Ｇｏｕｔｉｅｒｅｓ症候群の中枢神経系炎症病態解明と治療薬開発・発症前診断の基盤構築	西小森　隆太	小児科	15,600,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
原発性免疫不全症の診断困難例に対する新規責任遺伝子の同定と病態解析－エクソーム配列解析で同定した遺伝子変異の解析	西小森　隆太	小児科	800,000	補 委	国立大学法人広島大学　学長
家族性地中海熱（ＦＭＦ）に対するトシリズマブの医師主導治験	西小森　隆太	小児科	1,508,000	補 委	国立大学法人　長崎大学　学長
乳児型Pompe病患者iPS細胞を用いた多系統組織モデルの確立ならびに病態解析	吉田　健司	小児科	1,170,000	補 委	文部科学省
胎児期および出生後のインスリン抵抗性からメタボリック・シンドロームを予見する	松倉　崇	小児科	520,000	補 委	文部科学省
小児およびＡＹＡ世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発―限局性ユーイング肉腫ファミリー腫瘍に対するＧ－ＣＳＦ併用治療期間短縮ＶＤＣ－ＩＥ療法を用いた集学的治療の第ＩＩ相臨床試験	梅田　雄嗣	小児科	650,000	補 委	京都府公立大学法人　理事長
Ａｄｅｎｏｓｉｎｅ　Ｄｅａｍｉｎａｓｅ２　（ＡＤＡ２）欠損症の病態解明と治療薬開発の基盤構築	井澤　和司	小児科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
複合現実感型スポーツトレーニング支援技術基盤の研究開発	岩永　甲午郎	小児科	533,000	補 委	官署支出官　近畿総合通信局　総務部長
メタボリックシンドロームの予防を目指した、胎児インクレチン分泌機構の解明	友滝　清一	小児科	1,690,000	補 委	文部科学省
iPS細胞を用いた家族性地中海熱の診断・治療法の開発	田中　孝之	小児科	1,950,000	補 委	文部科学省
皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築とＡＩ活用診療支援システムの開発	椛島　健治	皮膚科	8,710,000	補 委	公益社団法人　日本皮膚科学会　理事長
皮膚を場とする外的刺激に対する生体応答機構の包括的解明	椛島　健治	皮膚科	33,670,000	補 委	文部科学省
皮内の制御性T細胞による皮膚免疫応答制御機構の解明	椛島　健治	皮膚科	1,200,000	補 委	文部科学省
生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	椛島　健治	皮膚科	8,800,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
イマチニブをツールとした自己免疫性水疱症における創薬基盤研究	椛島　健治	皮膚科	98,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
新規に同定したバリア関連遺伝子による表皮ストレス応答機構の解明	大日　輝記	皮膚科	1,820,000	補 委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
自然産生IgEの産生メカニズムの解明	鬼頭　昭彦	皮膚科	2,080,000	補 委	文部科学省
末梢組織リンパ管を場とした免疫制御機構の解明	江川　形平	皮膚科	3,510,000	補 委	文部科学省
皮膚常在微生物による宿主皮膚炎症反応制御メカニズムの解明	中島　沙恵子	皮膚科	14,296,490	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
国民医療費の最適配分を目指した皮膚がん手術の費用効果分析	遠藤　雄一郎	皮膚科	1,300,000	補 委	文部科学省
イトラコナゾールによるヘッジホッグ伝達経路阻害と獲得免疫の解析	加来　洋	皮膚科	1,300,000	補 委	文部科学省
外的刺激に対する皮膚免疫応答における補体系の機能解析	渋谷　倫太郎	皮膚科	1,560,000	補 委	文部科学省
異種移植モデルの由来組織別エクソソミクスに着目した革新的癌診断治療シーズの開発	小川　修	泌尿器科	15,210,000	補 委	文部科学省
【症例タイプ】「根治療法後に再発を来した非転移性の去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの臨床効果および安全性の検討」（ＪＣＡＳＴＲＥ－Ｚｅｒｏ）	小川　修	泌尿器科	129,600	補 委	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
脂質代謝異常に着目した新規前立腺癌診断・治療の開発	井上　貴博	泌尿器科	9,230,000	補 委	文部科学省
進行泌尿器癌における血中ゲノムマーカーの縦断的解析に基づくプレシジョン医療の実現	山﨑　俊成	泌尿器科	3,640,000	補 委	文部科学省
多様性を再現した患者由来ゼノグラフト群を用いた新規前立腺癌治療薬の耐性機序の解明	後藤　崇之	泌尿器科	1,300,000	補 委	文部科学省
腎がん検体収集・検証試験結果評価	赤松　秀輔	泌尿器科	1,300,000	補 委	公益財団法人がん研究会理事長
ロボット支援下腎部分切除術における３Ｄナビゲーションシステムの開発	澤田　篤郎	泌尿器科	1,560,000	補 委	文部科学省
レトロトランスポゾン遺伝子PEG10を標的とした神経内分泌前立腺癌の新規治療開発	赤松　秀輔	泌尿器科	1,950,000	補 委	文部科学省
PDL1発現制御に着目した膀胱癌新規治療標的の探索	齊藤　亮一	泌尿器科	2,080,000	補 委	文部科学省
難聴患者における認知機能評価法の新規開発と補聴器装用が影響する認知機能・症状の解明	大森　孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学とその関連分野に関する学術研究動向	大森　孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補 委	独立行政法人　日本学術振興会　理事長　里見進
咽頭・喉頭・気管狭窄症診療ガイドライン作成を目指したエビデンス創出研究	大森　孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	15,600,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
バイオ3Dプリンターを用いた声帯組織の再生	大森　孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,860,000	補 委	文部科学省
エビデンスに基づいた病態特化型嚥下訓練プログラムの開発	大森　孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,048,070	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
Ｈｉｐｐｏシグナル経路の調整による気道上皮分化異常治療薬の探索	大森　孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	10,075,440	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
蝸牛におけるIGF1-Netrin axisの役割解明と応用創薬研究	中川　隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補 委	文部科学省
新型人工内耳（人工聴覚上皮）により高齢者難聴を克服し、自立した健康生活を創生する	中川　隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	26,206,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
下咽頭・食道・気管におけるtelocyteの役割	楯谷　一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,250,000	補 委	文部科学省
long non-coding RNAの内耳発生・再生における機能	山本　典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補 委	文部科学省
内耳における組織マクロファージの役割とCsf1r伝達系による制御	岡野　高之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	650,000	補 委	文部科学省

小計

26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
頭頸部癌微小環境における糖代謝と免疫マーカー発現の関連性の検討	菊地　正弘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,210,000	補 委	文部科学省
声帯組織の維持・修復における上皮間葉転換の役割	北村　守正	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補 委	文部科学省
蝸牛感覚上皮予定領域におけるAtoh1発現の時空間的変化と有毛細胞分化制御	楯谷　智子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補 委	文部科学省
喉頭気管領域での組織線維化過程におけるマクロファージの役割の解明	岸本　曜	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補 委	文部科学省
蝸牛・前庭感覚上皮発生機序の解析とヒトiPS細胞を用いた難聴モデル作製への応用	大西　弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補 委	文部科学省
修飾ナノキャリアを用いた内耳薬物送達機構の解明と開発	喜多　知子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補 委	文部科学省
細胞及び液性因子の局在を調節するスキャフォールドによる気管複合組織の再生	中村　亮介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補 委	文部科学省
恒常性破綻による蝸牛有毛細胞障害メカニズムの解明	勝野　達也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補 委	文部科学省
声帯瘢痕における核内レセプターの病態関与の解明	樋渡　直	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補 委	文部科学省
ラセン神経節グリア細胞の可塑性解析と聴神経再生への応用	西村　幸司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040,000	補 委	文部科学省
軟骨下骨脆弱性の関節軟骨変性へ与える影響および骨形成薬の軟骨変性抑制効果の解析	松田　秀一	整形外科	6,630,000	補 委	文部科学省
特発性大腿骨頭壊死症におけるｂＦＧＦ含有ゼラチン製剤による壊死骨再生治療の開発	松田　秀一	整形外科	2,353,000	補 委	国立大学法人岐阜大学　理事
健常な膝関節と同等の機能を持つ人工膝関節システムの開発～術中に安定性を評価し、最適化が可能なインプラント・手術器具の開発～	松田　秀一	整形外科	2,418,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
関節リウマチにおける傍関節性骨髄変化の病態と関節破壊に及ぼす影響	伊藤　宣	整形外科	650,000	補 委	文部科学省
腕神経叢引き抜き損傷に対する前処理自家神経を用いた神経根再移植術	太田　壮一	整形外科	1,040,000	補 委	文部科学省
人工膝関節の三次元動的術前計画が可能な新しい筋骨格シミュレータの開発	栗山　新一	整形外科	910,000	補 委	文部科学省
micro-engineeringを用いた血管ネットワーク付き人工骨の開発	河井　利之	整形外科	1,690,000	補 委	文部科学省
統合失調症の結合性障害の包括的解明：超高磁場MRIによる次世代結合性解析	村井　俊哉	精神科神経科	6,890,000	補 委	文部科学省
先進的ＭＲＩ技術に基づく統合データベースと大規模コホートデータの連結による高齢者神経変性疾患の責任神経回路の解明	村井　俊哉	精神科神経科	13,000,000	補 委	国立研究開発法人　国立精神・神経医療研究センター　理事長
主体的人生のための統合失調症リカバリー支援－当事者との協働実現に向けた実践ガイドライン策定：認知機能とリカバリー指標の関連	村井　俊哉	精神科神経科	780,000	補 委	分任契約担当役　国立大学法人群馬大学　研究推進部長
社会・生活における主体価値の動態解明	村井　俊哉	精神科神経科	35,490,000	補 委	文部科学省
革新的研究開発推進プログラム（ＩｍＰＡＣＴ）「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」（脳ビッグデータ：脳アンチエイジング）	村井　俊哉	精神科神経科	6,000,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構　理事長
ＭＲＩ画像を基点とした発達障害・統合失調症関連バイオマーカーの同定	村井　俊哉	精神科神経科	15,993,450	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
妄想の神経基盤の疾患横断的検討：高傾斜磁場・超高磁場MRIによる次世代結合性解析	宮田　淳	精神科神経科	3,770,000	補 委	文部科学省
統合salienceモデルに基づく統合失調症の脳領域間ネットワーク病態の解明	宮田　淳	精神科神経科	2,860,000	補 委	文部科学省

小計
25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
統合失調症の身体運動認知における運動リハビリテーション効果の神経科学的検討	松本　有紀子	精神科神経科	2,600,000	補 委	文部科学省
精神疾患の多施設脳画像データと機械学習による脳画像特徴抽出の試み	杉原　玄一	精神科神経科	1,820,000	補 委	文部科学省
核磁気共鳴計測を用いた治療抵抗性統合失調症におけるクロザピン忍容性指標の探索	諏訪　太朗	精神科神経科	2,340,000	補 委	文部科学省
外傷性脳損傷後遺症の包括的理解－４つの症候群としての検討－	上田　敬太	精神科神経科	1,690,000	補 委	文部科学省
統合失調症および自閉スペクトラム症への社会認知スキルトレーニング日本版の開発	大塚　貞男	精神科神経科	910,000	補 委	文部科学省
精神科における血栓塞栓症の解明：人工流路による画像解析	杉田　尚子	精神科神経科	1,040,000	補 委	文部科学省
脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発	髙橋　英彦	精神科神経科	5,000,000	補 委	国立研究開発法人　情報通信研究機構　契約担当理事
血清カルボニルストレスと脳結合性異常による統合失調症新規診断基準の検討	孫　樹洛	精神科神経科	910,000	補 委	文部科学省
革新的研究開発推進プログラム（ＩｍＰＡＣＴ）「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」（脳ビッグデータ：脳サーチエンジン）	髙橋　英彦	精神科神経科	9,900,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構　理事長
依存症患者における薬物療法の効果検討とｆＭＲＩを基点としたバイオマーカーの開発－ｆＭＲＩ画像解析による依存症バイオマーカー同定－	髙橋　英彦	精神科神経科	650,000	補 委	公益財団法人　東京都医学総合研究所　理事長
ギャンブル障害に対するニューロフィードバック法の開発	髙橋　英彦	精神科神経科	11,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
希少疾患先天性無歯症治療薬の開発研究―Ｗｎｔシグナル＆ＢＭＰシグナルに関連する難治性疾患治療への展開―	髙橋　克	歯科口腔外科	26,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
CEBP/βを標的分子とした分子標的治療による歯の再生	髙橋　克	歯科口腔外科	1,820,000	補 委	文部科学省
骨系統疾患に起因する顎変形症への新規治療法の開発（疾患特異的iPSを用いた検討）	中尾　一祐	歯科口腔外科	1,040,000	補 委	文部科学省
口腔機能別オーラルケア・マネジメントの全身合併症低下に関する検討	山口　昭彦	歯科口腔外科	1,690,000	補 委	文部科学省
薬剤誘発性顎骨壊死に関する遺伝学的要因の解明に関する研究	浅井　啓太	歯科口腔外科	1,170,000	補 委	文部科学省
生体肝移植手術における急性腎障害発症のメカニズム解明および予防法の確立	溝田　敏幸	麻酔科	910,000	補 委	文部科学省
乳癌細胞のエストロゲン受容体転写活性に及ぼす全身麻酔薬の影響	宮井　善三	麻酔科	2,600,000	補 委	文部科学省
遺伝子多型による化学療法後末梢神経障害の感受性の相違	加藤　果林	麻酔科	1,430,000	補 委	文部科学省
脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討ＣＳＰＳ．ｃｏｍ	宮本　享	脳神経外科	108,000	補 委	公益財団法人　循環器病研究振興財団
上肢に対する単関節型　Ｈｙｂｒｉｄ　Ａｓｓｉｓｔｉｖｅ　Ｌｉｍｂ　（ＨＡＬ）の医師主導治験	宮本　享	脳神経外科	44,453,500	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
血管狭窄因子RNF213の修飾因子特定とそれに基づく疾患モデルと新規治療法の確立	宮本　享	脳神経外科	5,330,000	補 委	文部科学省
革新的研究開発推進プログラム（ＩｍＰＡＣＴ）「重介護の要因となる脳神経系疾患の治療前／治療中／治療後におけるサイバニックシステム（サイバニックインタフェース／サイバニックデバイス）の有効性を実証するための研究開発」	宮本　享	脳神経外科	33,500,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構　理事長
もやもや病（ウイリス動脈輪閉塞症）の診断、治療に関する研究	宮本　享	脳神経外科	10,769,000	補 委	厚生労働省
グリオーマのエピジェネティクス異常に対する転写スイッチ低分子化合物開発の挑戦	宮本　享	脳神経外科	3,120,000	補 委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
多孔化カバードステント（ＮＣＶＣ－ＣＳ１）を用いた頭蓋内脳動脈瘤塞栓術の安全性及び機器の性能を評価する多施設共同単一群探索的試験	石井　暁	脳神経外科	276,283	補 委	公益社団法人　日本医師会　治験促進センター長
革新的Ｍｇ合金製の生体吸収性医療機器開発	石井　暁	脳神経外科	3,640,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
画像診断とバイオ+028:0628マーカーを用いた頚動脈不安定プラークの多角的診断法開発	吉田　和道	脳神経外科	1,040,000	補 委	文部科学省
アクチベイタブル酸化鉄ナノ粒子蛍光プローベを用いた脳動脈瘤壁の炎症巣の可視化	石井　暁	脳神経外科	2,210,000	補 委	文部科学省
脳幹部神経膠腫患者を対象としたconvection－enhanced　delivery（CED）によるニムスチン塩酸塩投与の多施設共同第ＩＩ相臨床試験（医師主導治験）	荒川　芳輝	脳神経外科	3,850,000	補 委	国立大学法人東北大学病院長
低悪性度グリオーマのリプログラミング技術を用いたエピゲノム解析	荒川　芳輝	脳神経外科	1,170,000	補 委	文部科学省
初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置用剤および放射線療法併用テモゾロミド、ベバシズマブ療法の有効性・安全性を検討する第Ⅱ相臨床試験	荒川　芳輝	脳神経外科	90,000	補 委	国立大学法人東北大学病院長
希少・難治小児脳幹部神経膠腫に対する塩酸ニムスチン局所投薬による新規治療法開発：多施設共同医師主導治験	荒川　芳輝	脳神経外科	995,800	補 委	国立大学法人東北大学病院長
ＴＥＲＴを標的とした再発膠芽腫に対するエリブリンの医師主導治験	荒川　芳輝	脳神経外科	2,600,000	補 委	国立研究開発法人　国立がん研究センター　理事長
前頭葉内言語線維及び運動線維における相互作用の解明	菊池　隆幸	脳神経外科	1,560,000	補 委	文部科学省
革新的研究開発推進プログラム（ＩｍＰＡＣＴ）「セレンディピティの計画的創出による新価値創造」（高精度血液検査技術開発の実証評価）悪性脳腫瘍および脳血管障害の予兆を捉える稀少細胞診断システムの開発	峰晴　陽平	脳神経外科	8,000,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構　理事長
もやもや病の環境および遺伝因子の特定と早期診断法の確立	峰晴　陽平	脳神経外科	390,000	補 委	文部科学省
言語機能ネットワークの変容の解明	山尾　幸広	脳神経外科	1,300,000	補 委	文部科学省
MRI-ASLによる急性脳症の血流異常の評価と治療効果判定	武信　洋平	脳神経外科	1,170,000	補 委	文部科学省
皮膚再建に用いる乾燥同種培養表皮の開発	坂本　道治	形成外科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
乾燥同種培養表皮の基礎研究　利便性の高い皮膚再生医療を目指して	坂本　道治	形成外科	1,820,000	補 委	文部科学省
機能性タンパク質シルクエラスチンを用いた新規医療材料の開発および臨床研究	野田　和男	形成外科	26,780,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
リジルオキシダーゼの酵素活性化分子を標的とした線維化抑制治療の開発	野田　和男	形成外科	4,550,000	補 委	文部科学省
bFGFとの結合を介するLTBP-2の創傷治癒における機能的役割の解明	野田　和男	形成外科	1,170,000	補 委	文部科学省
ｉＰＳ細胞由来人工心臓組織移植による心臓再生医療における免疫拒絶に関する研究	湊谷　謙司	心臓血管外科	6,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
脱細胞化血管組織へのiPS細胞由来血管細胞播種による自己成長型血管グラフトの開発	池田　義	心臓血管外科	5,590,000	補 委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来間葉系幹細胞を用いた心臓血管外科領域の炎症反応抑制療法の開発	山﨑　和裕	心臓血管外科	5,200,000	補 委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来心臓組織グラフト-ホスト間の機能的同期法の開発	金光　ひでお	心臓血管外科	6,500,000	補 委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来CD82陽性心筋前駆細胞を用いた先制的心不全治療法の開発	武田　匡史	心臓血管外科	1,560,000	補 委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
変異型p53誘導性上皮間葉転換を起こした肺癌のシグナル経路の解明及び治療法の確立	伊達　洋至	呼吸器外科	4,160,000	補 委	文部科学省
肺移植における体外肺灌流保存（ＥＶＬＰ）を用いたマージナルドナー肺の治療	伊達　洋至	呼吸器外科	7,800,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
脱気変形肺に対応した微小結節の術中同定法	伊達　洋至	呼吸器外科	47,450,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
水素水の拡散能を利用した心停止ドナー肺障害の修復と肺移植実現を目指した大動物実験	伊達　洋至	呼吸器外科	5,200,000	補 委	文部科学省
肺移植後の慢性拒絶撲滅を目指す、自然免疫を温存した選択的免疫抑制療法の創出	陳　豊史	呼吸器外科	6,240,000	補 委	文部科学省
睡眠障害（睡眠時無呼吸、睡眠時間及び睡眠分断）と生活習慣病の関連と影響を検討する基盤的研究	陳　豊史	呼吸器外科	4,998,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
新素材を用いた、肺切除術後の術後癒着予防法の開発	濱路　政嗣	呼吸器外科	1,690,000	補 委	文部科学省
Arf6活性化による上皮間葉転換（EMT）を標的とした肺癌特異的な治療法の探索	毛受　暁史	呼吸器外科	1,040,000	補 委	文部科学省
体外肺灌流保存中の肝細胞増殖因子による肺移植後虚血再灌流障害の軽減	中島　大輔	呼吸器外科	1,690,000	補 委	文部科学省
肺移植後急性・慢性拒絶反応を抑制するIL-2複合体の臨床応用に向けた研究	山田　義人	呼吸器外科	1,950,000	補 委	文部科学省
バイオ３Ｄ　プリンタにより作製した三次元神経導管（Ｂｉｏ　３Ｄ　Ｃｏｎｄｕｉｔ）を用いた革新的末梢神経再生法の臨床開発	池口　良輔	リハビリテーション科	56,900,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
小児の侵襲性肺炎球菌感染症分離菌の遺伝子解析	長尾　美紀	検査部	5,697,328	補 委	独立行政法人国立病院機構三重病院　院長
出生後早期発現遺伝子群による心筋細胞増殖制御およびその分子機序の検討	中島　康弘	検査部	910,000	補 委	文部科学省
乳癌診療情報と基礎解析の統合データベースを用いた診療支援ツール開発に関する研究	髙田　正泰	手術部	1,170,000	補 委	文部科学省
術中呼吸・循環管理指針策定に向けた大規模データベースの構築	深川　博志	手術部	910,000	補 委	文部科学省
チオ硫酸のICU-AWに対する予防効果の検討	甲斐　慎一	手術部	1,690,000	補 委	文部科学省
β遮断薬はICU-AWを予防しうるか	瀬尾　英哉	手術部	1,690,000	補 委	文部科学省
前立腺がん治療の最適化に向けた革新的なＰＥＴ画像診断システムの構築	中本　裕士	放射線部	19,500,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
68Ga-DOTATOC-PET/CTによる腫瘍および炎症の画像診断	中本　裕士	放射線部	1,300,000	補 委	文部科学省
乳房超高速ダイナミック造影MRIを用いた新たな腫瘍血流・腫瘍血管解析法の確立	片岡　正子	放射線部	1,950,000	補 委	文部科学省
生体肝移植の吻合部静脈狭窄に対する立位での経静脈的カテーテル検査の有用性について	今峰　倫平	放射線部	1,170,000	補 委	文部科学省
イメージング質量分析法による低酸素診断用PET製剤の描出機序解明・創薬への展開	志水　陽一	放射線部	780,000	補 委	文部科学省
乳癌に対する術後放射線治療の体表マーカーレス化と治療の高精度化に関する研究	藤本　隆広	放射線部	650,000	補 委	文部科学省
肝疾患患者のサルコペニアに対する運動・栄養療法の併用効果の検証	吉岡　佑二	リハビリテーション部	510,000	補 委	文部科学省
ギャンブル障害のコネクトームについて	鶴身　孝介	デイ・ケア診療部	1,560,000	補 委	文部科学省
転写因子C/EBPβによるストレス造血制御機構の解明	平位　秀世	輸血細胞治療部	1,820,000	補 委	文部科学省

小計
26

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
婦人科腫瘍における免疫制御機構のダイナミズムの解明と新規治療開発の基礎的検討	濵西　潤三	周産母子診療部	6,240,000	補 委	文部科学省
子宮頚部上皮内腫瘍（ＣＩＮ）治療薬に関する研究開発	濵西　潤三	周産母子診療部	52,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
PD-1経路阻害薬耐性メカニズムの解明と新規治療開発～がん性腹水再利用への挑戦	濵西　潤三	周産母子診療部	1,950,000	補 委	文部科学省
分子バーコード法を用いた自己炎症性疾患の低頻度モザイク検出パイプラインの構築	井澤　和司	周産母子診療部	1,300,000	補 委	文部科学省
中枢神経の低酸素領域に存在する白血病細胞を標的とした新規治療法の開発	加藤　格	周産母子診療部	1,040,000	補 委	文部科学省
食事中の脂質源の違いがGIP分泌の差を介して生体内に及ぼす長期的作用の検討	城尾　恵里奈	疾患栄養治療部	1,300,000	補 委	文部科学省
敗血症時の脊髄における急性炎症変化とその臨床的意義	田中　具治	集中治療部	1,690,000	補 委	文部科学省
麻酔薬による糖尿病患者の血小板機能変化の解明と最適な周術期管理法の基盤確立	川本　修司	集中治療部	1,950,000	補 委	文部科学省
オピオイドへの耐性形成に関与するオピオイド受容体制御機構の解明	清水　覚司	集中治療部	1,300,000	補 委	文部科学省
大腸腫瘍幹細胞性維持におけるインスリン様増殖因子シグナルの治療標的としての可能性	宮本　心一	内視鏡部	1,300,000	補 委	文部科学省
炎症性腸疾患における鉄動態変化に基づくマクロファージ機能異常とその病態関与の解明	松浦　稔	内視鏡部	1,170,000	補 委	文部科学省
サルコペニアにおける栄養免疫連関の解明と難治性肝胆膵疾患に対する新規治療法の開発	海道　利実	臓器移植医療部	2,210,000	補 委	文部科学省
ヒト脱落膜マスト細胞のＫＩＲ２ＤＬ４を介した妊娠成立への関与	片岡　竜貴	臓器移植医療部	1,560,000	補 委	文部科学省
地域産学バリュープログラム「膵管上皮幹細胞由来インスリン分泌細胞の製造による細胞アッセイキットの開発」	穴澤　貴行	臓器移植医療部	1,560,000	補 委	国立研究開発法人　科学技術振興機構　分任研究契約担当者　理事
細胞移植用免疫寛容空間構築デバイスの開発	穴澤　貴行	臓器移植医療部	14,040,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
最適な移植環境を構築する新規膵島移植免疫抑制法の開発：MEK阻害剤の応用可能性	穴澤　貴行	臓器移植医療部	1,300,000	補 委	文部科学省
肝移植診療に患者及びドナーが主体的に参加するための情報環境の確立及び評価	山敷　宣代	臓器移植医療部	3,120,000	補 委	文部科学省
腹膜に着目した子宮内膜症発症機序の解明	谷　洋彦	母体胎児集中治療部	1,430,000	補 委	文部科学省
高度腎機能低下患者におけるフッ化ピリミジン系抗がん薬の適正使用に関する研究	松原　和夫	薬剤部	1,690,000	補 委	文部科学省
末梢神経障害に伴う末梢温調節機構の破綻と異常感覚発生の機構解明	中川　貴之	薬剤部	4,940,000	補 委	文部科学省
シュワン細胞を標的とした神経軸索再生戦略による末梢神経障害治療薬の開発	中川　貴之	薬剤部	3,250,000	補 委	文部科学省
がん化学療法誘発末梢神経障害の発症機構解析と予防/治療薬の探索	中川　貴之	薬剤部	5,460,000	補 委	文部科学省
神経/シュワン細胞相互作用に着目した抗がん剤誘発末梢神経障害の機序・治療法の探索	今井　哲司	薬剤部	1,560,000	補 委	文部科学省
薬物誘発性腎線維化に対する治療法の探索	中川　俊作	薬剤部	1,300,000	補 委	文部科学省
microRNAを介したユビキチンリガーゼの機能制御解析と脳機能障害治療への応用	大村　友博	薬剤部	1,430,000	補 委	文部科学省
抗酸化作用を持つ低吸収性機能性食品成分の吸収改善と効果改善に向けた製剤開発	佐藤　夕紀	薬剤部	1,170,000	補 委	文部科学省
腎機能低下時のネダプラチン投与による骨髄抑制発現解析と至適投与量設定	山際　岳朗	薬剤部	460,000	補 委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
肺移植患者におけるイトラコナゾール血中濃度測定の有用性評価	片田　佳希	薬剤部	520,000	補委	文部科学省
難治性てんかん患者に対するクロバザムを用いた新規治療戦略	端　幸代	薬剤部	500,000	補委	文部科学省
レベチラセタム併用時におけるメトトレキサート排泄遅延の原因究明と後方視的研究	都築　徹教	薬剤部	450,000	補委	文部科学省
バンコマイシン誘発性腎障害検出のための尿中NGALの有用性	佐藤　裕紀	薬剤部	520,000	補委	文部科学省
うつ病に伴うBZD系睡眠薬抵抗性不眠症に対する睡眠薬変更に関する前向き比較試験	重面　雄紀	薬剤部	330,000	補委	文部科学省
PBPKモデルを用いた生体肝移植患者におけるタクロリムスの薬物動態解析	糸原　光太郎	薬剤部	410,000	補委	文部科学省
分子シャペロンＡＰＧ－２による非アルコール性脂肪性肝疾患の制御と、その機序に基づく疾患予後評価法、治療法の開発	伊藤　克彦	医療安全管理部	6,000,000	補委	京都府公立大学法人　理事長
価値共有の認知による信頼関係に基づく人由来検体・情報のガバナンス体制の構築	佐藤　恵子	医療安全管理部	1,950,000	補委	文部科学省
全国的レジストリーによる脳卒中および循環器疾患の実態把握の確立と両疾患合併に関する包括的診療実態解明に関する研究	黒田　知宏	医療情報企画部	500,000	補委	国立研究開発法人　国立循環器病研究センター　理事長
革新的研究開発推進プログラム（ＩｍＰＡＣＴ）「イノベーティブな可視化技術による新成長産業の創出」（価値実証）画像データ管理環境の構築	黒田　知宏	医療情報企画部	25,180,000	補委	国立研究開発法人　科学技術振興機構　理事長
ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発　課題Ａ　ソーシャル・ビッグデータ利活用アプリケーションの研究開発	黒田　知宏	医療情報企画部	13,035,000	補委	国立研究開発法人　情報通信研究機構　契約担当理事
ＮＤＢデータによる理想的な健康医療ビッグデータ活用モデルの確立に関する研究	黒田　知宏	医療情報企画部	74,100,000	補委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
医療・介護のデータの利活用の推進のための、NDB・介護DBの連結可能性および活用可能性の評価に関する研究	加藤　源太	医療情報企画部	35,446,000	補委	厚生労働省
NDB　データから患者調査各項目及びOECD医療の質指標を導くためのアルゴリズム開発にかかる研究	加藤　源太	医療情報企画部	5,530,000	補委	厚生労働省
複合現実感型スポーツトレーニング支援技術基盤の研究開発	山本　豪志朗	医療情報企画部	1,690,000	補委	官署支出官　総務省大臣官房会計課長
競争と連携が病院の経営と医療の質に与える効果に関する研究	大坪　徹也	医療情報企画部	1,300,000	補委	文部科学省
介護保険施設の評価指標に関するデータ分析	大坪　徹也	医療情報企画部	650,000	補委	公立大学法人横浜市立大学　理事長
大規模データを用いた高齢者リハビリテーションにおけるエビデンス診療ギャップの解明	大寺　祥佑	医療情報企画部	2,860,000	補委	文部科学省
老化関連メタボライト探索によるWell-Ageing達成の挑戦的研究	近藤　祥司	地域ネットワーク医療部	4,290,000	補委	文部科学省
老化の多様性を生み出す代謝恒常性の変容破綻の解明とその制御	近藤　祥司	地域ネットワーク医療部	4,160,000	補委	文部科学省
最適な効果推定のための研究デザインの検討 -メタ疫学研究	小川　雄右	総合臨床教育・研修センター	780,000	補委	文部科学省
腹腔鏡拡大視効果による手術解剖を中心とした直腸局所解剖と生理学的機能評価	肥田　侯矢	総合臨床教育・研修センター	1,170,000	補委	文部科学省
脳Glia組織とGlymphatic systemの超高磁場MRIによる探求	山本　憲	総合臨床教育・研修センター	910,000	補委	文部科学省
伝統芸能・武道の精神的健康増進作用に関する脳画像研究	藤原　広臨	総合臨床教育・研修センター	910,000	補委	文部科学省
レセプトデータベース（NDB）の利用を容易にするための包括的支援システムの開発	加藤　源太	診療報酬センター	13,520,000	補委	文部科学省
生体由来3次元スキャフォールドを用いた再生肝臓による生存率改善とECM解析	福光　剣	診療報酬センター	1,560,000	補委	文部科学省

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
免疫グロブリン遺伝子再構成・転写異常によるSLE発症機構の解明	山田　宗茂	先端医療機器開発・臨床研究センター	1,560,000	補 委	文部科学省
肉腫への革新的医薬実用化を目指した独自開発の増殖制御型アデノウイルスの医師主導治験：治験体制整備・事務・実用化の支援	清水　章	臨床研究総合センター	2,300,000	補 委	国立大学法人鹿児島大学契約担当役　産学・地域共創センター長
京都大学大学院における臨床統計家育成のための教育カリキュラムの標準化のための研究開発	森田　智視	臨床研究総合センター	19,203,236	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
CD4T細胞から分化誘導される新規制御性T細胞の機能解析	清水　章	臨床研究総合センター	5,590,000	補 委	文部科学省
網膜色素変性に対するBranched　chain amino　acidsを用いた新規神経保護治療法の開発	池田　華子	臨床研究総合センター	71,377,566	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	岡本　健	臨床研究総合センター	199,999	補 委	国立大学法人　岡山大学学長
加齢黄斑変性に対する病態解明および新規治療法開発	池田　華子	臨床研究総合センター	1,560,000	補 委	文部科学省
VCP　ATPase阻害剤を用いた眼難治疾患に対する治療法開発	池田　華子	臨床研究総合センター	70,000,000	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
EPRAPを標的とした炎症性疾患に対する新規医療の開発	南　学	臨床研究総合センター	1,950,000	補 委	文部科学省
生存時間解析における例数設計方法の開発と臨床研究への応用	魚住　龍史	臨床研究総合センター	1,300,000	補 委	文部科学省
欧州の研究公正の制度的研究と日本の研究公正の環境構築	伊藤　達也	臨床研究総合センター	1,300,000	補 委	文部科学省
履歴質問紙混合データに基づくNMF開発と消費者購買行動・心理関係の探索的把握	阿部　寛康	臨床研究総合センター	390,000	補 委	文部科学省
重度涙道障害の病態解明と口腔粘膜上皮細胞シートによる涙道再生治療の開発	藤本　雅大	臨床研究総合センター	2,080,000	補 委	文部科学省
軟骨細胞系譜における分化段階特異的翻訳制御機構の解明	金　永輝	臨床研究総合センター	3,510,000	補 委	文部科学省
進行性骨化性線維異形成症の治療法開発に向けた病態解析	金　永輝	臨床研究総合センター	5,980,000	補 委	文部科学省
非線形位置合わせに基づく経時差分画像を用いた骨転移検出支援を行うためのソフトウェアの開発	磯田　裕義	先制医療・生活習慣病研究センター	24,185,980	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構　契約担当職　理事長
肝臓におけるリンを用いたMRスペクトロスコピーの確立とその臨床的有用性の検討	磯田　裕義	先制医療・生活習慣病研究センター	1,040,000	補 委	文部科学省
″Hypermutated-type″ 大腸がんの診断バイオマーカーの開発	山田　敦	先制医療・生活習慣病研究センター	1,690,000	補 委	文部科学省
腸管内分泌K細胞GIP合成分泌における細胞内シグナル伝達機構の解明	鈴木　和代	先制医療・生活習慣病研究センター	1,690,000	補 委	文部科学省
生体内におけるインクレチンGIPの骨代謝に及ぼす影響について	桑原　智子	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補 委	文部科学省
深層学習を用いたＣＴ肺癌検診のためのソフトウェア開発	西尾　瑞穂	先制医療・生活習慣病研究センター	1,040,000	補 委	文部科学省
がん患者が「最期まで自分らしく生きる」を支える日本型ACP看護支援モデルの評価	竹之内　沙弥香	倫理支援部	1,820,000	補 委	文部科学省
側坐核による運動機能回復における神経回路再編機構の解明	尾上　浩隆	脳機能総合研究センター	7,540,000	補 委	文部科学省
生活習慣を改善する意欲を形成する客観的画像指標の創成	岡田　知久	脳機能総合研究センター	2,340,000	補 委	文部科学省
圧縮センシングと深層学習の融合による新たなMRI画像再構成法の開発	藤本　晃司	脳機能総合研究センター	3,120,000	補 委	文部科学省

小計
25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金　額	補助元又は委託元	
Neural impact of native language literacy on the processing of non-native languages. Evidence from Chinese-English-Japanese and Vietnamese-English-Japanese trilinguals	ディン　ティ	脳機能総合研究センター	1,170,000	補 委	文部科学省
持続陽圧（CPAP,ASV）治療管理開始時からの治療状況確認と自己学習を含めた患者・医療機関相互方向の遠隔医療の試み	陳　和夫	呼吸管理睡眠制御学講座	12,304,000	補 委	厚生労働省
脳卒中後てんかんの急性期診断・予防・治療指針の策定	池田　昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	2,340,000	補 委	国立研究開発法人　国立循環器病研究センター　理事長
植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発／高生産性微生物創製に資する情報解析システムの開発	荒木　通啓	臨床システム腫瘍学講座	37,999,000	補 委	国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構　理事長
バイオポリマー　マテリアルズ・インフォマティクス研究開発コンソーシアム「革新的バイオ素材・高機能品等の開発を加速するインフォマティクス基盤技術の開発」	荒木　通啓	臨床システム腫瘍学講座	10,000,000	補 委	国立研究開発法人理化学研究所　外部資金室長
肺動脈性肺高血圧症に対する新規治療標的としてのTRPC6, CNP経路の研究	木下　秀之	地域医療システム学講座	1,560,000	補 委	文部科学省
RNAiスクリーニング法にて同定された肝癌における新規癌関連遺伝子の機能解析	髙井　淳	地域医療システム学講座	1,430,000	補 委	文部科学省
抗菌性と骨形成促進作用を併せ持つ生体活性インプラントの開発	藤林　俊介	運動器機能再建学講座	1,820,000	補 委	文部科学省
骨粗鬆症と人工関節周囲感染治療に対応した生体活性骨セメントの開発	後藤　公志	運動器機能再建学講座	1,170,000	補 委	文部科学省
切除不能・術後再発胆道癌に対するFolfirinox療法	金井　雅史	臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座	1,300,000	補 委	国立大学法人東京大学総長　代理人　医学部附属病院　事務部長
無症候性褐色細胞腫の臨床的特徴と診断法の確立と褐色細胞腫全般のスクリーニングのための定量的検査法の確立	曽根　正勝	代謝制御学講座	100,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター　理事長
異分野先端技術融合による薬剤抵抗性を標的とした革新的複合治療戦略の開発	井上　正宏	クリニカルバイオリソース研究開発講座	13,665,000	補 委	国立大学法人東京大学総長　代理人　医科学研究所　事務部長
ヒトへの外挿性を向上させた培養細胞資源開発と供給体制整備	井上　正宏	クリニカルバイオリソース研究開発講座	7,600,000	補 委	国立研究開発法人　医薬基盤・健康・栄養研究所契約担当役　理事長

小計
13

合計
445

注　1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Nishi K, Kanda J, Hishizawa M et al.	内科（血液内科）	Impact of the Use and Type of Antibiotics on Acute Graft-versus-Host Disease.	Biol Blood Marrow Transplant. 2018 Nov; 24(11):2178-2183	Original Article
2	Watanabe M, Kanda J, Hishizawa M et al.	内科（血液内科）	Lymphocyte Area Under the Curve as a Predictive Factor for Viral Infection after Allogenic Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant. 2019 Mar; 25(3):587-593	Original Article
3	Arima H, Nishikori M, Otsuka Y et al.	内科（血液内科）	B cells with aberrant activation of Notch1 signaling promote Treg and Th2 cell-dominant T-cell responses via IL-33.	Blood Adv. 2018 Sep; 2(18):2282-2295	Original Article
4	Iwasaki M, Kanda J, Hishizawa M et al.	内科（血液内科）	Effect of laminar air flow and building construction on aspergillosis in acute leukemia patients: a retrospective cohort study.	BMC Infect Dis. 2019 Jan; 19(1):38	Original Article
5	Arai Y, Jo T, Matsui H et al.	内科（血液内科）	Response to the Comment by Cirasino L and Semeraro S: ″Need to direct immune thrombocytopenia therapy towards shared goals″ Direct and indirect comparisons to determine the first choice for newly diagnosed primary immune thrombocytopenia in adults.	Haematologica. 2018 Jun; 103(6):e269	Original Article
6	Yamashita K, Mizugishi K, Takaori-Kondo A. et al.	内科（血液内科）	Familial Mediterranean Fever Mutations in a Patient with Periodic Episodes of Systemic Pain Deriving from Cancer Bone Metastases.	Intern Med. 2018 Oct; 57(19):2901-2904	Original Article
7	Arima H, Fujimoto M, Nishikori M et al.	内科（血液内科）	Prognostic impact of activation-induced cytidine deaminase expression for patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Leuk Lymphoma. 2018 Sep; 59(9):2085-2095	Original Article
8	Konishi Y, Kondo T, Nakao K et al.	内科（血液内科）	Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for 8p11 myeloproliferative syndrome with BCR-FGFR1 gene rearrangement: a case report and literature review.	Bone Marrow Transplant. 2019 Feb; 54(2):326-329	Case Report
9	Ikeguchi E, Harada N, Kanemaru Y et al.	内科（糖尿病・内分泌・栄養内科）	Transcriptional factor pancreatic duodenal homeobox-1 (Pdx1) is involved in age-related GIP hypersecretion in mice.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2018 Aug; 315(2):G272-G282	Original Article
10	Ikeda K, Sato T, Nakayama T et al.	内科（糖尿病・内分泌・栄養内科）	Dietary habits associated with reduced insulin resistance: The Nagahama study.	Diabetes Res Clin Pract. 2018 Jul; 141:26-34	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
11	Sugawa T, Murakami T, Yabe D et al.	内科(糖尿病・内分泌・栄養内科)	Hypoglycemia Unawareness in Insulinoma Revealed with Flash Glucose Monitoring Systems.	Intern Med. 2018 Dec; 57(23):3407-3412	Original Article
12	Ohno Y, Sone M, Inagaki N et al.	内科(糖尿病・内分泌・栄養内科)	Obesity as a Key Factor Underlying Idiopathic Hyperaldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab. 2018 Dec; 103(12):4456-4464	Original Article
13	Kato ET, Goto S, Giugliano RP. et al.	内科(循環器内科)	Overview of Oral Antithrombotic Treatment in Elderly Patients with Atrial Fibrillation	Ageing Res Rev. 2019 Jan; 49:115-124	Original Article
14	Yamashita Y, Morimoto T, Amano H et al.	内科(循環器内科)	Influence of Baseline Platelet Count on Outcomes in Patients With Venous Thromboembolism (from the COMMAND VTE Registry).	Am J Cardiol. 2018 Dec; 122(12):2131-2141	Original Article
15	Nishino T, Horie T, Baba O et al.	内科(循環器内科)	SREBF1/MicroRNA-33b Axis Exhibits Potent Effect on Unstable Atherosclerotic Plaque Formation In Vivo.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2018 Oct; 38(10):2460-2473	Original Article
16	Hatani T, Funakoshi S, Deerinck TJ et al.	内科(循環器内科)	Nano-structural analysis of engrafted human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes in mouse hearts using a genetic-probe APEX2.	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Nov; 505(4):1251-1256	Original Article
17	Nakatsuma K, Shiomi H, Natsuaki M et al.	内科(循環器内科)	Second-generation versus first-generation drug-eluting stents in patients with and without diabetes mellitus: pooled analysis from the RESET and NEXT trials.	Cardiovasc Interv Ther. 2018 Apr; 33(2):125-134	Original Article
18	Higami H, Toyofuku M, Morimoto T et al.	内科(循環器内科)	Impact of previous drug-eluting stent restenosis in non-left main coronary artery lesions on long-term outcomes after left main coronary artery stenting: an observation from the AOI-LMCA registry.	Cardiovasc Interv Ther. 2018 Oct; 33(4):350-359	Original Article
19	Watanabe H, Morimoto T, Shiomi H et al.	内科(循環器内科)	Mortality impact of post-discharge myocardial infarction size after percutaneous coronary intervention: a patient-level pooled analysis from the 4 large-scale Japanese studies.	Cardiovasc Interv Ther. 2019 Jan; 34(1):47-58	Original Article
20	Watanabe H, Morimoto T, Shiomi H et al.	内科(循環器内科)	Documented coronary atherothrombosis as the cause of death in post-discharge patients after coronary revascularization.	Cardiovasc Revasc Med. 2018 Jul-Aug; 19(5 Pt B):597-606	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
21	Yamamoto E, Watanabe S, Bao B et al.	内科(循環器内科)	Preclinical evaluation of a paclitaxel-incorporated nanoparticle-coated balloon in rabbit and porcine models.	Cardiovasc Revasc Med. 2018 Jun; 19(4):433-437	Original Article
22	Watanabe H, Saito N, Nagata Y et al.	内科(循環器内科)	A novel guidewire-integrated embolic protection filter device with a handy-folding system: In vitro and in vivo performance assessment.	Catheter Cardiovasc Interv. 2018 Jul; 92(1):E9-E14	Original Article
23	Watanabe H, Morimoto T, Shiomi H et al.	内科(循環器内科)	Chronic total occlusion in non-infarct-related artery is associated with increased short-and long-term mortality in patients with ST-segment elevation acute myocardial infarction complicated by cardiogenic shock (from the CREDO-Kyoto AMI registry).	Catheter Cardiovasc Interv. 2018 Sep; 92(3):455-463	Original Article
24	Yaku H, Saito N, Imai M et al.	内科(循環器内科)	Utility of a 3-Dimensional Printed Model to Simulate Transcatheter Aortic Valve Implantation in a Patient With an Intramural Hematoma and a Penetrating Atherosclerotic Ulcer in the Distal Aortic Arch.	Circ Cardiovasc Interv. 2018 Dec; 11(12):e006925	Original Article
25	Ono K, Kuwabara Y, Horie T et al.	内科(循環器内科)	Long Non-Coding RNAs as Key Regulators of Cardiovascular Diseases.	Circ J. 2018 Apr; 82(5):1231-1236	Original Article
26	Yamashita Y, Morimoto T, Amano H et al.	内科(循環器内科)	Anticoagulation Therapy for Venous Thromboembolism in the Real World - From the COMMAND VTE Registry.	Circ J. 2018 Apr; 82(5):1262-1270	Original Article
27	Higami H, Toyofuku M, Morimoto T et al.	内科(循環器内科)	Acute Coronary Syndrome With Unprotected Left Main Coronary Artery Culprit - An Observation From the AOI-LMCA Registry.	Circ J. 2018 Dec; 83(1):198-208	Original Article
28	Matsumura-Nakano Y, Shiomi H, Morimoto T et al.	内科(循環器内科)	Sex Differences in Long-Term Clinical Outcomes in Patients With Atrial Fibrillation Undergoing Coronary Stent Implantation.	Circ J. 2018 Jun; 82(7):1754-1762	Original Article
29	Yaku H, Ozasa N, Morimoto T et al.	内科(循環器内科)	Demographics, Management, and In-hospital Outcomes of Patients with Hospitalized Acute Heart Failure Syndromes in the Contemporary Real Clinical Practice in Japan: Observations from the Prospective, Multicenter Kyoto Congestive Heart Failure (KCHF) regist	Circ J. 2018 Oct; 82(11):2811-2819	Original Article
30	Ozasa N, Kimura T.	内科(循環器内科)	Oral β-Blocker Therapy in Acute Myocardial Infarction.	Circ J. 2019 Jan; 83(2):281-282	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
31	Matsumura-Nakano Y, Shizuta S, Komasa A et al.	内科(循環器内科)	Open-Label Randomized Trial Comparing Oral Anticoagulation With and Without Single Antiplatelet Therapy in Patients With Atrial Fibrillation and Stable Coronary Artery Disease Beyond 1 Year After Coronary Stent Implantation.	Circulation. 2019 Jan; 139(5):604-616	Original Article
32	Nakazeki F, Tsuge I, Horie T et al.	内科(循環器内科)	MiR-33a is a therapeutic target in SPG4-related hereditary spastic paraplegia human neurons.	Clin Sci (Lond). 2019 Feb; 133(4):583-595	Original Article
33	Minamino-Muta E, Kato T, Morimoto T et al.	内科(循環器内科)	Malignant disease as a comorbidity in patients with severe aortic stenosis: clinical presentation, outcomes, and management.	Eur Heart J Qual Care Clin Outcomes. 2018 Jul; 4(3):180-188	Original Article
34	Aizawa T, Shiomi H, Kitano K et al.	内科(循環器内科)	Frank's sign: diagonal earlobe crease.	Eur Heart J. 2018 Oct; 39(40):3653	Original Article
35	Yoshikawa Y, Kimura T.	内科(循環器内科)	Percutaneous coronary intervention in stable coronary artery disease: still in equipoise?	Eur Heart J. 2019 Jan; 40(2):187-189	Original Article
36	Saito N.	内科(循環器内科)	Reconsideration of a mathematical model for post-stenting fractional flow reserve in a tandem lesion with a side branch.	EuroIntervention. 2018 Apr; 13(17):2077	Original Article
37	Toyota T, Morimoto T, Shiomi H et al.	内科(循環器内科)	Single-session versus staged procedures for elective multivessel percutaneous coronary intervention.	Heart. 2018 Jun; 104(11):936-944	Original Article
38	Chen PM, Ohno M, Kimura T et al.	内科(循環器内科)	Reply: Nardilysin is a promising biomarker for the early diagnosis of acute coronary syndrome.	Int J Cardiol. 2018 Aug; 265:236	Original Article
39	Shizuta S, Kawaji T, Kimura T. et al.	内科(循環器内科)	Reply to "Should we isolate superior vena cava and to ablate cavo-tricuspid isthmus in all patients with atrial fibrillation during pulmtonary vein isolation?"	Int J Cardiol. 2018 Jun; 260:110	Original Article
40	Watanabe H, Morimoto T, Shiomi H et al.	内科(循環器内科)	Impact of Angiographic Residual Stenosis on Clinical Outcomes After New-Generation Drug-Eluting Stents Implantation: Insights From a Pooled Analysis of the RESET and NEXT Trials.	J Am Heart Assoc. 2018 Jun; 7(13)	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
41	Taniguchi T, Morimoto T, Shiomi H et al.	内科(循環器内科)	Sudden Death in Patients With Severe Aortic Stenosis: Observations From the CURRENT AS Registry.	J Am Heart Assoc. 2018 May; 7(11)	Original Article
42	Tanaka M, Taniguchi T, Saito N et al.	内科(循環器内科)	Inferior vena cava thrombus due to hyperhomocysteinemia.	J Cardiol Cases. 2018 Aug; 18(5):168-170	Original Article
43	Minanimo-Muta E, Kato T, Shioi T et al.	内科(循環器内科)	Cardiac effects of acute administration of a protonophore in a rat model.	J Pharm Pharmacol. 2018 Sep; 70(9):1209-1215	Original Article
44	Imai M, Yoshida M, Toyota T et al.	内科(循環器内科)	Successful Catheter Treatment Using Pre-Operative 3D Organ Model Simulation for Atrial Septal Defect With Dextrocardia and Interrupted Inferior Vena Cava to the Superior Vena Cava.	JACC Cardiovasc Interv. 2018 Apr; 11(8):e63-e64	Original Article
45	Kimura T.	内科(循環器内科)	Can ultra-thin strut drug-eluting stents improve outcomes?	Lancet. 2019 Mar; 393(10175):961-962	Original Article
46	Baba O, Horie T, Nakao T et al.	内科(循環器内科)	MicroRNA 33 Regulates the Population of Peripheral Inflammatory Ly6C(high) Monocytes through Dual Pathways.	Mol Cell Biol. 2018 Jun; 38(14)	Original Article
47	Nakagawa Y, Nishikimi T, Kuwahara K. et al.	内科(循環器内科)	Atrial and brain natriuretic peptides: Hormones secreted from the heart.	Peptides. 2019 Jan; 111:18-25	Original Article
48	Watanabe H, Ozasa N, Morimoto T et al.	内科(循環器内科)	Long-term use of carvedilol in patients with ST-segment elevation myocardial infarction treated with primary percutaneous coronary intervention.	PLoS One. 2018 Aug; 13(8):e0199347	Original Article
49	Kuwabara J, Kuwahara K, Kuwabara Y et al.	内科(循環器内科)	Cross-sectional study of the association between day-to-day home blood pressure variability and visceral fat area measured using the dual impedance method.	PLoS One. 2018 Nov; 13(11):e0206945	Original Article
50	Nakazeki F, Nishiga M, Horie T et al.	内科(循環器内科)	Loss of periostin ameliorates adipose tissue inflammation and fibrosis in vivo.	Sci Rep. 2018 Jun; 8(1):8553	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
51	Hakuno D, Kimura M, Ito S et al.	内科(循環器内科)	Hepatokine α1-Microglobulin Signaling Exacerbates Inflammation and Disturbs Fibrotic Repair in Mouse Myocardial Infarction.	Sci Rep. 2018 Nov; 8(1):16749	Original Article
52	Yamashita Y, Morimoto T, Toyota T et al.	内科(循環器内科)	Asian patients versus non-Asian patients in the efficacy and safety of direct oral anticoagulants relative to vitamin K antagonist for venous thromboembolism: A systemic review and meta-analysis.	Thromb Res. 2018 Jun; 166:37-42	Review
53	Kimura T, Iimuro S, Taguchi I et al.	内科(循環器内科)	Response by Kimura et al to Letters Regarding Article, "High-Dose Versus Low-Dose Pitavastatin in Japanese Patients With Stable Coronary Artery Disease (REAL-CAD): A Randomized Superiority Trial".	Circulation. 2018 Dec; 138(23):2728-2729	Letter
54	Yamaga Y, Fukuda A, Nakanishi Y et al.	内科(消化器内科)	Gene expression profile of Dclk1+ cells in intestinal tumors.	Dig Liver Dis. 2018 Dec; 50(12):1353-1361	Original Article
55	Nishikawa Y, Uza N, Yamauchi Y et al.	内科(消化器内科)	Successful endoscopic removal of fractured guidewire fragments from a peripheral bile duct using a biliary stent delivery system and biopsy forceps.	Endoscopy. 2018 Oct; 50(10):E279-E280	Original Article
56	Yoshikawa T, Ohana M, Fukuda A. et al.	内科(消化器内科)	High fever after radiofrequency ablation of hepatocellular carcinoma	Gastroenterology. 2018 Aug; 155(2):e3-e4	Original Article
57	Kimura Y, Fukuda A, Ogawa S et al.	内科(消化器内科)	ARID1A Maintains Differentiation of Pancreatic Ductal Cells and Inhibits Development of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma in Mice.	Gastroenterology. 2018 Jul; 155(1):194-209.e2	Original Article
58	Kitamoto H, Kataoka T, Yamamoto S. et al.	内科(消化器内科)	Multiple Polypoid Lesions in the Ileum After Treatment for Primary Ileal Follicular Lymphoma.	Gastroenterology. 2019 Feb; 156(3):552-553	Original Article
59	Mishima M, Horimatsu T, Miyamoto S. et al.	内科(消化器内科)	Acute Respiratory Failure During Systemic Chemotherapy.	Gastroenterology. 2019 Mar; 156(4):e7-e9	Original Article
60	Nikaido M, Miyamoto S, Setoyama T et al.	内科(消化器内科)	Twelve-year natural history of early esophagogastric junction cancer in an extremely old patient.	Geriatr Gerontol Int. 2018 Dec; 18(12):1648-1649	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
61	Eso Y, Furuta A, Takai A et al.	内科(消化器内科)	Ultrasound-guided microfoam sclerotherapy with polidocanol for symptomatic giant hepatic cyst: Initial experience.	Hepatol Res. 2018 Nov; 48(12):1055-1063	Original Article
62	Mizuguchi A, Takai A, Shimizu T et al.	内科(消化器内科)	Genetic features of multicentric/multifocal intramucosal gastric carcinoma.	Int J Cancer. 2018 Oct; 143(8):1923-1934	Original Article
63	Eso Y, Uza N, Shirakawa K et al.	内科(消化器内科)	Choledochoduodenal Fistula during Chemotherapy with Brentuximab Vedotin for Methotrexate-associated Lymphoproliferative Disorder.	Intern Med. 2018 Aug; 57(15):2203-2207	Original Article
64	Nagao M, Fukuda A, Seno H. et al.	内科(消化器内科)	An Unusual Cause of Thickening of the Rectal Wall	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Jul; 33(7):1307	Original Article
65	Inuzuka T, Ueda Y, Arasawa S et al.	内科(消化器内科)	Expansion of viral variants associated with immune escape and impaired virion secretion in patients with HBV reactivation after resolved infection.	Sci Rep. 2018 Dec; 8(1):18070	Original Article
66	Sakuma Y, Kodama Y, Eguchi T et al.	内科(消化器内科)	Chemokine CXCL16 mediates acinar cell necrosis in cerulein induced acute pancreatitis in mice.	Sci Rep. 2018 Jun; 8(1):8829	Original Article
67	Shiokawa M, Kodama Y, Sekiguchi K et al.	内科(消化器内科)	Laminin 511 is a target antigen in autoimmune pancreatitis.	Sci Transl Med. 2018 Aug; 10(453)	Original Article
68	Tanabe N, Muro S, Sato S et al.	内科(呼吸器内科)	Fractal analysis of low attenuation clusters on computed tomography in chronic obstructive pulmonary disease.	BMC Pulm Med. 2018 Aug; 18(1):144	Original Article
69	Fuseya Y, Muro S, Sato S et al.	内科(呼吸器内科)	Perspectives on End-of-Life Treatment among Patients with COPD: A Multicenter, Cross-sectional Study in Japan.	COPD. 2019 Feb; 16(1):75-81	Original Article
70	Handa T, Matsui S, Yoshifuji H et al.	内科(呼吸器内科)	Serum soluble interleukin-2 receptor as a biomarker in immunoglobulin G4-related disease.	Mod Rheumatol. 2018 Sep; 28(5):838-844	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
71	Fuseya Y, Muro S, Sato S et al.	内科(呼吸器内科)	Complementary regional heterogeneity information from COPD patients obtained using oxygen-enhanced MRI and chest CT.	PLoS One. 2018 Aug; 13(8):e0203273	Original Article
72	Oga T, Windisch W, Handa T et al.	内科(呼吸器内科)	Health-related quality of life measurement in patients with chronic respiratory failure.	Respir Investig. 2018 May; 56(3):214-221	Original Article
73	Hasegawa K, Sato S, Tanimura K et al.	内科(呼吸器内科)	Gastroesophageal reflux symptoms and nasal symptoms affect the severity of bronchitis symptoms in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Respir Investig. 2018 May; 56(3):230-237	Original Article
74	Tanabe N, Oguma T, Sato S et al.	内科(呼吸器内科)	Quantitative measurement of airway dimensions using ultra-high resolution computed tomography.	Respir Investig. 2018 Nov; 56(6):489-496	Original Article
75	Tanizawa K, Handa T, Nagai S et al.	内科(呼吸器内科)	Can the Sarcoidosis Health Questionnaire predict the long-term outcomes in Japanese sarcoidosis patients?	Respir Med. 2019 Mar; 149:1-8	Original Article
76	Tanizawa K, Handa T, Kubo T et al.	内科(呼吸器内科)	Clinical significance of radiological pleuroparenchymal fibroelastosis pattern in interstitial lung disease patients registered for lung transplantation: a retrospective cohort study.	Respir Res. 2018 Aug; 19(1):162	Original Article
77	Uemasu K, Sato S, Muro S et al.	内科(呼吸器内科)	Annual decline in arterial blood oxygen predicts development of chronic respiratory failure in COPD with mild hypoxaemia: A 6-year follow-up study.	Respirology. 2019 Mar; 24(3):262-269	Original Article
78	Matsumoto T, Tanizawa K, Tachikawa R et al.	内科(呼吸器内科)	Associations of obstructive sleep apnea with truncal skeletal muscle mass and density.	Sci Rep. 2018 Apr; 8(1):6550	Original Article
79	Korogi Y, Gotoh S, Ikeo S et al.	内科(呼吸器内科)	In Vitro Disease Modeling of Hermansky-Pudlak Syndrome Type 2 Using Human Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Alveolar Organoids.	Stem Cell Reports. 2019 Mar; 12(3):431-440	Original Article
80	Tsuji H, Ikari K, Ohmura K et al.	内科(免疫・膠原病内科)	Significant joint-destructive association of HLA-DRB1*04:05 independent of DAS28 in rheumatoid arthritis.	Ann Rheum Dis. 2019 Feb; 78(2):284-286	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
81	Hashimoto M, Furu M, Yamamoto W et al.	内科(免疫・膠原病内科)	Factors associated with the achievement of biological disease-modifying antirheumatic drug-free remission in rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort study.	Arthritis Res Ther. 2018 Aug; 20(1):165	Original Article
82	Hiwa R, Ikari K, Ohmura K et al.	内科(免疫・膠原病内科)	HLA-DRB1 Analysis Identified a Genetically Unique Subset within Rheumatoid Arthritis and Distinct Genetic Background of Rheumatoid Factor Levels from Anticyclic Citrullinated Peptide Antibodies.	J Rheumatol. 2018 Apr; 45(4):470-480	Original Article
83	Okabe N, Ohmura K, Katayama M et al.	内科(免疫・膠原病内科)	Suppressor of TCR signaling-2 (STS-2) suppresses arthritis development in mice.	Mod Rheumatol. 2018 Jul; 28(4):626-636	Original Article
84	Yoshifuji H.	内科(免疫・膠原病内科)	Pathophysiology of large vessel vasculitis and utility of interleukin-6 inhibition therapy.	Mod Rheumatol. 2019 Mar; 29(2):287-293	Original Article
85	Terao C, Yoshifuji H, Matsumura T et al.	内科(免疫・膠原病内科)	Genetic determinants and an epistasis of LILRA3 and HLA-B*52 in Takayasu arteritis.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Dec; 115(51):13045-13050	Original Article
86	Shirakashi M, Yoshifuji H, Kodama Y et al.	内科(免疫・膠原病内科)	Factors in glucocorticoid regimens associated with treatment response and relapses of IgG4-related disease: a multicentre study.	Sci Rep. 2018 Jul; 8(1):10262	Original Article
87	Otake K, Sato N, Kitaguchi A et al.	内科(初期診療・救急科)	The Effect of Lactoferrin and Pepsin-Treated Lactoferrin on IEC-6 Cell Damage Induced by Clostridium Difficile Toxin B.	Shock. 2018 Jul; 50(1):119-125	Original Article
88	Uemura MT, Ihara M, Maki T et al.	内科(脳神経内科)	Pericyte-derived bone morphogenetic protein 4 underlies white matter damage after chronic hypoperfusion.	Brain Pathol. 2018 Jul; 28(4):521-535	Original Article
89	Fumuro T, Matsuhashi M, Matsumoto R et al.	内科(脳神経内科)	Do scalp-recorded slow potentials during neuro-feedback training reflect the cortical activity?	Clin Neurophysiol. 2018 Sep; 129(9):1884-1890	Original Article
90	Neshige S, Matsuhashi M, Kobayashi K et al.	内科(脳神経内科)	Multi-component intrinsic brain activities as a safe, alternative to cortical stimulation for sensori-motor mapping in neurosurgery.	Clin Neurophysiol. 2018 Sep; 129(9):2038-2048	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
91	Neshige S, Kobayashi K, Matsuhashi M et al.	内科(脳神経内科)	A rational, multispectral mapping algorithm for primary motor cortex: A primary step before cortical stimulation.	Epilepsia. 2019 Mar; 60(3):547-559	Original Article
92	Inoue T, Inouchi M, Matsuhashi M et al.	内科(脳神経内科)	Interictal Slow and High-Frequency Oscillations: Is it an Epileptic Slow or Red Slow?	J Clin Neurophysiol. 2019 Mar; 36(2):166-170	Original Article
93	Yasuda K, Murase N, Yoshinaga K et al.	内科(脳神経内科)	Leukoencephalopathy with a case of heterozygous POLG mutation mimicking mitochondrial neurogastrointestinal encephalomyopathy (MNGIE).	J Clin Neurosci. 2019 Mar; 61:302-304	Original Article
94	Uemura N, Yagi H, Uemura MT et al.	内科(脳神経内科)	Inoculation of α-synuclein preformed fibrils into the mouse gastrointestinal tract induces Lewy body-like aggregates in the brainstem via the vagus nerve.	Mol Neurodegener. 2018 May; 13(1):21	Original Article
95	Hishizawa M, Yamashita H, Akizuki M et al.	内科(脳神経内科)	TDP-43 levels are higher in platelets from patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis than in healthy controls.	Neurochem Int. 2019 Mar; 124:41-45	Original Article
96	Li F, Takechi H, Saito R et al.	内科(脳神経内科)	A comparative study: visual rating scores and the voxel-based specific regional analysis system for Alzheimer's disease on magnetic resonance imaging among subjects with Alzheimer's disease, mild cognitive impairment, and normal cognition.	Psychogeriatrics. 2019 Mar; 19(2):95-104	Original Article
97	Kobayashi K, Hitomi T, Matsumoto R et al.	内科(脳神経内科)	Nationwide survey in Japan endorsed diagnostic criteria of benign adult familial myoclonus epilepsy.	Seizure. 2018 Oct; 61:14-22	Original Article
98	Sato Y, Yanagita M.	内科(腎臓内科)	Immune cells and inflammation in AKI to CKD progression.	Am J Physiol Renal Physiol. 2018 Dec; 315(6):F1501-F1512	Original Article
99	Toda N, Mukoyama M, Yanagita M et al.	内科(腎臓内科)	CTGF in kidney fibrosis and glomerulonephritis.	Inflamm Regen. 2018 Aug; 1.59305555555556	Original Article
100	Arai H, Toda N, Kamimatsuse R et al.	内科(腎臓内科)	A Refractory Case of Secondary Membranous Nephropathy Concurrent with IgG4-related Tubulointerstitial Nephritis.	Intern Med. 2018 Oct; 57(19):2873-2877	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
101	Nakamura J, Sato Y, Kitai Y et al.	内科(腎臓内科)	Myofibroblasts acquire retinoic acid-producing ability during fibroblast-to-myofibroblast transition following kidney injury.	Kidney Int. 2019 Mar; 95(3):526-539	Original Article
102	Toda N, Mori K, Kasahara M et al.	内科(腎臓内科)	Deletion of connective tissue growth factor ameliorates peritoneal fibrosis by inhibiting angiogenesis and inflammation.	Nephrol Dial Transplant. 2018 Jun; 33(6):943-953	Original Article
103	Uchino E, Takada D, Mogami H et al.	内科(腎臓内科)	Membranous nephropathy associated with pregnancy: an anti-phospholipase A2 receptor antibody-positive case report.	CEN Case Rep. 2018 May; 7(1):101-106	Case Report
104	Yamada H, Doi K, Tsukamoto T et al.	内科(腎臓内科)	Low-dose atrial natriuretic peptide for prevention or treatment of acute kidney injury: a systematic review and meta-analysis.	Crit Care. 2019 Feb; 23(1):41	Review
105	Nomura M, Otsuka A, Yoshimura M et al.	内科(腫瘍内科)	Efficacy and safety of concurrent immunoradiotherapy in patients with metastatic melanoma after progression on nivolumab.	Cancer Chemother Pharmacol. 2018 May; 81(5):823-827	Original Article
106	Kondo T, Kanai M, Kou T et al.	内科(腫瘍内科)	Association between homologous recombination repair gene mutations and response to oxaliplatin in pancreatic cancer.	Oncotarget. 2018 Apr; 9(28):19817-19825	Original Article
107	Nishigori T, Tsunoda S, Obama K et al.	外科(消化管外科)	Optimal Cutoff Values of Skeletal Muscle Index to Define Sarcopenia for Prediction of Survival in Patients with Advanced Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2018 Nov; 25(12):3596-3603	Original Article
108	Yoshitomi M, Hasegawa S, Takahashi R et al.	外科(消化管外科)	Transanal minimally invasive surgery for local excision of early rectal tumor.	Asian J Endosc Surg. 2018 May; 11(2):182-184	Original Article
109	Nishikawa G, Kawada K, Nakagawa J et al.	外科(消化管外科)	Bone marrow-derived mesenchymal stem cells promote colorectal cancer progression via CCR5.	Cell Death Dis. 2019 Mar; 10(4):264	Original Article
110	Hoshino N, Takada T, Hida K et al.	外科(消化管外科)	Daikenchuto for reducing postoperative ileus in patients undergoing elective abdominal surgery.	Cochrane Database Syst Rev. 2018 Apr; 4:CD012271	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
111	Okamura R, Hida K, Nishizaki D et al.	外科(消化管外科)	Proposal of a stage-specific surveillance strategy for colorectal cancer patients: A retrospective analysis of Japanese large cohort.	Eur J Surg Oncol. 2018 Apr; 44(4):449-455	Original Article
112	Hoshino N, Hida K, Sakai Y et al.	外科(消化管外科)	Nomogram for predicting anastomotic leakage after low anterior resection for rectal cancer.	Int J Colorectal Dis. 2018 Apr; 33(4):411-418	Original Article
113	Itatani Y, Kawada K, Yamamoto T et al.	外科(消化管外科)	Resistance to Anti-Angiogenic Therapy in Cancer-Alterations to Anti-VEGF Pathway.	Int J Mol Sci. 2018 Apr; 19(4)	Original Article
114	Mizuno R, Kawada K, Itatani Y et al.	外科(消化管外科)	The Role of Tumor-Associated Neutrophils in Colorectal Cancer.	Int J Mol Sci. 2019 Jan; 20(3)	Original Article
115	Maekawa H, Miyoshi H, Yamaura T et al.	外科(消化管外科)	A Chemosensitivity Study of Colorectal Cancer Using Xenografts of Patient-Derived Tumor-Initiating Cells.	Mol Cancer Ther. 2018 Oct; 17(10):2187-2196	Original Article
116	Itatani Y, Obama K, Nishigori T et al.	外科(消化管外科)	Three-dimensional Stereoscopic Visualization Shortens Operative Time in Laparoscopic Gastrectomy for Gastric Cancer.	Sci Rep. 2019 Mar; 9(1):4108	Original Article
117	So M, Itatani Y, Obama K et al.	外科(消化管外科)	Laparoscopic resection of idiopathic jejunal arteriovenous malformation after metallic coil embolization.	Surg Case Rep. 2018 Jul; 4(1):78	Original Article
118	Inamoto S, Obama K, Asai S et al.	外科(消化管外科)	Laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer patient with intestinal malrotation: report of a case.	Surg Case Rep. 2019 Mar; 5(1):45	Original Article
119	Kawada K, Hida K, Hasegawa S et al.	外科(消化管外科)	A comparison of the long-term anorectal function between laparoscopic intersphincteric resection and low anterior resection for low rectal cancer.	Surg Today. 2018 Oct; 48(10):921-927	Original Article
120	Hoshino N, Nishizaki D, Hida K et al.	外科(消化管外科)	Rikkunshito for upper gastrointestinal symptoms: A systematic review and meta-analysis.	Complement Ther Med. 2019 Feb; 42:255-263	Review

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
121	Hoshino N, Murakami K, Hida K et al.	外科(消化管外科)	Diagnostic accuracy of magnetic resonance imaging and computed tomography for lateral lymph node metastasis in rectal cancer: a systematic review and meta-analysis.	Int J Clin Oncol. 2019 Jan; 24(1):46-52	Review
122	Hoshino N, Fukui Y, Hida K et al.	外科(消化管外科)	Short-term outcomes of laparoscopic surgery for colorectal cancer in the elderly versus non-elderly: a systematic review and meta-analysis.	Int J Colorectal Dis. 2019 Mar; 34(3):377-386	Review
123	Takada M, Sugimoto M, Masuda N et al.	外科(乳腺外科)	Prediction of postoperative disease-free survival and brain metastasis for HER2-positive breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy plus trastuzumab using a machine learning algorithm.	Breast Cancer Res Treat. 2018 Dec; 172(3):611-618	Original Article
124	Sagara Y, Takada M, Ohi Y et al.	外科(乳腺外科)	Effectiveness of neo-adjuvant systemic therapy with trastuzumab for basal HER2 type breast cancer: results from retrospective cohort study of Japan Breast Cancer Research Group (JBCRG)-C03.	Breast Cancer Res Treat. 2018 Oct; 171(3):675-683	Original Article
125	Takada M, Takeuchi M, Suzuki E et al.	外科(乳腺外科)	Real-time navigation system for sentinel lymph node biopsy in breast cancer patients using projection mapping with indocyanine green fluorescence.	Breast Cancer. 2018 Nov; 25(6):650-655	Original Article
126	Fukui Y, Kawashima M, Kawaguchi K et al.	外科(乳腺外科)	Granulocyte-colony-stimulating factor-producing metaplastic carcinoma of the breast with significant elevation of serum interleukin-17 and vascular endothelial growth factor levels.	Int Cancer Conf J. 2018 Jun; 7(3):107-113	Original Article
127	Itou J, Li W, Ito S et al.	外科(乳腺外科)	Sal-like 4 protein levels in breast cancer cells are post-translationally down-regulated by tripartite motif-containing 21.	J Biol Chem. 2018 Apr; 293(17):6556-6564	Original Article
128	Yamaga I, Kawaguchi-Sakita N, Asao Y et al.	外科(乳腺外科)	Vascular branching point counts using photoacoustic imaging in the superficial layer of the breast: A potential biomarker for breast cancer.	Photoacoustics. 2018 Jun; 11:6-13	Original Article
129	Matsumoto Y, Asao Y, Sekiguchi H et al.	外科(乳腺外科)	Visualising peripheral arterioles and venules through high-resolution and large-area photoacoustic imaging.	Sci Rep. 2018 Oct; 8(1):14930	Original Article
130	Kawaguchi K, Sakurai M, Yamamoto Y et al.	外科(乳腺外科)	Alteration of specific cytokine expression patterns in patients with breast cancer.	Sci Rep. 2019 Feb; 9(1):2924	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
131	Aliyev V, Yagi S, Hammad A et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Sclerosing encapsulating peritonitis after living-donor liver transplantation: A case series, Kyoto experience.	Ann Hepatobiliary Pancreat Surg. 2018 May; 22(2):144-149	Original Article
132	Aliyev V, Yasuchika K, Hammad A et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	A huge intraductal papillary neoplasm of the bile duct treated by right trisectionectomy after right portal vein embolization.	Ann Hepatobiliary Pancreat Surg. 2018 May; 22(2):150-155	Original Article
133	Yoh T, Seo S.	外科(肝胆膵・移植外科)	ASO Author Reflections: Proposal of a New Preoperative Prognostic Model for Solitary Hepatocellular Carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2018 Dec; 25(Suppl 3):780-781	Original Article
134	Masui T, Uemoto S.	外科(肝胆膵・移植外科)	ASO Author Reflections: Recurrence Type of NEN Around the Head of the Pancreas.	Ann Surg Oncol. 2018 Dec; 25(Suppl 3):812-813	Original Article
135	Kaido T, Kobayashi A, Hamaguchi Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Reply to: "Relationship Between Sarcopenic Obesity and Outcomes of Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma".	Ann Surg. 2018 Dec; 268(6):e87	Original Article
136	Kubota T, Hata K, Sozu T et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Impact of Donor Age on Recipient Survival in Adult-to-Adult Living-donor Liver Transplantation.	Ann Surg. 2018 Jun; 267(6):1126-1133	Original Article
137	Ikeno Y, Seo S, Yamamoto G et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Usefulness of Preoperative (18)F-FDG-PET in Detecting Invasive Intraductal Papillary Neoplasm of the Bile Duct.	Anticancer Res. 2018 Jun; 38(6):3677-3682	Original Article
138	Seo S, Yoh T, Morino K et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	The Relationship Between (18)F-FDG Uptake on PET/CT and Markers of Systemic Inflammatory Response in Patients Undergoing Surgery for Intrahepatic Cholangiocarcinoma.	Anticancer Res. 2019 Jan; 39(1):341-346	Original Article
139	Badawy A, Seo S, Toda R et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Evaluation of a new energy device for parenchymal transection in laparoscopic liver resection.	Asian J Endosc Surg. 2018 May; 11(2):123-128	Original Article
140	Fuji H, Ohmae S, Noma N et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Necrostatin-7 suppresses RANK-NFATc1 signaling and attenuates macrophage to osteoclast differentiation.	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Sep; 503(2):544-549	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
141	Yoh T, Hatano E, Kasai Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Serum nardilysin, a surrogate marker for epithelial-mesenchymal transition, predicts prognosis of intrahepatic cholangiocarcinoma after surgical resection.	Clin Cancer Res. 2019 Jan; 25(2):619-628	Original Article
142	Badawy A, Kaido T, Yoshizawa A et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Human leukocyte antigen compatibility and lymphocyte cross-matching play no significant role in the current adult-to-adult living donor liver transplantation.	Clin Transplant. 2018 Apr; 32(4):e13234	Original Article
143	Yao S, Yagi S, Nagao M et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Etiologies, risk factors, and outcomes of bacterial cholangitis after living donor liver transplantation.	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2018 Oct; 37(10):1973-1982	Original Article
144	Kaido T, Hamaguchi Y, Uemoto S. et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Significance of preoperative sarcopenia to liver surgery.	Hepatobiliary Surg Nutr. 2019 Feb; 8(1):59-62	Original Article
145	Ogiso S, Okuno M, Shindoh J et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Conceptual framework of middle hepatic vein anatomy as a roadmap for safe right hepatectomy.	HPB (Oxford). 2019 Jan; 21(1):43-50	Original Article
146	Hamaguchi Y, Kaido T, Okumura S et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Proposal for new selection criteria considering pre-transplant muscularity and visceral adiposity in living donor liver transplantation.	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2018 Apr; 9(2):246-254	Original Article
147	Yoh T, Hatano E, Seo S et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Preoperative criterion identifying a low-risk group for lymph node metastasis in intrahepatic cholangiocarcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2018 Jun; 25(6):299-307	Original Article
148	Ogawa K, Kaido T, Okajima H et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Impact of pretreatments on outcomes after living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2019 Feb; 26(2):73-81	Original Article
149	Badawy A, Seo S, Toda R et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	A Propensity Score-Based Analysis of Laparoscopic Liver Resection for Liver Malignancies in Elderly Patients.	J Invest Surg. 2019 Jan; 32(1):75-82	Original Article
150	Yao S, Taura K, Okuda Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Effect of mapping biopsy on surgical management of cholangiocarcinoma.	J Surg Oncol. 2018 Nov; 118(6):997-1005	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
151	Yamaoka R, Ishii T, Kawai T et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	CD90 expression in human intrahepatic cholangiocarcinoma is associated with lymph node metastasis and poor prognosis.	J Surg Oncol. 2018 Sep; 118(4):664-674	Original Article
152	Ikeno Y, Seo S, Iwaisako K et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Preoperative metabolic tumor volume of intrahepatic cholangiocarcinoma measured by (18)F-FDG-PET is associated with the KRAS mutation status and prognosis.	J Transl Med. 2018 Apr; 16(1):95	Original Article
153	Miyauchi T, Uchida Y, Kadono K et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Preventive Effect of Antioxidative Nutrient-Rich Enteral Diet Against Liver Ischemia and Reperfusion Injury.	JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2019 Jan; 43(1):133-144	Original Article
154	Uchida Y, Masui T, Sato A et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Computer tomographic assessment of postoperative peripancreatic collections after distal pancreatectomy.	Langenbecks Arch Surg. 2018 May; 403(3):349-357	Original Article
155	Kamo N, Kaido T, Yagi S et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Liver Transplantation for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma.	Liver Cancer. 2018 May; 7(2):179-189	Original Article
156	Hamaguchi Y, Kaido T, Okumura S et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Preoperative Visceral Adiposity and Muscularity Predict Poor Outcomes after Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma.	Liver Cancer. 2019 Mar; 8(2):92-109	Original Article
157	Wada S, Hatano E, Yoh T et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	CAAT/enhancer binding protein-homologous protein deficiency attenuates liver ischemia/reperfusion injury in mice.	Liver Transpl. 2018 May; 24(5):645-654	Original Article
158	Yao S, Kaido T, Uozumi R et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Is portal venous pressure modulation still indicated for all recipients in living-donor liver transplantation?	Liver Transpl. 2018 Nov; 24(11):1578-1588	Original Article
159	Yoshino K, Taura K, Ikeno Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Low Preoperative Platelet Count Predicts Risk of Subclinical Posthepatectomy Liver Failure in Right Lobe Donors for Liver Transplantation.	Liver Transpl. 2018 Sep; 24(9):1178-1185	Original Article
160	Kaido T, Shinoda M, Inomata Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Effect of herbal medicine daikenchuto on oral and enteral caloric intake after liver transplantation: A multicenter, randomized controlled trial.	Nutrition. 2018 Oct; 54:68-75	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
161	Yamashiki N, Yoshizawa A, Ueda Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	The use of hepatitis B immunoglobulin with or without hepatitis B vaccine to prevent de novo hepatitis B in pediatric recipients of anti-HBc-positive livers.	Pediatr Transplant. 2018 Aug; 22(5):e13227	Original Article
162	Badawy A, Kaido T, Hamaguchi Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Is Muscle MELD a More Promising Predictor for Mortality After Living Donor Liver Transplantation?	Prog Transplant. 2018 Sep; 28(3):213-219	Original Article
163	Sakikubo M, Furuyama K, Horiguchi M et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Ptf1a inactivation in adult pancreatic acinar cells causes apoptosis through activation of the endoplasmic reticulum stress pathway.	Sci Rep. 2018 Oct; 8(1):15812	Original Article
164	Hirata K, Kodama S, Nakano Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Exocrine tissue-driven TFF2 prevents apoptotic cell death of endocrine lineage during pancreas organogenesis.	Sci Rep. 2019 Feb; 9(1):1636	Original Article
165	Ueda D, Yoshizawa A, Kaneshiro M et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Low Titers of Antidonor ABO Antibodies After ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation: A Long-Term Follow-Up Study.	Transplant Direct. 2018 Dec; 5(1):e420	Original Article
166	Yao S, Yagi S, Uozumi R et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	A High Portal Venous Pressure Gradient Increases Gut-Related Bacteremia and Consequent Early Mortality After Living Donor Liver Transplantation.	Transplantation. 2018 Apr; 102(4):623-631	Original Article
167	Nigmet Y, Hata K, Tamaki I et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Human Atrial Natriuretic Peptide in Cold Storage of Donation After Circulatory Death Rat Livers: An Old but New Agent for Protecting Vascular Endothelia?	Transplantation. 2019 Mar; 103(3):512-521	Original Article
168	Kobayashi A, Kaido T, Hamaguchi Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Impact of Visceral Adiposity as Well as Sarcopenic Factors on Outcomes in Patients Undergoing Liver Resection for Colorectal Liver Metastases.	World J Surg. 2018 Apr; 42(4):1180-1191	Original Article
169	Badawy A, Kaido T, Hammad A et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	The impact of preoperative hemoglobin level on the short-term outcomes after living donor liver transplantation.	World J Surg. 2018 Dec; 42(12):4081-4089	Original Article
170	Yoh T, Hatano E, Seo S et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Long-Term Survival of Recurrent Intrahepatic Cholangiocarcinoma: The Impact and Selection of Repeat Surgery.	World J Surg. 2018 Jun; 42(6):1848-1856	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
171	Kamo N, Kaido T, Hamaguchi Y et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Impact of Enteral Nutrition with an Immunomodulating Diet Enriched with Hydrolyzed Whey Peptide on Infection After Liver Transplantation.	World J Surg. 2018 Nov; 42(11):3715-3725	Original Article
172	Miyachi Y, Kaido T, Yao S et al.	外科(肝胆膵・移植外科)	Bone Mineral Density as a Risk Factor for Patients Undergoing Surgery for Hepatocellular Carcinoma.	World J Surg. 2019 Mar; 43(3):920-928	Original Article
173	Mitsuyoshi T, Matsuo Y, Shintani T et al.	放射線科(放射線治療科)	Pilot Study of the Safety and Efficacy of Dose Escalation in Stereotactic Body Radiotherapy for Peripheral Lung Tumors	Clin Lung Cancer. 2018 May; 19(3):e287-e296	Original Article
174	Chen Z, Takehana K, Mizowaki T et al.	放射線科(放射線治療科)	Five-year outcomes following hypofractionated stereotactic radiotherapy delivered in five fractions for acoustic neuromas: the mean cochlear dose may impact hearing preservation.	Int J Clin Oncol. 2018 Aug; 23(4):608-614	Original Article
175	Shintani T, Matsuo Y, Iizuka Y et al.	放射線科(放射線治療科)	A Retrospective Long-term Follow-up Study of Stereotactic Body Radiation Therapy for Non-Small Cell Lung Cancer From a Single Institution: Incidence of Late Local Recurrence	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2018 Apr; 100(5):1228-1236	Original Article
176	Hirashima H, Miyabe Y, Nakamura M et al.	放射線科(放射線治療科)	Quality assurance of geometric accuracy based on an electronic portal imaging device and log data analysis for Dynamic WaveArc irradiation.	J Appl Clin Med Phys. 2018 May; 19(3):234-242	Original Article
177	Matsuo Y, Mitsuyoshi T, Shintani T et al.	放射線科(放射線治療科)	Impact of low skeletal muscle mass on non-lung cancer mortality after stereotactic body radiotherapy for patients with stage I non-small cell lung cancer.	J Geriatr Oncol. 2018 Nov; 9(6):589-593	Original Article
178	Uto M, Mizowaki T, Ogura K et al.	放射線科(放射線治療科)	Dosimetric comparison between dual-isocentric dynamic conformal arc therapy and mono-isocentric volumetric-modulated arc therapy for two large brain metastases.	J Radiat Res. 2018 Nov; 59(6):774-781	Original Article
179	Matsuo Y.	放射線科(放射線治療科)	Sarcopenia is a potential factor for optimized treatment selection for elderly patients with early stage non-small cell lung cancer.	J Thorac Dis. 2019 Mar; 11(Suppl 3):S443-S445	Original Article
180	Goto Y, Ashida R, Nakamura A et al.	放射線科(放射線治療科)	Clinical results of dynamic tumor tracking intensity-modulated radiotherapy with real-time monitoring for pancreatic cancers using a gimbal mounted linac.	Oncotarget. 2018 May; 9(34):23628-23635	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
181	Aizawa R, Uto M, Takehana K et al.	放射線科(放射線治療科)	Radiation-induced cystic brain necrosis developing 10 years after linac-based stereotactic radiosurgery for brain metastasis.	Oxf Med Case Reports. 2018 Oct; 2018(11):omy090	Original Article
182	Ono Y, Yoshimura M, Hirata K et al.	放射線科(放射線治療科)	Dosimetric advantages afforded by a new irradiation technique, Dynamic WaveArc, used for accelerated partial breast irradiation.	Phys Med. 2018 Apr; 48:103-110	Original Article
183	Goto Y, Nakamura A, Ashida R et al.	放射線科(放射線治療科)	Clinical evaluation of intensity-modulated radiotherapy for locally advanced pancreatic cancer.	Radiat Oncol. 2018 Jun; 13(1):118	Original Article
184	Kawamura M, Yoshimura M, Asada H et al.	放射線科(放射線治療科)	A scoring system predicting acute radiation dermatitis in patients with head and neck cancer treated with intensity-modulated radiotherapy.	Radiat Oncol. 2019 Jan; 14(1):14	Original Article
185	Ono T, Miyabe Y, Takahashi K et al.	放射線科(放射線治療科)	Geometric and dosimetric accuracy of dynamic tumor tracking during volumetric-modulated arc therapy using a gimbal mounted linac.	Radiother Oncol. 2018 Oct; 129(1):166-172	Original Article
186	Nakamura A, Hiraoka M, Itasaka S et al.	放射線科(放射線治療科)	Evaluation of Dynamic Tumor-tracking Intensity-modulated Radiotherapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer.	Sci Rep. 2018 Nov; 8(1):17096	Original Article
187	Matsuo Y.	放射線科(放射線治療科)	A promising result of locoregional tumor control with biologically adaptive radiotherapy in patients with locally advanced non-small cell lung cancer.	Transl Lung Cancer Res. 2018 Apr; 7(Suppl 2):S111-S113	Original Article
188	Kameyama KN, Kido A, Himoto Y et al.	放射線科(放射線診断科)	What is the most suitable MR signal index for quantitative evaluation of placental function using Half-Fourier acquisition single-shot turbo spin-echo compared with T2-relaxation time?	Acta Radiol. 2018 Jun; 59(6):748-754	Original Article
189	Nakamoto Y, Ishimori T, Sano K et al.	放射線科(放射線診断科)	Clinical feasibility of early scanning after administration of (68)Ga-DOTATOC.	Ann Nucl Med. 2019 Jan; 33(1):55-60	Original Article
190	Saga T, Nakamoto Y, Ishimori T et al.	放射線科(放射線診断科)	Initial evaluation of PET/CT with (18) F-FSU-880 targeting prostate-specific membrane antigen in prostate cancer patients.	Cancer Sci. 2019 Feb; 110(2):742-750	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
191	Kubo T.	放射線科(放射線診断科)	Vendor free basics of radiation dose reduction techniques for CT.	Eur J Radiol. 2019 Jan; 110:14-21	Original Article
192	Akasaka T, Yakami M, Nishio M et al.	放射線科(放射線診断科)	Detection of suspected brain infarctions on CT can be significantly improved with temporal subtraction images.	Eur Radiol. 2019 Feb; 29(2):759-769	Original Article
193	Nishio M, Nishizawa M, Sugiyama O et al.	放射線科(放射線診断科)	Computer-aided diagnosis of lung nodule using gradient tree boosting and Bayesian optimization.	PLoS One. 2018 Apr; 13(4):e0195875	Original Article
194	Nishio M, Sugiyama O, Yakami M et al.	放射線科(放射線診断科)	Computer-aided diagnosis of lung nodule classification between benign nodule, primary lung cancer, and metastatic lung cancer at different image size using deep convolutional neural network with transfer learning.	PLoS One. 2018 Jul; 13(7):e0200721	Original Article
195	Miyata M, Yoshikawa M, Ohtsuki H et al.	眼科	Age-related change and sex difference over 60s in disc-fovea angle in Japanese population: the Nagahama Study.	Acta Ophthalmol. 2018 Nov; 96(7):e840-e845	Original Article
196	Akagi T, Uji A, Huang AS et al.	眼科	Conjunctival and Intrascleral Vasculatures Assessed Using Anterior-Segment Optical Coherence Tomography Angiography in Normal Eyes.	Am J Ophthalmol. 2018 Dec; 196:1-9	Original Article
197	Miyata M, Oishi A, Hasegawa T et al.	眼科	Choriocapillaris flow deficit in Bietti crystalline dystrophy detected using optical coherence tomography angiography.	Br J Ophthalmol. 2018 Sep; 102(9):1208-1212	Original Article
198	Suda M, Nakanishi H, Akagi T et al.	眼科	Baerveldt or Ahmed glaucoma valve implantation with pars plana tube insertion in Japanese eyes with neovascular glaucoma: 1-year outcomes	Clin Ophthalmol. 2018 Nov; 12:2439-2449	Original Article
199	Yoshitake S, Murakami T, Suzuma K et al.	眼科	Anti-fumarase antibody promotes the dropout of photoreceptor inner and outer segments in diabetic macular oedema.	Diabetologia. 2019 Mar; 62(3):504-516	Original Article
200	Muraoka Y, Iida Y, Ikeda HO et al.	眼科	KUS121, an ATP regulator, mitigates chorioretinal pathologies in animal models of age-related macular degeneration.	Heliyon. 2018 May; 4(5):e00624	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
201	Muraoka Y, Uji A, Ishikura M et al.	眼科	Segmentation of the Four-Layered Retinal Vasculature Using High-Resolution Optical Coherence Tomography Angiography Reveals the Microcirculation Unit.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2018 Dec; 59(15):5847-5853	Original Article
202	Yasukura S, Murakami T, Suzuma K et al.	眼科	Diabetic Nonperfused Areas in Macular and Extramacular Regions on Wide-Field Optical Coherence Tomography Angiography.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2018 Dec; 59(15):5893-5903	Original Article
203	Kido A, Uji A, Morooka S et al.	眼科	Outer Plexiform Layer Elevations as a Marker for Prior Ocular Attacks in Patients With Behcet's Disease.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2018 Jun; 59(7):2828-2832	Original Article
204	Wakazono T, Yamashiro K, Miyake M et al.	眼科	Time-Course Change in Eye Shape and Development of Staphyloma in Highly Myopic Eyes.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2018 Nov; 59(13):5455-5461	Original Article
205	Yoshitake T, Murakami T, Yoshitake S et al.	眼科	Anti-Fumarase Antibody as a Predictor of Functional Efficacy of Anti-VEGF Therapy for Diabetic Macular Edema.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2019 Feb; 60(2):787-794	Original Article
206	Miyata M, Oishi A, Hasegawa T et al.	眼科	Concentric Choriocapillaris Flow Deficits in Retinitis Pigmentosa Detected Using Wide-Angle Swept-Source Optical Coherence Tomography Angiography.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2019 Mar; 60(4):1044-1049	Original Article
207	Numa S, Akagi T, Uji A et al.	眼科	Visualization of the Lamina Cribrosa Microvasculature in Normal and Glaucomatous Eyes: A Swept-source Optical Coherence Tomography Angiography Study.	J Glaucoma. 2018 Nov; 27(11):1032-1035	Original Article
208	Miyata M, Oishi A, Tsujikawa A. et al.	眼科	Swept-Source Optical Coherence Tomography Angiography of Microaneurysms in Myopic Retinoschisis.	JAMA Ophthalmol. 2018 Aug; 136(8):e181637	Original Article
209	Kadomoto S, Uji A, Tsujikawa A. et al.	眼科	Anterior Segment Optical Coherence Tomography Angiography in a Patient With Persistent Pupillary Membrane.	JAMA Ophthalmol. 2018 Nov; 136(11):e182932	Original Article
210	Murakami T, Suzuma K, Uji A et al.	眼科	Association between characteristics of foveal cystoid spaces and short-term responsiveness to ranibizumab for diabetic macular edema.	Jpn J Ophthalmol. 2018 May; 62(3):292-301	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
211	Hosoda Y, Yoshikawa M, Miyake M et al.	眼科	CCDC102B confers risk of low vision and blindness in high myopia.	Nat Commun. 2018 May; 9(1):1782	Original Article
212	Hasegawa T, Ikeda HO.	眼科	Adenosine triphosphate maintenance by branched chain amino acids as a novel neuroprotective strategy for retinal neurodegenerative diseases.	Neural Regen Res. 2019 Jan; 14(1):82-84	Original Article
213	Takahashi A, Ooto S, Yamashiro K et al.	眼科	Pachychoroid Geographic Atrophy	Ophthalmol Retina. 2018 Apr; 2(4):295-305	Original Article
214	Hosoda Y, Miyata M, Uji A et al.	眼科	Novel Predictors of Visual Outcome in Anti-VEGF Therapy for Myopic Choroidal Neovascularization Derived Using OCT Angiography.	Ophthalmol Retina. 2018 Nov; 2(11):1118-1124	Original Article
215	Oishi A, Oishi M, Miyata M et al.	眼科	Multimodal Imaging for Differential Diagnosis of Bietti Crystalline Dystrophy.	Ophthalmol Retina. 2018 Oct; 2(10):1071-1077	Original Article
216	Yoshikawa M, Akagi T, Uji A et al.	眼科	Pilot study assessing the structural changes in posttrabecular aqueous humor outflow pathway after trabecular meshwork surgery using swept-source optical coherence tomography.	PLoS One. 2018 Jun; 13(6):e0199739	Original Article
217	Hata M, Ikeda HO, Iwai S et al.	眼科	Reduction of lipid accumulation rescues Bietti's crystalline dystrophy phenotypes.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Apr; 115(15):3936-3941	Original Article
218	Hosoda Y, Yoshikawa M, Miyake M et al.	眼科	CFH and VIPR2 as susceptibility loci in choroidal thickness and pachychoroid disease central serous chorioretinopathy.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Jun; 115(24):6261-6266	Original Article
219	Ghashut R, Muraoka Y, Ooto S et al.	眼科	EVALUATION OF MACULAR ISCHEMIA IN EYES WITH CENTRAL RETINAL VEIN OCCLUSION: An Optical Coherence Tomography Angiography Study.	Retina. 2018 Aug; 38(8):1571-1580	Original Article
220	Kuroda Y, Yamashiro K, Ooto S et al.	眼科	MACULAR ATROPHY AND MACULAR MORPHOLOGY IN AFLIBERCEPT-TREATED NEOVASCULAR AGE-RELATED MACULAR DEGENERATION.	Retina. 2018 Sep; 38(9):1743-1750	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
221	Murakami T, Suzuma K, Dodo Y et al.	眼科	Decorrelation Signal of Diabetic Hyperreflective Foci on Optical Coherence Tomography Angiography.	Sci Rep. 2018 Jun; 8(1):8798	Original Article
222	Suda K, Akagi T, Nakanishi H et al.	眼科	Evaluation of Structure-Function Relationships in Longitudinal Changes of Glaucoma using the Spectralis OCT Follow-Up Mode.	Sci Rep. 2018 Nov; 8(1):17158	Original Article
223	Miyata M, Oishi A, Ogino K et al.	眼科	Relationship between Ocular Deviation and Visual Function in Retinitis Pigmentosa.	Sci Rep. 2018 Oct; 8(1):14880	Original Article
224	Miyata M, Suda K, Uji A et al.	眼科	One-Year Outcome Predictors of Strabismus Surgery from Anterior Segment Optical Coherence Tomography with Multiple B-Scan Averaging.	Sci Rep. 2019 Feb; 9(1):2523	Original Article
225	Nishikawa K, Oishi A, Hata M et al.	眼科	Four-Year Outcome of Aflibercept for Neovascular Age-Related Macular Degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy.	Sci Rep. 2019 Mar; 9(1):3620	Original Article
226	Yoshitake T, Murakami T, Yoshitake S et al.	眼科	Anti-Hexokinase 1 Antibody as a Novel Serum Biomarker of a Subgroup of Diabetic Macular Edema.	Sci Rep. 2019 Mar; 9(1):4806	Original Article
227	Miyata M, Oishi A, Oishi M et al.	眼科	Long-term efficacy and safety of anti-VEGF therapy in retinitis pigmentosa: a case report.	BMC Ophthalmol. 2018 Sep; 18(1):248	Case Report
228	Mulati K, Hamanishi J, Matsumura N et al.	産科婦人科	VISTA expressed in tumour cells regulates T cell function.	Br J Cancer. 2019 Jan; 120(1):115-127	Original Article
229	Yamada K, Chigusa Y, Nomura M et al.	産科婦人科	A Case of Recurrent Esophageal Cancer Treated with Concurrent Chemoradiation Therapy in Pregnancy.	Case Rep Obstet Gynecol. 2018 Dec; 2018:1280582	Original Article
230	Kawasaki K, Kondoh E, Chigusa Y et al.	産科婦人科	Metabolomic Profiles of Placenta in Preeclampsia.	Hypertension. 2019 Mar; 73(3):671-679	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
231	Io S, Kondoh E, Chigusa Y et al.	産科婦人科	An experience of second-trimester anhydramnios salvaged by single amnioinfusion.	J Med Ultrason (2001). 2018 Jul; 45(3):525-527	Original Article
232	Nakamura A, Yamaguchi K, Minamiguchi S et al.	産科婦人科	Mucinous adenocarcinoma, gastric type of the uterine cervix: clinical features and HER2 amplification.	Med Mol Morphol. 2019 Mar; 52(1):52-59	Original Article
233	Taki M, Abiko K, Baba T et al.	産科婦人科	Snail promotes ovarian cancer progression by recruiting myeloid-derived suppressor cells via CXCR2 ligand upregulation.	Nat Commun. 2018 Apr; 9(1):1685	Original Article
234	Inayama Y, Hamanishi J, Matsumura N et al.	産科婦人科	Antitumor Effect of Nivolumab on Subsequent Chemotherapy for Platinum-Resistant Ovarian Cancer.	Oncologist. 2018 Nov; 23(11):1382-1384	Original Article
235	Ujita M, Kondoh E, Chigusa Y et al.	産科婦人科	Impaired Wnt5a signaling in extravillous trophoblasts: Relevance to poor placentation in early gestation and subsequent preeclampsia.	Pregnancy Hypertens. 2018 Jul; 13:225-234	Original Article
236	Watanabe K, Chigusa Y, Kondoh E et al.	産科婦人科	Human chorionic gonadotropin value and its change prior to methotrexate treatment can predict the prognosis in ectopic tubal pregnancies.	Reprod Med Biol. 2018 Oct; 18(1):51-56	Original Article
237	Hamada K, Chigusa Y, Kondoh E et al.	産科婦人科	Noninvasive Positive-Pressure Ventilation for Preeclampsia-Induced Pulmonary Edema: 3 Case Reports and a Literature Review.	Case Rep Obstet Gynecol. 2018 Aug; 2018:7274597	Case Report
238	Inayama Y, Abiko K, Miyamoto T et al.	産科婦人科	Invasive Paget's disease of the vulva treated with a combination of surgery and concurrent chemoradiotherapy: A case report.	Mol Clin Oncol. 2018 Nov; 9(5):489	Case Report
239	Inayama Y, Kondoh E, Chigusa Y et al.	産科婦人科	Moyamoya Disease in Pregnancy: A 20-Year Single-Center Experience and Literature Review.	World Neurosurg. 2019 Feb; 122:684-691.e2	Review
240	Shibata H, Yasumi T, Shimodera S et al.	小児科	Human CTL-based functional analysis shows the reliability of a munc13-4 protein expression assay for FHL3 diagnosis.	Blood. 2018 May; 131(18):2016-2025	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
241	Baba S, Yoshinaga D, Akagi K et al.	小児科	Enzyme Replacement Therapy Provides Effective, Long-Term Treatment of Cardiomyopathy in Pompe Disease.	Circ J. 2018 Nov; 82(12):3100-3101	Original Article
242	Hiejima E, Shibata H, Yasumi T et al.	小児科	Characterization of a large UNC13D gene duplication in a patient with familial hemophagocytic lymphohistiocytosis type 3.	Clin Immunol. 2018 Jun; 191:63-66	Original Article
243	Kawaguchi K, Umeda K, Hiejima E et al.	小児科	Influence of post-transplant mucosal-associated invariant T cell recovery on the development of acute graft-versus-host disease in allogeneic bone marrow transplantation.	Int J Hematol. 2018 Jul; 108(1):66-75	Original Article
244	Kubota H, Umeda K, Kagehiro K et al.	小児科	High-dose chemotherapy with autologous stem cell transplantation spares re-irradiation for recurrent intracranial germinoma.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Aug; 65(8):e27104	Original Article
245	Mikami T, Kato I, Nozaki F et al.	小児科	Sudden spinal hemorrhage in a pediatric case with total body irradiation-induced cavernous hemangioma.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Oct; 65(10):e27250	Original Article
246	Kamitori T, Umeda K, Tasaka K et al.	小児科	Chronic myeloid leukemia following treatment for bilateral retinoblastoma.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Sep; 65(9):e27107	Original Article
247	Umeda K, Kato I, Kawaguchi K et al.	小児科	High incidence of BK virus-associated hemorrhagic cystitis in children after second or third allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Pediatr Transplant. 2018 Jun; 22(4):e13183	Original Article
248	Cho M, Honda T, Ueshima C et al.	皮膚科	A Case of Pityriasis Rubra Pilaris Treated Successfully with the Phosphodiesterase-4 Inhibitor Apremilast.	Acta Derm Venereol. 2018 Nov; 98(10):975-976	Original Article
249	Kogame T, Kaku Y, Endo Y et al.	皮膚科	A follow-up report of acral melanoma in a patient with Nagashima-type palmoplantar keratosis: validation of SERPINB7 mutation and local recurrence.	Eur J Dermatol. 2018 Aug; 28(4):519-520	Original Article
250	Cho M, Otsuka A, Irie H et al.	皮膚科	A case of possible chemical leukoderma secondary to usage of skin whitening agents.	Eur J Dermatol. 2018 Oct; 28(5):701-702	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
251	Ueharaguchi Y, Honda T, Kusuba N et al.	皮膚科	Thromboxane A(2) facilitates IL-17A production from Vγ4(+) γδ T cells and promotes psoriatic dermatitis in mice.	J Allergy Clin Immunol. 2018 Aug; 142(2):680-683.e2	Original Article
252	Ono S, Egawa G, Honda T et al.	皮膚科	Intravenous immunoglobulin treatment abrogates transplacental autoantibody transfer in a murine pemphigus model.	J Allergy Clin Immunol. 2018 Jun; 141(6):2273-2276.e1	Original Article
253	Kogame T, Yamashita R, Hirata M et al.	皮膚科	Analysis of possible structures of inducible skin-associated lymphoid tissue in lupus erythematosus profundus.	J Dermatol. 2018 Sep; 45(9):1117-1121	Original Article
254	Cho M, Nonomura Y, Kaku Y et al.	皮膚科	Scleroderma-like syndrome associated with nivolumab treatment in malignant melanoma.	J Dermatol. 2019 Jan; 46(1):e43-e44	Original Article
255	Egawa G, Kabashima K.	皮膚科	Negative Evidence of Direct Differentiation from Bone-Marrow Cells to Keratinocytes in Normal and Wounded Skin Using Keratin 5-Specific Reporter Mice.	J Invest Dermatol. 2018 May; 138(5):1228-1231	Original Article
256	Matsumoto R, Dainichi T, Tsuchiya S et al.	皮膚科	Epithelial TRAF6 drives IL-17-mediated psoriatic inflammation.	JCI Insight. 2018 Aug; 3(15)	Original Article
257	Murata T, Honda T, Egawa G et al.	皮膚科	Transient elevation of cytoplasmic calcium ion concentration at a single cell level precedes morphological changes of epidermal keratinocytes during cornification.	Sci Rep. 2018 Apr; 8(1):6610	Original Article
258	Kanazawa Y, Funabiki K, Taura A et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	An attempt to measure the diametric relationship between slow and quick phases of nystagmus.	Acta Otolaryngol. 2018 Jul; 138(7):633-638	Original Article
259	Yamamoto N, Okano T, Yamazaki H et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Intraoperative Evaluation of Cochlear Implant Electrodes Using Mobile Cone-Beam Computed Tomography.	Otol Neurotol. 2019 Feb; 40(2):177-183	Original Article
260	Sakamoto A, Arai R, Okamoto T et al.	整形外科	Ischemic Fasciitis of the Left Buttock in a 40-Year-Old Woman with Beta-Propeller Protein-Associated Neurodegeneration (BPAN).	Am J Case Rep. 2018 Oct; 19:1249-1252	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
261	Azukizawa M, Kuriyama S, Nakamura S et al.	整形外科	Intraoperative medial joint laxity in flexion decreases patient satisfaction after total knee arthroplasty.	Arch Orthop Trauma Surg. 2018 Aug; 138(8):1143-1150	Original Article
262	Watanabe M, Kuriyama S, Nakamura S et al.	整形外科	Impact of intraoperative adjustment method for increased flexion gap on knee kinematics after posterior cruciate ligament-sacrificing total knee arthroplasty.	Clin Biomech (Bristol, Avon). 2019 Mar; 63:85-94	Original Article
263	Sakamoto A, Okamoto T, Matsuda S. et al.	整形外科	Unsintered Hydroxyapatite and Poly-L-Lactide Composite Screws/Plates for Stabilizing β-Tricalcium Phosphate Bone Implants.	Clin Orthop Surg. 2018 Jun; 10(2):253-259	Original Article
264	Ito H, Moritoshi F, Hashimoto M et al.	整形外科	Control of articular synovitis for bone and cartilage regeneration in rheumatoid arthritis.	Inflamm Regen. 2018 Apr; 1.58819444444444	Original Article
265	Nakamura S, Kuriyama S, Nishitani K et al.	整形外科	Correlation Between Intraoperative Anterior Stability and Flexion Gap in Total Knee Arthroplasty.	J Arthroplasty. 2018 Aug; 33(8):2480-2484	Original Article
266	Kawai T, Kataoka M, Goto K et al.	整形外科	Patient- and Surgery-Related Factors that Affect Patient-Reported Outcomes after Total Hip Arthroplasty.	J Clin Med. 2018 Oct; 7(10)	Original Article
267	Morita Y, Ito H, Ishikawa M et al.	整形外科	Subchondral bone fragility with meniscal tear accelerates and parathyroid hormone decelerates articular cartilage degeneration in rat osteoarthritis model.	J Orthop Res. 2018 Jul; 36(7):1959-1968	Original Article
268	Morizane K, Fujibayashi S, Otsuki B et al.	整形外科	Clinical and radiological features of spinal extradural arachnoid cysts: Valve-like mechanism involving the nerve root fiber as a possible cause of cyst expansion.	J Orthop Sci. 2018 May; 23(3):464-469	Original Article
269	Maeguchi K, Ito H, Morita Y et al.	整形外科	How precisely does ultrasonographic evaluation reflect the histological status of the articular cartilage of the knee joint?	J Orthop. 2018 May; 15(2):636-640	Original Article
270	Ohta S, Ikeguchi R, Yurie H et al.	整形外科	Keyhole resection of intra-articular osteoid osteoma in the ulnar trochlear notch using 3-dimensional computed tomography-based navigation.	J Shoulder Elbow Surg. 2019 Feb; 28(2):e57-e61	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
271	Okuzu Y, Goto K, Okutani Y et al.	整形外科	Hip-Spine Syndrome: Acetabular Anteversion Angle Is Associated with Anterior Pelvic Tilt and Lumbar Hyperlordosis in Patients with Acetabular Dysplasia: A Retrospective Study.	JB JS Open Access. 2019 Jan; 4(1):e0025	Original Article
272	Nishitani K, Kuriyama S, Nakamura S et al.	整形外科	A Multivariate Analysis on the Effect of No Closed Suction Drain on the Length of Hospital Stay in Total Knee Arthroplasty.	Knee Surg Relat Res. 2019 Mar; 31(1):25-30	Original Article
273	Nishitani K, Furu M, Nakamura S et al.	整形外科	No differences in patient-reported outcomes between medial pivot insert and symmetrical insert in total knee arthroplasty: A randomized analysis.	Knee. 2018 Dec; 25(6):1254-1261	Original Article
274	Shimizu T, Otsuki B, Fujibayashi S et al.	整形外科	Incidence and Risk Factors of Anterior Arch Fracture of the Atlas Following C1 Laminectomy Without Fusion.	Spine (Phila Pa 1976). 2018 May; 43(10):667-674	Original Article
275	Morizane K, Takemoto M, Neo M et al.	整形外科	Occipital and external acoustic meatus to axis angle as a predictor of the oropharyngeal space in healthy volunteers: a novel parameter for craniocervical junction alignment.	Spine J. 2018 May; 18(5):811-817	Original Article
276	Ohta S, Ikeguchi R, Oda H et al.	整形外科	Opening Wedge Osteotomy for Valgus Deformity of the Little Finger after Proximal Phalangeal Fracture in Children: Two Case Reports.	Case Rep Orthop. 2018 Apr; 2018:1526054	Case Report
277	Murotani Y, Kuroda Y, Goto K et al.	整形外科	Unexpected dislocation following accurate total hip arthroplasty caused by excessive hip joint laxity during myasthenic crisis: a case report.	J Med Case Rep. 2018 Nov; 12(1):331	Case Report
278	Sakamoto A, Nagamatsu I, Shiba E et al.	整形外科	Presacral myelolipoma as a possible parasymptom of cancer: A case report.	Rare Tumors. 2018 Apr; 10:2036361318772124	Case Report
279	Kuroda Y, Kawai T, Goto K et al.	整形外科	Bilateral osteonecrosis of the femoral head associated with corticosteroid therapy for alopecia areata: a case report and review of the literature.	Ther Clin Risk Manag. 2018 Aug; 14:1399-1405	Case Report
280	Isobe M, Kawabata M, Murao E et al.	精神科神経科	Exaggerated envy and guilt measured by economic games in Japanese women with anorexia nervosa.	Biopsychosoc Med. 2018 Dec; 0.513194444444444	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
281	Fujino J, Kawada R, Tsurumi K et al.	精神科神経科	An fMRI study of decision-making under sunk costs in gambling disorder.	Eur Neuropsychopharmacol. 2018 Dec; 28(12):1371-1381	Original Article
282	Mori Y, Miyata J, Isobe M et al.	精神科神経科	Effect of phase-encoding direction on group analysis of resting-state functional magnetic resonance imaging.	Psychiatry Clin Neurosci. 2018 Sep; 72(9):683-691	Original Article
283	Yokoyama N, Sasaki H, Mori Y et al.	精神科神経科	Additive Effect of Cigarette Smoking on Gray Matter Abnormalities in Schizophrenia.	Schizophr Bull. 2018 Apr; 44(3):535-541	Original Article
284	Matsumoto Y, Takahashi H, Miyata J et al.	精神科神経科	Neural basis of altered earlier attention and higher order biological motion processing in schizophrenia.	Soc Neurosci. 2018 Oct; 13(5):594-601	Original Article
285	Uwatoko T, Luo Y, Sakata M et al.	精神科神経科	Healthy Campus Trial: a multiphase optimization strategy (MOST) fully factorial trial to optimize the smartphone cognitive behavioral therapy (CBT) app for mental health promotion among university students: study protocol for a randomized controlled trial	Trials. 2018 Jul; 19(1):353	Original Article
286	Isobe Y, Takahashi K, Kiso H et al.	歯科口腔外科	Direct evidence for the age-dependent demise of GNAS-mutated cells in oral fibrous dysplasia.	Arch Oral Biol. 2018 Sep; 93:133-140	Original Article
287	Dahy KG, Takahashi K, Saito K et al.	歯科口腔外科	The Relationship Between Cephalogram Analysis and Oxygen Desaturation Index During Sleep in Patients Submitted for Mandibular Setback Surgery.	J Craniofac Surg. 2018 Jun; 29(4):e375-e380	Original Article
288	Mishima S, Yamaguchi T, Watanabe T et al.	歯科口腔外科	Maxillary Hypoplasia With Congenital Oligodontia Treated by Maxillary Distraction Osteogenesis.	J Craniofac Surg. 2018 Jun; 29(4):e411-e414	Original Article
289	Kitamura H, Nakano D, Sawanobori Y et al.	麻酔科	Guanylyl Cyclase A in Both Renal Proximal Tubular and Vascular Endothelial Cells Protects the Kidney against Acute Injury in Rodent Experimental Endotoxemia Models.	Anesthesiology. 2018 Aug; 129(2):296-310	Original Article
290	Seo H, Chen SJ, Hashimoto K et al.	麻酔科	A β1-tubulin-based megakaryocyte maturation reporter system identifies novel drugs that promote platelet production.	Blood Adv. 2018 Sep; 2(17):2262-2272	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
291	Komatsu K, Takagi Y, Ishii A et al.	脳神経外科	Ruptured intranidal aneurysm of an arteriovenous malformation diagnosed by delay alternating with nutation for tailored excitation (DANTE)-prepared contrast-enhanced magnetic resonance imaging.	Acta Neurochir (Wien). 2018 Dec; 160(12):2435-2438	Original Article
292	Ikeda H, Ishii A, Sano K et al.	脳神経外科	Activatable fluorescence imaging of macrophages in atherosclerotic plaques using iron oxide nanoparticles conjugated with indocyanine green.	Atherosclerosis. 2018 Aug; 275:1-10	Original Article
293	Hermanto Y, Sunohara T, Faried A et al.	脳神経外科	Transplantation of feeder-free human induced pluripotent stem cell-derived cortical neuron progenitors in adult male Wistar rats with focal brain ischemia.	J Neurosci Res. 2018 May; 96(5):863-874	Original Article
294	Takagi Y, Hadeishi H, Mineharu Y et al.	脳神経外科	Initially Missed or Delayed Diagnosis of Subarachnoid Hemorrhage: A Nationwide Survey of Contributing Factors and Outcomes in Japan	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 Apr; 27(4):871-877	Original Article
295	Funaki T, Takahashi JC, Miyamoto S. et al.	脳神経外科	Late Cerebrovascular Events and Social Outcome after Adolescence: Long-term Outcome of Pediatric Moyamoya Disease.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2018 Jun; 58(6):240-246	Original Article
296	Nishi H, Ishii A, Satow T et al.	脳神経外科	Parent Artery Occlusion for Unruptured Cerebral Aneurysms: Results of the Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy 3.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Jan; 59(1):1-9	Original Article
297	Liu B, Arakawa Y, Yokogawa R et al.	脳神経外科	PD-1/PD-L1 expression in a series of intracranial germinoma and its association with Foxp3+and CD8+infiltrating lymphocytes	PLoS One. 2018 Apr; 13(4):e0194594	Original Article
298	Yoshida K, Fukumitsu R, Kurosaki Y et al.	脳神経外科	Carotid Endarterectomy for Medical Therapy-Resistant Symptomatic Low-Grade Stenosis.	World Neurosurg. 2019 Mar; 123:e543-e548	Original Article
299	Matsuura Y, Noda K, Suzuki S et al.	形成外科	Glucocorticoids suppress fibroblast apoptosis in an in vitro thermal injury model.	Burns. 2019 Feb; 45(1):173-179	Original Article
300	Kawabata S, Kanda N, Hirasawa Y et al.	形成外科	The Utility of Silk-elastin Hydrogel as a New Material for Wound Healing.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2018 May; 6(5):e1778	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
301	Tsuge I, Saito S.	形成外科	Determining TRAM Flap Viability using Fingerstall-Type Tissue Oximetry as an Alternative to ICG Fluorescence Imaging: A Case of a Patient with Iodine Hypersensitivity	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2018 Sep; 6(9):e1966	Original Article
302	Tsuge I, Saito S, Sekiguchi H et al.	形成外科	Photoacoustic Tomography Shows the Branching Pattern of Anterolateral Thigh Perforators In Vivo.	Plast Reconstr Surg. 2018 May; 141(5):1288-1292	Original Article
303	Li Z, Masumoto H, Jo JI et al.	心臓血管外科	Sustained release of basic fibroblast growth factor using gelatin hydrogel improved left ventricular function through the alteration of collagen subtype in a rat chronic myocardial infarction model.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Nov; 66(11):641-647	Original Article
304	Ueyama K, Miyahara S, Ide Y et al.	心臓血管外科	On-pump beating CABG concomitant with bilateral living-donor lobar lung transplantation.	Heart Lung. 2019 Mar-Apr; 48(2):166-168	Original Article
305	Kumagai M, Minakata K, Masumoto H et al.	心臓血管外科	A therapeutic angiogenesis of sustained release of basic fibroblast growth factor using biodegradable gelatin hydrogel sheets in a canine chronic myocardial infarction model.	Heart Vessels. 2018 Oct; 33(10):1251-1257	Original Article
306	Tsumaru S, Masumoto H, Minakata K et al.	心臓血管外科	Therapeutic angiogenesis by local sustained release of microRNA-126 using poly lactic-co-glycolic acid nanoparticles in murine hindlimb ischemia.	J Vasc Surg. 2018 Oct; 68(4):1209-1215	Original Article
307	Ishigami M, Masumoto H, Ikuno T et al.	心臓血管外科	Human iPS cell-derived cardiac tissue sheets for functional restoration of infarcted porcine hearts.	PLoS One. 2018 Aug; 13(8):e0201650	Original Article
308	Hamaji M, Mitsuyoshi T, Yoshizawa A et al.	呼吸器外科	Salvage Pulmonary Metastasectomy for Local Relapse After Stereotactic Body Radiotherapy.	Ann Thorac Surg. 2018 Apr; 105(4):e165-e168	Original Article
309	Hamaji M, Sozu T, Machida R et al.	呼吸器外科	Second malignancy versus recurrence after complete resection of thymoma.	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2018 May; 26(4):290-295	Original Article
310	Hamaji M, Kubo T, Minatoya K et al.	呼吸器外科	Reconstruction of a dominant vertebral artery during resection of a superior sulcus tumour with an incomplete circle of Willis.	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 Feb; 55(2):377-379	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
311	Miyoshi R, Chen-Yoshikawa TF, Hamaji M et al.	呼吸器外科	Effect of early tracheostomy on clinical outcomes in critically ill lung transplant recipients.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Sep; 66(9):529-536	Original Article
312	Hamaji M, Motoyama H, Menju T et al.	呼吸器外科	Thoracoscopic rebiopsy to detect the T790M mutation after postoperative recurrence.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Oct; 27(4):606-608	Original Article
313	Miyamoto E, Chen-Yoshikawa TF, Ueshima C et al.	呼吸器外科	Transition of the programmed death 1 pathway from the primary colorectal cancer to its corresponding pulmonary metastasis.	J Surg Oncol. 2018 Jun; 117(7):1405-1412	Original Article
314	Kayawake H, Chen-Yoshikawa TF, Aoyama A et al.	呼吸器外科	Surgical management of bronchial stumps in lobar lung transplantation.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Jul; 156(1):451-460	Original Article
315	Sato T, Yutaka Y, Ueda Y et al.	呼吸器外科	Diagnostic yield of electromagnetic navigational bronchoscopy: results of initial 35 cases in a Japanese institute.	J Thorac Dis. 2018 Jun; 10(Suppl 14):S1615-S1619	Original Article
316	Yutaka Y, Sonobe M, Kawaguchi A et al.	呼吸器外科	Prognostic impact of preoperative comorbidities in geriatric patients with early-stage lung cancer: Significance of sublobar resection as a compromise procedure.	Lung Cancer. 2018 Nov; 125:192-197	Original Article
317	Kayawake H, Chen-Yoshikawa TF, Motoyama H et al.	呼吸器外科	Gastrointestinal complications after lung transplantation in Japanese patients.	Surg Today. 2018 Sep; 48(9):883-890	Original Article
318	Sugimoto A, Kataoka TR, Ueshima C et al.	病理診断科	SLAM family member 8 is involved in oncogenic KIT-mediated signalling in human mastocytosis.	Exp Dermatol. 2018 Jun; 27(6):641-646	Original Article
319	Nakajima N, Yoshizawa A, Nakajima T et al.	病理診断科	GATA6-positive lung adenocarcinomas are associated with invasive mucinous adenocarcinoma morphology, HNF4α expression, and KRAS mutations.	Histopathology. 2018 Jul; 73(1):38-48	Original Article
320	Neri S, Menju T, Sowa T et al.	病理診断科	Prognostic impact of microscopic vessel invasion and visceral pleural invasion and their correlations with epithelial-mesenchymal transition, cancer stemness, and treatment failure in lung adenocarcinoma.	Lung Cancer. 2019 Feb; 128:13-19	Original Article

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
321	Iemura Y, Yamada Y, Hirata M et al.	病理診断科	Histopathological characterization of the neuroglial tissue in ovarian teratoma associated with anti-N-methyl-D-aspartate (NMDA) receptor encephalitis.	Pathol Int. 2018 Dec; 68(12):677-684	Original Article
322	Yamamoto M, Matsumura Y, Gomi R et al.	検査部	Molecular Analysis of a bla(IMP-1)-Harboring Class 3 Integron in Multidrug-Resistant Pseudomonas fulva.	Antimicrob Agents Chemother. 2018 Jul; 62(8)	Original Article
323	Noguchi T, Matsumura Y, Kanahashi T et al.	検査部	Role of TEM-1 β-Lactamase in the Predominance of Ampicillin-Sulbactam-Nonsusceptible Escherichia coli in Japan.	Antimicrob Agents Chemother. 2019 Jan; 63(2)	Original Article
324	Yokota A, Hirai H, Sato R et al.	検査部	C/EBPβ is a critical mediator of IFNα-induced exhaustion of chronic myeloid leukemia stem cells.	Blood Adv. 2019 Feb; 3(3):476-488	Original Article
325	Tsuchido Y, Nagao M, Matsuura M et al.	検査部	Real-time quantitative PCR analysis of endoscopic biopsies for diagnosing CMV gastrointestinal disease in non-HIV immunocompromised patients: a diagnostic accuracy study.	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2018 Dec; 37(12):2389-2396	Original Article
326	Matsumura Y, Yamamoto M, Nakano S et al.	検査部	Complete Genome Sequence of Escherichia coli ME8067, an Azide-Resistant Laboratory Strain Used for Conjugation Experiments.	Genome Announc. 2018 Jun; 6(25)	Original Article
327	Matsumura Y, Peirano G, Pitout JDD. et al.	検査部	Complete Genome Sequence of Escherichia coli J53, an Azide-Resistant Laboratory Strain Used for Conjugation Experiments.	Genome Announc. 2018 May; 6(21)	Original Article
328	Matsumura Y, Peirano G, Bradford PA et al.	検査部	Genomic characterization of IMP and VIM carbapenemase-encoding transferable plasmids of Enterobacteriaceae.	J Antimicrob Chemother. 2018 Nov; 73(11):3034-3038	Original Article
329	Nakano S, Nagao M, Yamasaki T et al.	検査部	Evaluation of a surface plasmon resonance imaging-based multiplex O-antigen serogrouping for Escherichia coli using eleven major serotypes of Shiga -toxin-producing E. coli.	J Infect Chemother. 2018 Jun; 24(6):443-448	Original Article
330	Noguchi T, Nagao M, Yamamoto M et al.	検査部	Staphylococcus epidermidis meningitis in the absence of a neurosurgical device secondary to catheter-related bloodstream infection: a case report and review of the literature.	J Med Case Rep. 2018 Apr; 12(1):106	Case Report

小計 10

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別	
331	Shimizu Y, Zhao S, Yasui H et al.	放射線部	A Novel PET Probe "[(18)F]DiFA" Accumulates in Hypoxic Region via Glutathione Conjugation Following Reductive Metabolism.	Mol Imaging Biol. 2019 Feb; 21(1):122-129	Original Article	
332	Nakagawa S, Nakaishi M, Hashimoto M et al.	薬剤部	Effect of medication adherence on disease activity among Japanese patients with rheumatoid arthritis.	PLoS One. 2018 Nov; 13(11):e0206943	Original Article	
333	Iwasaki M, Yano I, Fukatsu S et al.	薬剤部	Pharmacokinetics and Pharmacodynamics of Once-Daily Tacrolimus Compared With Twice-Daily Tacrolimus in the Early Stage After Living Donor Liver Transplantation.	Ther Drug Monit. 2018 Dec; 40(6):675-681	Original Article	
334	Hiragi S, Tamura H, Goto R et al.	医療情報企画部	The effect of model selection on cost-effectiveness research: a comparison of kidney function-based microsimulation and disease grade-based microsimulation in chronic kidney disease modeling.	BMC Med Inform Decis Mak. 2018 Nov; 18(1):94	Original Article	
335	Sumi E, Nomura T, Asada R et al.	臨床研究総合センター	Safety and Plasma Concentrations of a Cyclin-dependent Kinase 9 (CDK9) Inhibitor, FIT039, Administered by a Single Adhesive Skin Patch Applied on Normal Skin and Cutaneous Warts.	Clin Drug Investig. 2019 Jan; 39(1):55-61	Original Article	小計 6
336	Kobayashi S, Kane TB, Paton C. et al.	EHR共同研究講座(共同研究)	The Privacy and Security Implications of Open Data in Healthcare.	Yearb Med Inform. 2018 Aug; 27(1):41-47	Original Article	合計 336

1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別	
1					Original Article	
2					Case report	
3						
～						計 件

1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	㊒・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	㊒・無
・　手順書の主な内容 「会議録の作成」「手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表」「人を対象とする医学系研究に関する教育研修」「医の倫理委員会委員及び事務局員への教育研修」「人を対象とする医学系研究の年次報告及び中止・終了報告」「人を対象とする医学系研究に関する研究者、研究責任者及び研究機関の長の責務」「人を対象とする医学系研究に関する試料・情報の保管及び他の機関等の試料・情報の利用」「迅速審査に関する手順」「多施設共同研究についての事務手続き及び審査の方針」「人を対象とする医学系研究における重篤な有害事象・安全性情報の報告」「専門小委員会の運用にかかる手順書」「医学系研究に関する不適合に関する報告」	
③　倫理審査委員会の開催状況	年１２回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	㊒・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	㊒・無
・　規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反に係る審議体制、手続き等	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年１２回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年４回
・研修の主な内容 前期：「臨床研究法に基づく研究の実施について」、「臨床研究法における利益相反管理の在り方」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づく研究の留意点」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に基づく研究の留意点」 後期：「京都大学における対応」、「臨床研究法対応ツールのご紹介」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に基づく研究の留意点」 前期：３回（DVD補講２回含む）、後期：１回	

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。

こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。

京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	２５１．３２　人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
北脇　年雄	血液内科	助教	２４年	
尾野　亘	循環器内科	准教授	２９年	
宇座　徳光	消化器内科	助教	２１年	
平井　豊博	呼吸器内科	教授	１９年	
大村　浩一郎	免疫・膠原病内科	准教授	３１年	
横井　秀基	腎臓内科	講師	２５年	
小倉　雅仁	糖尿病・内分泌・栄養内科	特定助教	１９年	
葛谷　聡	脳神経内科	准教授	２３年	
坂井　義治	消化管外科	教授	３８年	
鈴木　栄治	乳腺外科	准教授	１６年	
上本　伸二	肝胆膵・移植外科	教授	３９年	
上本　伸二	小児外科	教授	３９年	
後藤　公志	整形外科	特定講師	２５年	
宮本　享	脳神経外科	教授	３８年	
湊谷　謙司	心臓血管外科	教授	３３年	
齊藤　晋	形成外科	准教授	２１年	
伊達　洋至	呼吸器外科	教授	３５年	
赤木　忠道	眼科	准教授	２２年	
堀江　昭史	産科婦人科	講師	２０年	
滝田　順子	小児科	教授	２８年	
椛島　健治	皮膚科	教授	２４年	
小林　恭	泌尿器科	講師	２１年	
大森　孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	３５年	
磯部　昌憲	精神科神経科	特定病院助教	１４年	
川本　修司	麻酔科	助教	１５年	

吉村　通央	放射線治療科	講師	２２年	
古田　昭寛	放射線診断科	助教	１８年	
松村　康史	検査部･感染制御部	准教授	１７年	
羽賀　博典	病理診断科	教授	２８年	
大鶴　繁	救急科	准教授	２２年	
松本　繁巳	腫瘍内科	准教授	３０年	
別所　和久	歯科口腔外科	教授	３６年	

（注）１　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）２　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）３　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）	
1. 研修の主な内容	薬剤師を対象に、がん薬物療法についての高度な知識・技術を修得するために実務研修及び講義研修を実施した。
研修の期間･実施回数	3ヶ月、1回（2018/9/3～11/16）
研修の参加人数	1人
2. 研修の主な内容	看護師を対象に、「看護部　静脈注射・輸液管理認定プログラム」として、以下の講義・演習・試験を実施した。 ・薬剤 ・安全管理 ・感染管理 ・CVにポート ・PICCの管理
研修の期間･実施回数	206時間15分、209回（DVD講義を含む）
研修の参加人数	500人
3. 研修の主な内容	看護師を対象に、新規採用者・中途採用者研修、新人看護師・卒後2年看護師・卒後3年看護師・卒後4年看護師研修、レベルアップ研修などを行った。
研修の期間･実施回数	1337時間45分、208回
研修の参加人数	3,935人
4. 研修の主な内容	看護師を対象に、「透析看護認定研修」として、以下の講義・演習・試験を実施した。 ・腎不全の病態と血液浄化療法 ・血液浄化療法の記録 ・血液浄化療法中の看護 ・血液浄化療法について ・血液浄化療法の実際ついて
研修の期間･実施回数	13時間50分、計16回（DVD講義を含む）
研修の参加人数	61人
5. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の研修会を実施した。 ・放射線技術の将来 ・Quality & Safety management for RT ・放射性医薬品の禁忌 ・考えるCT検査(13)
研修の期間･実施回数	各30分、計4回（2018/4/26、5/10、5/17、5/24）
研修の参加人数	29人、26人、26人、23人

6. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の講演会を実施した。 ・放射線技術科学研究のこれまでとこれから（熊大大学院） ・機械学習による放射線技術学の将来展望（駒澤大学医療健康学部） ・FPDを使いこなそう～仮想グリッド処理で被ばく低減は可能か？ ／低濃度造影剤のCT応用について（奈良医大病院／山口大学病院）
研修の期間･実施回数	各60分、計3回（2018/7/27、10/12、2019/1/11）
研修の参加人数	32人、31人、38人
7. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の人事交流報告会を実施した。 ・国立がん研究センター中央病院での人事交流成果報告 ・京大病院での人事交流報告
研修の期間･実施回数	各45分、計2回（2018/4/27、2019/3/5）
研修の参加人数	31人、35人
8. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に以下の、勉強会を実施した。 ・手指衛生について（2回） ・小児心疾患について（アンギオ画像を絡めて） ・骨密度測定検査について ・急性期脳梗塞（AIS）の治療について
研修の期間･実施回数	各60分、計5回（2018/11/7と20、11/21、11/29、12/6）
研修の参加人数	17人と17人、35人、30人、53人
9. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の交流会を実施した。 ・京都大学、東京大学、がんセンターの交流会 （圧縮センシング、PET-MR、超高精細CT・他） ・京都大学、京都府立医科大学・滋賀医科大学の交流会 （陽子線治療について）
研修の期間･実施回数	各90分、計2回（2018/9/6、2019/1/10）
研修の参加人数	35人、25人
10. 研修の主な内容	看護師・臨床工学技士を対象に、人工呼吸器・血液浄化・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器・新規医療機器の安全な使用方法について実施した。
研修の期間･実施回数	計32回（2018/4/1～2019/3/31）
研修の参加人数	756人
11. 研修の主な内容	医師・管理栄養士、看護師他医療従事者を対象に、栄養療法についての高度な知識・技術を修得するために「NST特別研修会」として講義研修を実施した。
研修の期間･実施回数	1回（2019/3/22）
研修の参加人数	65人
12. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、手の機能障害に対するリハビリテーション（治療に関する概論とリハ実施上の留意点等）の研修を実施した。
研修の期間･実施回数	各60分、2回（2018/9/3、10）
研修の参加人数	42人

13. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、言語障害のリハビリテーション （ 治療に関する概論とリハ実施上の留意点等）の研修を実施した。
研修の期間･実施回数	60分、1回（2018/10/1）
研修の参加人数	42人
14. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、注意機能障害のリハビリテーション（ 治療に関する概論とリハ実施上の留意点等）の研修を実施した。
研修の期間･実施回数	60分、1回（2018/11/5）
研修の参加人数	41人
15. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、嚥下障害のリハビリテーション （術前・術後の急性期リハ介入のポイント等）の研修を実施した。
研修の期間･実施回数	60分、1回（2018/12/3）
研修の参加人数	40人
16. 研修の主な内容	理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を対象に、がん患者の筋力低下に対するリハビリテーション （症例検討・リハ介入のポイント等）の研修を実施した。
研修の期間･実施回数	各60分、2回（2019/1/7、28）
研修の参加人数	41人
17. 研修の主な内容	検査部の職員を対象に、以下の研修を実施した。 ・事務手続き ・業務に必要な基本行動および労働安全衛生 ・検査部・接遇・臨床検査・IS015189 ・災害対策・ＢＣＰについて ・情報処理 ・ＡＥＤの取り扱い
研修の期間･実施回数	各1回
研修の参加人数	各7人（ただし、「業務に必要な基本行動および労働安全衛生」と「ＡＥＤの取り扱い」は、10人）
18. 研修の主な内容	検査部の職員を対象に、検査関連の学術的な内容・安全管理等の勉強会を実施した。
研修の期間･実施回数	年数回
研修の参加人数	各15～50人

19. 研修の主な内容	検査部の職員を対象に、以下のISO対象必須トレーニングを実施した。 ISO対象必須トレーニングA ・品質マネジメントシステム ・感染予防→院内感染対策委員会 ・安全衛生→安全管理委員会 ・倫理 ・災害対策 ISO対象必須トレーニングB ・化学物質 ・廃棄物管理 ・患者守秘義務
研修の期間･実施回数	A：年1回、B:2年に1回
研修の参加人数	全員（当日不参加はＷｅｂ配信で受講）

②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）	
1. 研修の主な内容	医師・看護師・薬剤師を対象に、がん化学療法におけるチーム医療の体制整備、安全管理、薬物療法に関する最新の知識・技術について講義、研修を実施した。
研修の期間･実施回数	2日間、計3回（2018年10月～2019年2月）
研修の参加人数	32人（10チーム）
2. 研修の主な内容	看護師を対象に、管理者研修、実習指導者研修を実施した。
研修の期間･実施回数	32時間、計7回（DVD講義を含む）
研修の参加人数	103人
3. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の管理業務に関する研修を実施した。 ・総務管理 ・医療安全管理 ・感染対策管理 ・情報管理 ・学術法規 ・災害管理 ・治験・臨床研究管理 ・人材育成管理
研修の期間･実施回数	9時間、3日間（2018/4/2～4）
研修の参加人数	6人
4. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、診療グループにおける管理業務について以下の研修を実施した。 ・アンギオ検査とどう向き合うか ・CT検査の前後 ・一般撮影注意事項その2 ・iPS-PD治験について ・シミュレーション教育とは ・放射線と遮蔽ー放射線防護の基礎知識 ・脳腫瘍のRIイメージング
研修の期間･実施回数	各30分、計7回（2018/6/7、7/5、8/2、9/6、11/1、12/6、2019/2/7）
研修の参加人数	17人、19人、20人、23人、15人、17人、19人
5. 研修の主な内容	平成30年度医療機器安全基礎講習会への参加。
研修の期間･実施回数	1回（2018/7/8）
研修の参加人数	2人
6. 研修の主な内容	疾患栄養治療部職員（他の医療職種も参加可能）を対象に、栄養管理業務実務研修を実施した。
研修の期間･実施回数	計10回
研修の参加人数	119人

7. 研修の主な内容	検査部の職員を対象に、以下の研修を実施した。 ・各検査室のオリエンテーション（新人配置の場合） ・新規採用項目に関する勉強会（インフルエンザ） ・コールドルーム脱出 ・インシデントの是正（ホルター） ・インシデントの是正（マイク）
研修の期間･実施回数	年1回または発生時
研修の参加人数	7人、35人、7人、22人、18人
8. 研修の主な内容	検査部の職員を対象に、以下の研修を実施した。 ・カンファレンス（心エコー）
研修の期間･実施回数	年数回
研修の参加人数	10人

③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第 5）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　[2]．現状				
管理責任者氏名	病院長　宮本　享				
管理担当者氏名	薬剤部長	松原　和夫	総務課長	小川　優	
	医務課長	前島　耕志	医療安全管理室長	松村　由美	
	医療サービス課長	中村　正次	医療情報企画部長	黒田　知宏	
	感染制御部長	長尾　美紀	医療器材部長	万代　昌紀	

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	・ｶﾙﾃは電子ｶﾙﾃと紙ｶﾙﾃの２種類を管理及び保管している。 ・2005年に電子ｶﾙﾃを導入しており、それ以前の紙ｶﾙﾃについては20年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのｽｷｬﾅで取り込み、電子ﾃﾞｰﾀを原本として電子ｶﾙﾃに保存している。 ・画像ﾌｨﾙﾑは、2013年4月に全てのﾓﾀﾞﾘﾃｨのﾌｨﾙﾑﾚｽ化を実施しており、それ以降原則、現物保管はしていない。 ・ｶﾙﾃを病院外に持ち出すことは個人情報保護のため認めていない。
		各科診療日誌	医療情報企画部・医務課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医療情報企画部・医務課	
		看護記録	医療情報企画部・医務課	
		検査所見記録	医療情報企画部・医務課	
		エックス線写真	医療情報企画部・医務課	
		紹介状	医療情報企画部・医務課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報企画部・医務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医務課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室・医療サービス課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部・ 医療サービス課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部・ 医療サービス課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部・ 医療サービス課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療器材部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療サービス課	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療サービス課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医務課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室・医療サービス課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医療サービス課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療サービス課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室・医療サービス課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第 6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	１．計画　　②．現状	
閲覧責任者氏名	事務部長　佐々木順三	
閲覧担当者氏名	総務課長　小川　　優	
閲覧の求めに応じる場所	総務課内	
閲覧の手続の概要 １．閲覧申込　　総務課 ２．承認者　　事務部長 ３．閲覧方法　　指定した日時総務課内 ４．返却方法　　当日総務課へ返却		

（注）既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

（注）特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の 11 第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊒・無
・ 指針の主な内容： １．基本理念 ２．組織と体制 ３．医療事故収集とサーベイランス ４．重大事故発生時の報告体制 ５．安全管理に係る研修の実施 ６．マニュアル・対応指針等の作成 ７．診療情報等の共有と開示 ８．患者及び家族からの相談等への対応 ９．その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・　設置の有無（　㊒・無　） ・　開催状況：年　12回 ・　活動の主な内容： １．本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること。 ２．本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関すること。 ３．2.の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関すること。 ４．3.の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 ５．医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関すること。 ６．医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関すること。 ７．その他医療安全管理に関すること。	
③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年23回
・　研修の内容（すべて）： 平成30年4月3日　『チームSTEPPSを取り入れた医療安全トレーニング　グループワークを通してチームのパフォーマンスが向上するためのスキルを学ぶ』 平成30年4月4日　『チームSTEPPSを取り入れた医療安全トレーニング　グループワークを通してチームのパフォーマンスが向上するためのスキルを学ぶ』 平成30年4月10日　『The Journey to High Reliability and Reliable Outcomes　（信頼できる成果への旅）』 平成30年4月19日　『個人情報管理の落とし穴　―KINGを活用しよう―』 平成30年5月7日　『＜リハビリテーション部対象＞「医療安全管理　2018年度重点目標：コミュニケーション」』 平成30年5月14日　『【ＤＶＤ上映会】個人情報管理の落とし穴　―KINGを活用しよう―』 平成30年5月18日　『より安全な医療を提供するために　―京大病院の現場からの発信と製品開発―』	

平成30年5月25日	『患者とのコミュニケーションで築く医療安全』
平成30年5月29日	『アナフィラキシーとその対応』
平成30年6月8日	『深部静脈血栓症の予防と急性肺血栓塞栓症の初期対応』
平成30年6月19日	『【ＤＶＤ上映会】個人情報管理の落とし穴　—KINGを活用しよう—』
平成30年6月22日	『安全な血液浄化療法を目指して～血液浄化療法マニュアル ver2.1 を読み解く～』
平成30年7月4日	『正しい確認と間違った確認　～確認といっても、本当は奥が深い～』
平成30年7月13日	『医療ガス設備の取扱い上の注意点』
平成30年7月17日	『【ＤＶＤ上映会】個人情報管理の落とし穴　—KINGを活用しよう—』
平成30年7月18日	『医薬品の安全使用について～インシデント事例から学ぶ～』
平成30年8月20日	『医療事故発生時の当院の初期対応について』
平成30年9月13日	『【ＤＶＤ上映会】個人情報管理の落とし穴　—KINGを活用しよう—』
平成30年10月11日	『【ＤＶＤ上映会】個人情報管理の落とし穴　—KINGを活用しよう—』
平成30年10月31日	『事例をもとに考える個人情報漏えい防止対策』
平成30年12月11日	『患者の急変予測』
平成30年12月13日	『６　６　６　６　、すとろーく、脳梗塞の急性期治療はスピード勝負！』
平成31年3月5日	『京大病院で経験した重大医療事故に関する原因分析と再発防止策～監査委員会及びピアレビューの結果も含めて～』

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機関内における事故報告等の整備　（　**有**・無　）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

１．各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業

２．安全に関する部門連携・委員会活動
- ・医療安全管理委員会の定期開催
- ・リスクマネージャー会議の定期開催
- ・医療安全、医薬品安全管理、医療機器安全管理の関する小委員会の定期開催
- ・多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
- ・各種WG開催
- ・高難度医療・未承認医薬品等管理室との連携

３．職員への安全教育
- ・講演会・講習会・DVD上映会・院内事例報告会・e-learning
- ・医療安全ニュースの配信

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： ・感染対策に関する基本方針 ・感染対策組織の概要 ・関連委員会及び会議の開催 ・感染制御部（ICT）の業務内容　教育、サーベライランス等 ・感染アウトブレイク（集団発生）時の対応	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年68回
・ 活動の主な内容： １．院内感染対策委員会　1回/月（必要に応じて随時開催） ２．感染制御部会議　1回/月（必要に応じて随時開催） ３．ICT会議　2回/月（必要に応じて随時開催） ４．感染対策業務会議　2回/年（必要に応じて随時開催） ５．リンクナース会議　9回/年（感染対策業務会議含む） ６．抗菌薬適正使用支援チーム　1回/月（必要に応じて随時開催）	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年31回
・ 研修の内容（すべて）： 平成 30 年 4 月 18 日　『手指衛生（1）』 平成 30 年 4 月 23 日　『AIDS/HIV-1 感染症診療のポイント』 平成 30 年 4 月 24 日　『第 1 回感染症の診断と治療セミナー　「感染症診療の基本　～診断から治療まで～　血培陽性といわれたら」』 平成 30 年 5 月 8 日　『抗菌薬適正使用の考え方と抗菌薬適正使用支援チーム』 平成 30 年 5 月 11 日　『第 2 回感染症の診断と治療セミナー　「肺炎の治療　胸部ｘｐ、CT の読み方」』 平成 30 年 5 月 21 日　『リハビリテーション科「感染対策の基本」』 平成 30 年 5 月 23 日　『抗菌薬適正使用～過去のアウトブレイク事例を教訓にして～』 平成 30 年 5 月 24 日　『緊急開催！！　廃棄物分別方法の一部変更～変更点と間違いやすい分別を理解し廃棄物分別マスターになろう～』 平成 30 年 5 月 25 日　『第 3 回感染症の診断と治療セミナー「敗血症の初期対応」「菌血症のマネージメント」　』 平成 30 年 6 月 5 日　『緊急開催！！　廃棄物分別方法の一部変更～変更点と間違いやすい分別を理解し廃棄物分別マスターになろう～』 平成 30 年 6 月 6 日　『手指衛生　「北病棟 3 階のアウトブレイク経験から」』 平成 30 年 6 月 12 日　『手指衛生（2）』 平成 30 年 6 月 15 日　『経路別予防策』 平成 30 年 6 月 20 日　『衛生管理と美味しさを追求した当院の病院食～ニュークックチルシステム導入に至った経緯から～覚えておきたい食中毒の原因とその対応』 平成 30 年 6 月 29 日　『第 4 回感染症の診断と治療セミナー　「尿路感染の治療　腎臓・膀胱の画像診断」』 平成 30 年 7 月 10 日　『海外旅行と感染症』 平成 30 年 7 月 20 日　『第 5 回感染症の診断と治療セミナー　「腸炎」』	

平成 30 年 7 月 25 日　『ブツブツ感染症』
平成 30 年 7 月 27 日　『【ＤＶＤ上映会】手指衛生（2）』
平成 30 年 8 月 3 日　『休務が必要な感染症』
平成 30 年 8 月 31 日　『第 6 回感染症の診断と治療セミナー　「頭頸部感染症」』
平成 30 年 9 月 6 日　『【ＤＶＤ上映会】手指衛生（2）』
平成 30 年 9 月 7 日　『意外と身近な結核への対策』
平成 30 年 9 月 14 日　『手指衛生（3）』
平成 30 年 10 月 12 日『B 型肝炎の基本と感染予防』
平成 30 年 10 月 18 日『【DVD 上映会】手指衛生（3）』
平成 30 年 10 月 23 日『血液体液曝露対策』
平成 30 年 11 月 21 日『インフルエンザ・感染性胃腸炎の感染対策』
平成 30 年 12 月 10 日『手指衛生（４）』
平成 31 年 2 月 8 日　『冬季に流行する感染症とその対策～インフルエンザを中心に～』
平成 31 年 3 月 22 日　『急性期における感染対応・嚥下対応を含めた栄養管理』

④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・　病院における発生状況の報告等の整備　　（　有・無　）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

１．感染対策サーベイランスの実施
・薬剤耐性菌サーベイランス
・カテーテル関連尿路感染（CAUTI）サーベイランス
・中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）サーベイランス
・カテーテル由来血流感染（CRBSI）サーベイランス
・手術部位感染サーベイランス
・抗菌薬サーベイランス

２．職業感染防止および血液体液曝露後の対策
・入職時の抗体価検査（B型肝炎、麻疹、水痘、ムンプス、風疹）
・ワクチン接種（B型肝炎、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹、ムンプス）
・針刺し防止マニュアル作成・周知、針刺し防止器材の積極的な導入
・職業感染曝露後の対応
-針刺し、血液・体液曝露（ワクチン、グロブリン等）
-結核（IGRA：インターフェロン-γ遊離試験、予防投薬）
-小児ウイルス性疾患（抗体確認、緊急ワクチン接種、休務規定）
・結核感染高リスク部署の職員への結核定期検診
・透析スタッフへの肝炎検査

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	㊒・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年59回

・　研修の主な内容：
　医薬品での事故防止に係る本院職員の意識向上と安全管理、及び薬剤師としての資質向上のため次の通り研修会等を開催した。

全職種を対象
◆（医薬品安全使用のための研修会）
日時：平成30年7月18日（水）17:30～18:00
参加人数：396名（当日受講：123名、DVD受講：23名、動画受講：250名）
演題：『医薬品の安全使用について ～インシデント事例から学ぶ～』
講師：医療安全管理部　山本　崇

病棟スタッフを対象
◆（医薬品安全使用のための研修会）
医薬品の使用上の注意点等について、病棟毎のニーズに合わせて、看護師・医師を主な対象とした研修会を開催している。病棟担当薬剤師が講師を務めている。年31回

薬剤師を対象
◆（医薬品安全使用のための研修会：採用医薬品説明会・部員会）
新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明と位置づけ及び添付文書改訂情報､安全性情報､医薬品の取扱い等についての説明と情報の共有化を図っている。年11回
また、毎月開催する部員会において、警鐘すべきインシデント事例の情報を共有し、再発防止策の検討と注意喚起を行い、業務改善に努めている。年12回

新採用者を対象
◆（研修医・医師オリエンテーション講義）　平成30年4月2日（月）　243名
◆（看護部新規採用者オリエンテーション講義）　平成30年4月3日（火）　159名
◆（薬剤部新入職員講義）　平成30年4月2日（月）　8名
◆（看護部静脈注射輸液管理認定プログラム講義）平成30年5月23日（水）　146名

③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・　手順書の作成　（　㊒・無　）
・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
1. 医薬品の採用に関すること
2. 医薬品の購入に関すること
3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること
4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること
5. 外来患者への医薬品使用に関すること
6. 病棟･外来･中央診療施設における医薬品の管理に関すること
7. 入院患者への医薬品使用に関すること
8. 医薬品の適正使用に関すること
9. 医薬品の安全使用に係る情報に関すること
10. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること

以上の業務内容について、手順書に基づく業務の実施状況を調査した。

○　医薬品安全管理補助者の指名を受けた薬剤師が、「医薬品安全使用の業務手順書遵守確認票」により確認し、不十分な点は改善指導をした。

・外来・中央診療棟　1～2週に1回ラウンド、各部署半期に1回を目安
・病棟　平成30年10月18日～26日実施
・薬剤部　平成30年10月19日～30日実施

○いずれも最終的に医薬品安全管理責任者が確認をした。

④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医薬品に係る情報の収集の整備　（　有・無　）
・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：　■別紙1
・　その他の改善のための方策の主な内容：

1）医師からの採用依頼があった新規医薬品に関して、採用開始6ケ月及び1年後に、採用を申し出た医師に対して「新規採用医薬品副作用予備調査票」を送付・回収することにより、院内で発生した副作用情報を収集している。

2)副薬剤部長1名が薬剤部リスクマネージャーを兼任し、毎週開催される安全管理ミーティングにて院内の情報を収集、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内に警鐘事例を周知している。また副薬剤部長間でインシデント情報を共有し、薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。

3）処方・注射オーダリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能について運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。

4）全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品･医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアナウンスメールで発信している。アナウンスメールしたものの中からピックアップして、リスクマネージャー会議で周知依頼するとともに、周知状況を確認している。

5）オーダリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌、等を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑義がある場合は医師に照会している。適応外使用や禁忌の使用については「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。

6）入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。

7）病棟薬剤師が電子カルテ上で指示受けや処方内容評価をする際、用法･用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを把握し、該当する場合は医師に必要性を確認している。収集した情報は「適応外･禁忌･未承認薬データベース」に入力している。医薬品安全管理補助者がデータベースの内容を確認してまとめ、医薬品安全管理責任者に報告している。

8）医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん剤の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。

9）地域保険薬局との連携の一環として、患者の検査値の一部を院外処方せんに記載している。保険薬局で処方監査時に検査値を参照することで、適正で安全な薬物療法推進につながる。

10）保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容を服薬情報提供書（トレーシングレポート）で受け付けている。薬剤部にて集約したのち、医師へ情報提供を行い、情報の共有化を図っている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	㊒・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年37回

・　研修の主な内容：

１．放射線関連機器について

〇高度管理医療機器の研修として、以下の研修を実施した。

・診療用高エネルギー放射線発生装置と診療用放射線照射装置に関し以下の研修を実施した。

1)平成30年7月20日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修を実施した。（出席 31名（内研修対象者　出席 16名　欠席 4名））

2)平成30年7月20日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用放射線照射装置の研修を実施した。（出席 31名（内研修対象者　出席 24名　欠席 6名）

3)平成31年2月22日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用高エネルギー放射線発生装置の研修を実施した。（出席 25名（内研修対象者　出席 15名　欠席 5名））

4)平成31年2月22日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用放射線照射装置の研修を実施した。（出席 25名（内研修対象者　出席 20名　欠席 10名））

＊欠席者に対しては資料確認により補講を実施

〇新規・更新装置導入時の研修として、以下の研修を実施した。

1) 手術室移動型Ｘ線透視装置 Cios Select FD（安全操作説明・緊急時対応）新規導入時研修。平成31年3月27日（4月1日）　出席　71名（内研修対象者 70名　欠席1名）

2) 手術室移動型Ｘ線透視装置オーソスキャンFD（安全操作説明・緊急時対応）新規導入時研修。平成31年3月27日（4月1日）　出席　71名（内研修対象者 70名　欠席1名）

＊欠席者に対しては資料確認により補講を実施した。

２．ＭＥ関連機器について

1)平成30年度中に計15回医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を実施した。除細動器及び人工呼吸器に関してはe-ラーニングでの研修を実施している。その他新規医療機器を含め合計15回の研修を実施している。

2)平成30年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用方法について研修を実施した。

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　医療機器に係る計画の策定　　（　㊒・無　）

・　機器ごとの保守点検の主な内容：

１．放射線関連機器について

・放射線機器については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。

→機器の動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。

→日々の始業終業点検について、各部門において担当者を決めて点検表にて確認、記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。

→高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。

２．ＭＥ関連機器について

・各医療機器の点検周期に沿って、臨床工学技士による点検とメーカーによる点検を実施している。

→臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルター等の定期交換を実施している。

→高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。

④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機器に係る情報の収集の整備　　（　有・無　）

・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし

・　その他の改善のための方策の主な内容：

１．放射線関連機器について

・一般撮影部門、血管造影部門、ＣＴ・透視部門、ＭＲ部門、ＲＩ検査部門、放射線治療部門における多職種（医師、看護師、技師）での品質管理（ＱＡ）委員会を、月例開催または２～３ヶ月に1回開催している。

・一般撮影＋血管造影グループ、ＣＴ・透視＋ＭＲグループ、ＲＩ＋放射線治療グループにおける診療放射線技師の定例会議（月例）を開催している。

２．ＭＥ関連機器について

・医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。

・医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の統一を推し進めている。

・臨床工学技士が随時医療機器の安全な使用状況確認のための巡回を行っている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	㊒・無

・責任者の資格（医師・~~歯科医師~~）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況
　常勤医師の副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会（委員長：医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理小委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）を統括している体制となっている。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊒（　５名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

(1)原則として月１回、薬剤部開発のアプリケーション「医薬品使用状況」、薬剤管理指導支援システム PICS の薬歴検索機能、薬剤物流システムの薬剤オーダー集計機能などを用い、医薬品の投薬及び注射の状況の把握を行っている。

(2)医薬品医療機器情報配信サービス等を利用して、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報を入手している。医薬品製造販売業者、卸売販売業者からの情報収集は、医薬品情報室で一元的に行っている。要対応と判断した事例は、随時、医薬品安全管理責任者に報告している。

(3)院内で発生した医薬品の副作用、インシデント等の情報は、病棟薬剤師が随時収集・評価を行っている。また、医薬品の新規採用後 6 ヶ月、1 年を経過した時点で、採用依頼を提出した医師に副作用調査票の提出を委嘱し、医薬品情報管理室で集約している。インシデント報告の情報は薬剤部リスクマネージャーを通して入手している。要対応と判断した事例は、随時、医薬品安全管理責任者に報告している。

(4)疑義照会、質疑応答記録、処方内容評価を元にした「適応外・禁忌・未承認薬データベース」より、未承認等の医薬品の使用状況を把握し集計するとともに、月１回、医薬品安全管理責任者に報告している。

(5)全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品･医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品添付文書の改訂情報（禁忌の追加・解除など）、インシデント報告から安全使用上周知が必要と思われる医薬品情報などをアナウンスメールで発信している。これらをまとめた「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。

(6)薬剤使用時の注意点や薬剤に関する情報（インシデント報告を元にした対応を含む）を適宜「DI ニュース」等で提供している。病棟薬剤師は資料を担当診療科・病棟にて周知し記録を残している。アナウンスメールでも同時に配信している。

(7)病棟薬剤師は、医薬品の使用上の注意点等について、病棟毎のニーズに合わせて、看護師・医師を対象とした説明会を行い、実施の記録を残している。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

(1)オーダリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊婦禁忌を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑義がある場合は医師に照会している。禁忌や適応外の処方を変更せず使用する場合は、患者

への説明とカルテ記載を依頼し、リスクに応じて、高難度医療・未承認医薬品等室への申請が必要なことを伝えている。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。

⑵病棟薬剤師が電子カルテ上で指示受けや処方内容評価をする際、用法･用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを把握し、該当する場合は医師に必要性を確認している。禁忌や適応外の処方を変更せず使用する場合は、患者への説明とカルテ記載を依頼し、リスクに応じて、高難度医療・未承認医薬品等管理室への申請が必要なことを伝えている。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。

⑶「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力された情報は、病棟リーダー（医薬品安全管理補助者）が並行して確認し妥当性を評価している。さらに一覧表形式にまとめて医薬品安　全管理責任者に報告し、指示事項があれば、病棟薬剤師を通じて医師にフィードバックしている。

⑷薬剤師が把握した未承認等の医薬品の使用に関する情報は「医薬品安全管理小委員会」に報告し情報共有している。

・担当者の指名の有無（**有**・無）

・担当者の所属・職種：　■別紙 2

（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）
（所属：　　，職種　　）	（所属：　　，職種　　）

④　医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	**有**・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　　（　**有**・無　）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

年 4 回、診療科（部）毎に１か月５例を無作為に選択し、インフォームド・コンセントの過程がわかるように説明内容、説明時反応、同席者が記載されているか等、チェック項目に基づき確認を行っている。

適切でない事例が認められた場合は、ＩＣ責任者より、上記の評価結果を医療問題対策・臨床倫理委員会へ報告するとともに、病棟医長・看護師長会議や病院協議会等を通じ、院内の各部署へ周知する。

⑤　診療録等の管理に関する責任者の選任状況	**有**・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

責任者の監督下において診療情報管理士による診療録監査を年 2 回 16 診療科に実施しており、監査結果は病院長承認後に各診療科へフィードバックを行っている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無

・所属職員：専従（３）名、専任（１）名、兼任（１４）名

うち医師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（３）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（　）名、兼任（　）名

うち看護師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（２）名

（注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

・インシデント・アクシデント報告に関すること。
・医療安全管理対策の調査・分析及び指導に関すること。
・医療安全管理対策の教育・研修に関すること。
・定められた手順やルールが実践されているかどうかのモニタリング
①画像診断結果報告書の未確認件数（月別、診療科別）
（ルール：放射線診断科医が読影診断結果を報告している。オーダー診療科の医師が報告内容を確認後、確認ボタンを押すと、報告書の内容がカルテに転記される。カルテへの転記がない場合、報告内容の確認がされていない可能性があるため、診断結果の見落としエラー対策として作成したルールである。併せて、未読影率をフィードバックする。）
②注射薬調製時の確認手順の順守率
（ルール：注射薬調製時は、注射指示簿と薬剤・ラベルの照合、ラベルと準備された薬剤を照合する。照合後は直ちに調製する。）
③注射薬を患者に投与する直前に、照合端末を用いて、薬剤ラベルと患者リストバンドを照合した率（月別、病棟別）
（ルール：注射薬投与時は患者誤認事故をゼロにするため、人による確認＋器械による確認を組み合わせる）
④抗がん剤の調製確定後の変更件数（月別、診療科別）
（ルール：医師が抗がん剤を前日締め切り時刻までにオーダーし、前日締め切り後に薬剤師が監査する。当日 10 時までに医師は、患者に投与してよいか患者の状態やデータで判断し、調製確定を入力する。薬剤師は確定されたオーダーに基づいて薬剤を調製する）
⑤バイタルデータターミナルを用いてバイタルデータを転送している率（月別、病棟別）
（ルール：血圧、体温、Sp02、脈拍などのデータは、患者ベッドサイドに設置した端末にかざすことで、当該患者の電子カルテにタイムリーに転送される。今までは、看護師が電子カルテに転記していたため、測定時刻から転記まで時間がかかっていた。また誤記も散見された）
・ルールの逸脱（やむを得ない場合も含む）をインシデント報告対象として、逸脱件数を測定する。
①入院患者へのリストバンド未装着（月別、病棟別）
（全員にリストバンドを装着するルールがあるが、皮膚の脆弱性などでやむを得ない場合も含め、未装着は全例報告する）
②高濃度カリウム製剤投与に関する院内規程からの逸脱事例
（医学的理由があっても、ルールから逸脱している場合には報告しておく）
・リスクアセスメント（褥瘡リスク・転倒リスク）のアウトカムを評価するための事故件数のモニタリング
①院内褥瘡発生率
②転倒転落事故発生

・その他医療安全管理対策に関すること。

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4 件）、及び許可件数（4 件）
・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（　有・無　）
・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：
「京都大学医学部附属病院高難度新規医療技術取扱規程」において、高難度新規医療技術の定義、高難度新規医療技術の提供に係る申請事項（既存の技術との優位性、医療提供体制の整備状況、執刀医等の経験、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項について規定している。
・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（　有・無　）
・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（　有・無　）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（104 件）、及び許可件数（95 件）
・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（　有・無　）
・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（　有・無　）
・活動の主な内容：
「京都大学医学部附属病院未承認新規医薬品等取扱規程」において、未承認新規医薬品等を用いた医療の定義、未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に係る申請事項（既存の医薬品等との優位性、未承認新規医薬品等の使用条件、有害事象の把握方法、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項について規定している。
・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（　有・無　）
・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（　有・無　）

⑨　入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 299 件
・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 111 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療サービスに起因し、影響度レベルが重症・重大なものについて、医療安全管理室は、毎月開催の医療安全管理委員会にて報告する。委員会では、これらのうち、調査が必要と判断したものについては、外部委員を含めるか含めないかなども含め、調査方法を決定する。

また、影響度レベルが 3a 以下または未遂であっても、インシデントが潜在的に危険を有しているものがあれば、調査を命じることがある。医療安全管理委員会の審議結果は病院長に報告される。調査結果についても医療安全管理委員会及び病院長に報告される。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：札幌医科大学附属病院）・無 ）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ

（ 有（病院名：横浜市立大学附属病院、群馬大学医学部附属病院）・無 ）

・技術的助言の実施状況

立入り後に技術的助言を含む報告書として取りまとめ、相手方病院へ送付した。

立入り受入れ後には相手方病院から技術的助言を含む報告書を受け取り院内で周知対応した。

立入り受入れ時において、相手側から、医療安全管理部長が多様な委員会において重要な役割を担っているため、適切な人材育成を通して役割を分散させることが必要との助言があった。業務分担の見直しとして委員会業務の委員を同部職員が担うこととし、部長への業務集中を分散した。また、医師の助教へ業務委譲を行うことで人材育成にも取組んでいる。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

本院には患者やその家族からの相談、苦情に対して適切な処理を行うことを目的とする患者相談窓口がある。

各診療科（部）は、患者等からの相談内容について、患者相談窓口から対応を要請された場合は、責任をもって協力するものとする。

各診療科（部）に患者支援担当者を置き、患者等からの相談内容について患者相談窓口と連携し、責任をもって対応するものとする。

各診療科（部）のリスクマネージャーが、患者支援担当者として兼務する。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

全職員を対象に集合型講習会の複数回の開催、講習会の院内動画配信、ＤＶＤの貸出を実施し、講習会の参加を促している。

また、ＩＳＯや医療安全にかかる項目について、いつでも受講可能な e-leraning を整備し、受講状況をモニタリングしている。

⑬　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 管理者　：特定機能病院管理者研修（H31.1.23） 医療安全管理責任者　：特定機能病院管理者研修（H31.1.21-22） 医薬品安全管理責任者　：特定機能病院管理者研修（H31.1.21-22） 医療機器安全管理責任者　：特定機能病院管理者研修（H31.1.21-22）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第７条の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 1.医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること 2.大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 3.医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 4.京都大学医学部附属病院の基本理念を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 大学ホームページに掲載 http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/rinen.html

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ）
・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ）
・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ）
・ 公表の方法
大学ホームページに掲載
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	特別の関係
湊長博	理事（戦略調整・研究・企画・病院担当）	○	病院担当の理事	有・無
岩井一宏	医学部長		医学部長	有・無
稲垣暢也	医学部附属病院長		医学部附属病院長	有・無
平井豊博	医学部附属病院副病院長（医療安全担当）		医学部附属病院副病院長（医療安全担当）	有・無
井川順子	医学部附属病院看護部長		医学部附属病院看護部長	有・無
佐々木順三	医学部附属病院事務部長		医学部附属病院事務部長	有・無
邉見公雄	公益社団法人 全国自治体病院協議名誉会長 赤穂市民病院名誉院長		医学・医療に関し識見を有する学外者	有・無
松井道宣	京都府医師会長		医学・医療に関し識見を有する学外者	有・無
山内修一	京都府副知事		医学・医療に関し識見を有する学外者	有・無

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無

・合議体の主要な審議内容
病院運営に関する重要事項を協議するため、協議会を置く。
協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、協議会が定める。

・審議の概要の従業者への周知状況
院内ホームページに議事要旨を掲載

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有・無　）
・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　有・無　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長 （○を付す）	職種	役職
■別紙３			

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限
・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　有・無　） ・　公表の方法 ・　規程の主な内容 ■別紙４ ・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割 副病院長（研究担当）副病院長（経営、施設担当） 副病院長（診療、労務）副病院長（医療安全、広報担当） 病院長補佐（病院長が指示した特定の事項について企画立案及び連絡調整） 運営企画室（病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。） ・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況 　病院長のリーダーシップ及び病院長を支えるサポート体制の強化等、病院執行部のガバナンス強化を目的としたワークショップ「第３回病院長塾」へ病院長等を派遣。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無

・監査委員会の開催状況：年２回

・活動の主な内容：
本院における医療安全管理に係る業務執行状況の監査、及び監査結果に基づき、必要に応じて総長や病院長に対し是正措置を講じるよう意見する。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（　有・無　）

・委員名簿の公表の有無（　有・無　）

・委員の選定理由の公表の有無（　有・無　）

・公表の方法：京都大学ホームページに掲載

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
潮見　佳男	京都大学副学長（法務･ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ担当）		総長が指名する理事又は副学長	有・無	3
平野　哲郎	立命館大学法科大学院教授		法律に関する専門的知識を有する者	有・無	1
佐和　貞治	京都府立医科大学医療安全管理部部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有・無	1
伊藤　英樹	広島大学病院医療安全管理部部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有・無	1
山口　育子	認定ＮＰＯ法人ささえあい医療人権センターＣＯＭＬ理事長	○	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・無	2

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 　本学には副学長（法務・コンプライアンス担当）を室長とする監査室を設置している。同室により、本院管理者の業務が法令に適合していることを確保するための監査を行うこととしている。 ・　専門部署の設置の有無（　**有**・無　） ・　内部規程の整備の有無（　**有**・無　） ・　内部規程の公表の有無（　**有**・無　） ・　公表の方法：ホームページに掲載

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ■別紙5 ・ 会議体の実施状況（　年１回　） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（　(有)・無　）（　年１回　） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（　有・(無)　） ・ 公表の方法
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：京都大学医学部附属病院業務監督会議
会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
■別紙 6			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（　有・無　） ・通報件数（年０件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（　有・無　） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（　有・無　） ・周知の方法 院内ホームページに掲載

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	㊒・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 ビューローベリタスジャパン株式会社　ISO9001:2015，JIS Q 9001:2015 2017年11月20日～11月21日，2018年1月23日～26日，2019年1月15日～17日	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	㊒・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院のホームページ(http://kuhp.kyoto-u.ac.jp)及び広報誌「京大病院広報」(http://kuhp.kyoto-u.ac.jp/outline/publish.html)により、各診療科の紹介、院内活動の報告等を行っている。	

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	㊒・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 １）「集学的がん診療ユニット」として、がん種ごとに専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線診断医・各種医療スタッフが、診療科・職種横断的にカンファレンス・診療を行い、迅速かつ最適な治療を提供している。また、がん種ごとに毎週定期カンファレンスを実施することにより、患者の情報および専門性の高い知識を共有することで医療の質を高め、専門医・専門スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。 さらに、がん免疫チェックポイント阻害薬の普及により、これまでにない全身的な有害事象に対する対応が求められているが、非がん領域の様々な診療科との連携体制を構築し、治療を受ける患者の安全対策に万全を期している。 ２） Precision Cancer Medicineを提供するため、原発不明癌、希少癌、標準治療不応の癌の患者を対象としたがんクリニカルシークエンスをわが国ではじめて臨床実装し、次世代シークエンサーによる網羅的遺伝子解析結果を解釈し治療に結びつけるがんゲノム医療の実施体制を構築している。この体制には、腫瘍内科医、病理医、腫瘍外科医、臨床遺伝専門医、遺伝カウンセラー、などの複数の職種が参加して、高度な医療を提供している。	

別紙１

未承認等の医薬品の具体的な使用事例

禁忌・未承認・適応外のデータベース集計

2018/04/01～2019/03/31

禁忌・未承認・適応外DB集計20180401～20180417

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/04/03	未承認薬	ハイリスク薬	シドフォビル	血液内科	ウィルス性出血性膀胱炎に対して
2018/04/04	適応外	抗がん剤	PAC/CBDCA	腫瘍内科	原発不明癌に対してPAC/CBDCA
2018/04/06	適応外	抗がん剤	ｹﾞﾑｼﾀﾋﾞﾝ	呼吸器内科	胸腺腫瘍に対する治療目的
2018/04/09	適応外	抗がん剤	リツキシマブ	免疫膠原病内	リウマチ
2018/04/09	適応外	抗がん剤	CBDCA/ETP	腫瘍内科	神経内分泌癌
2018/04/09	適応外	抗がん剤	フェマーラ錠2.5mg	産科	OHSSリスク低減
2018/04/10	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺がんの化学療法
2018/04/11	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	消化管外科	UC治療
2018/04/12	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	婦人科	子宮肉腫DOC/GEM療法
2018/04/12	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	消化器内科	クローン病治療
2018/04/01	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/04/03	適応外	ハイリスク薬	オランザピン、クエチアピン	精神科神経科	うつ病患者に対するオランザピン、クエチアピン処方
2018/04/03	適応外	ハイリスク薬	リスペリドン	精神科神経科	双極性障害患者に対するリスペリドン処
2018/04/03	適応外	ハイリスク薬	ワーファリン錠1mg	泌尿器科	腎移植後急性拒絶反応時および治療中の血栓予防
2018/04/04	適応外	ハイリスク薬	リーマス錠	精神科神経科	統合失調症患者に対するリーマス処方
2018/04/05	適応外	ハイリスク薬	クロピトグレル錠75mg	免疫・膠原病内科	腎動脈に血栓ができ、腎機能低下傾向にあるため
2018/04/09	適応外	ハイリスク薬	レミケード	免疫・膠原病内科	ベーチェット病によるぶどう膜炎に6.5mg/kgを8週ごと
2018/04/09	適応外	ハイリスク薬	エフィエント20mg、3.75mg	脳外科	脳血流変更ステント留置術目的(3回目)
2018/04/10	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術予定
2018/04/10	適応外	ハイリスク薬	レミケード	消化器内科	潰瘍性大腸炎に7.6mg/kg8週ごと投与中
2018/04/11	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/04/11	適応外	ハイリスク薬	アスピリン末	脳神経外科	もやもや病に対する脳梗塞予防
2018/04/13	適応外	ハイリスク薬	レミケード	消化器内科	潰瘍性大腸炎に7.5mg/kg8週ごと投与中
2018/04/13	適応外	ハイリスク薬	レミケード	消化器内科	自己免疫性肝炎に5mg/kg8週ごと
2018/04/16	適応外	ハイリスク薬	レメロン錠	精神科神経科	双極性障害に対するレメロン処方
2018/04/16	適応外	ハイリスク薬	デジレル錠25 25mg	脳神経外科	不眠、せん妄
2018/04/02	適応外	その他	オランザピン錠2.5mg	泌尿器科	GEM/CDDP投与中のCINV
2018/04/02	適応外	その他	プレセデックス静注液200μg	心外	添付文書の上限量超過
2018/04/02	適応外	その他	コンスタン0.4mg錠	泌尿器科	慢性骨盤痛症候群における膀胱頸部痛の鎮痛
2018/04/03	適応外	その他	ラグノスゼリー	呼吸器内科	便秘に対して使用(男性)
2018/04/04	適応外	その他	アザルフィジンEN錠250mg	消化器内科	関節炎
2018/04/05	適応外	その他	アルチバ静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/04/05	適応外	その他	オビソート注射用0.1g	皮膚科	アセチルコリン発汗テスト
2018/04/05	適応外	その他	バレイショデンプン	皮膚科	発汗テスト
2018/04/05	適応外	その他	オーグメンチン配合錠250RS	耳鼻咽喉科	耳瘻孔感染に対して小児に使用
2018/04/05	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/04/06	適応外	その他	ミノマイシン点滴用100mg	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/04/06	適応外	その他	レボフロキサシン錠500mg	呼吸器内科	肺炎
2018/04/09	適応外	その他	タンデトロン	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2018/04/10	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/04/10	適応外	その他	ｸﾞﾗﾝｼﾘﾝｼﾞM300	脳神経外科	薬剤性(抗腫瘍剤の疑い)の好中球減少に対して
2018/04/10	適応外	その他	アムビゾーム	呼吸器外科	慢性壊死性肺アスペルギルス
2018/04/11	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/04/16	適応外	その他	フェキソフェナジン錠60mg	整形外科	1日1回1回2錠眠前
2018/04/10	禁忌適応外	その他	ﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝ・F注とｱﾄﾆﾝO注の併	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/04/12	禁忌適応外	その他	アロプリノール	消化器内科	ロイケリン作用増強目的
2018/04/13	禁忌適応外	その他	ﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝ・F注とｱﾄﾆﾝO注の併	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/04/02	禁忌	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	眼科	硝子体出血中のバイアスピリン内服
2018/04/09	禁忌	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg エリキュース錠5mg	眼科	眼内出血時の抗血栓療法
2018/04/04	禁忌	その他	スピロノラクトン・グラセプター	肝胆膵移植外科	スピロノラクトン(腹水貯留)・グラセプター(肝移植後)
2018/04/05	禁忌	その他	コソプト配合点眼液	循環器内科	喘息既往あるが以前より(少なくとも前回当院入院時以前より)継続使用中

禁忌・未承認・適応外DB集計20180401～20180417

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/04/11	禁忌	その他	チモロールXE点眼液0.5%	糖尿病内分泌栄養内科	小児喘息の既往のある方でチモロールXE点眼使用（禁忌）
2018/04/11	禁忌	その他	スピオルトレスピマット	呼吸器内科	閉塞隅角緑内障あり、COPDコントロールで使用
2018/04/12	禁忌	その他	ミニリンメルトOD錠60μg	糖尿病内分泌栄養内科	Ccr＜50の方に対するミニリンメルトの使用〔禁忌）

禁忌・未承認・適応外DB集計20180417～20180518

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/04/17	適応外	抗がん剤	ゼローダ錠300mg	放射線治療科	ゼローダ連日内服(放射線照射なしの日も内服)
2018/04/19	適応外	抗がん剤	エトポシド、カルボプラチン	消化器内科	GBK Stage 4 Small cell carcinoma
2018/04/19	適応外	抗がん剤	アムルビシン	婦人科	子宮小細胞癌再発
2018/04/19	適応外	抗がん剤	CBDCA/ETP	腫瘍内科	直腸NECに対して
2018/04/23	適応外	抗がん剤	テモゾロミド錠100mg,20mg	脳神経外科	高齢のため、悪性神経膠腫に対し24日間で使用
2018/04/24	適応外	抗がん剤	イマチニブ錠	皮膚科	自己免疫性水疱症の介入試験
2018/04/25	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン・パクリタキセル	泌尿器科	膀胱癌に対する化学療法
2018/05/07	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	腫瘍内科	肺動脈内膜肉腫 再発緩和的治療目的
2018/05/07	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	腫瘍内科	肺動脈内膜肉腫 再発緩和的治療目的
2018/05/08	適応外	抗がん剤	ザルトラップ	腫瘍内科	盲腸癌再発治療
2018/05/08	適応外	抗がん剤	アフィニトール錠	腫瘍内科	子宮体がん
2018/05/09	適応外	抗がん剤	エトポシド、カルボプラチン	泌尿器科	前立腺小細胞癌に対する化学療法
2018/05/09	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	婦人科	子宮肉腫疑い(原発不明肉腫)
2018/05/14	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	婦人科	子宮頸癌に対し、DOC/CBDCA療法
2018/05/14	適応外	抗がん剤	エトポシド・カルボプラチン	婦人科	神経内分泌腫瘍の治療
2018/05/10	適応外	抗がん剤	スチバーガ錠	腫瘍内科	NET再発
2018/05/10	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺がんに対する化学療
2018/05/15	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺がんの化学療法
2018/05/15	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、イホスファミド、シスプラチン(TIP療法)	泌尿器科	再発陰茎癌に対する化学療法
2018/04/17	適応外	ハイリスク薬	レミケード	免疫・膠原病内科	SAPHO症候群
2018/04/17	適応外	ハイリスク薬	オレンシア	免疫・膠原病内科	皮膚筋炎による関節炎
2018/04/18	適応外	ハイリスク薬	メトトレキサートカプセル2mg	眼科	サルコイドーシス
2018/04/23	適応外	ハイリスク薬	レクサプロ錠	精神科神経科	双極性障害に対するレクサプロ処方
2018/04/23	適応外	ハイリスク薬	デキサート注射液1.65mg、6.6mg	産科	HELLP症候群による母体の症状改善目
2018/04/24	適応外	ハイリスク薬	レミケード	消化器内科	クロンカイト・カナダ病
2018/04/25	適応外	ハイリスク薬	アスピリン末	耳鼻咽喉科	抗血小板作用(タケルダの代替薬)
2018/04/27	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/04/27	適応外	ハイリスク薬	プレドニン錠5mg	産科	HELLP症候群による母体の症状改善目
2018/05/01	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/05/01	適応外	ハイリスク薬	レミケード	免疫・膠原病内科	ADA2欠損症に対して4mg/kg8週ごと投与中
2018/05/01	適応外	ハイリスク薬	リクシアナ	消化器内科	門脈血栓ステント留置中のため
2018/05/08	適応外	ハイリスク薬	ラミクタール錠	精神科神経科	うつ病患者に対するラモトリギンの使用
2018/05/08	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/05/09	適応外	ハイリスク薬	レミケード	免疫・膠原病内科	seronegative 多発性関節炎に対して使
2018/05/10	適応外	ハイリスク薬	アスピリン末	脳神経外科	もやもや病の虚血発作予防
2018/05/10	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/05/11	適応外	ハイリスク薬	レミケード	消化器内科	潰瘍性大腸炎に9mg/kg6週ごと投与中
2018/05/11	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	妊娠高血圧症候群の予防、胎児発育不全への使用
2018/05/14	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/05/14	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	肝胆膵移植外科	摘脾後の血小板増多
2018/05/15	適応外	ハイリスク薬	セルセプトカプセル250mg	血液内科	造血幹細胞移植後のGVHD予防
2018/05/15	適応外	ハイリスク薬	プレセデックス静注液200μg	肝胆膵移植外科	術後せん妄
2018/05/16	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	呼吸器内科	膵臓摘出後の血小板高値
2018/05/17	適応外	ハイリスク薬	ルセフィ錠2.5mg	循環器内科	肥満症に対するSGLT2阻害薬の使用
2018/04/17	適応外	その他	ウロキナーゼ	呼吸器外科	線維素溶解方法
2018/04/18	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/04/19	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/04/19	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/04/19	適応外	その他	ビオスリー配合散	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/04/23	適応外	その他	アルチバ静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/04/23	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/04/23	適応外	その他	オプソ	呼吸器内科	呼吸苦に対するオプソの使用
2018/04/24	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/04/24	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/04/25	適応外	その他	アロプリノール	消化器内科	アザチオプリン作用増強目的
2018/04/25	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防

禁忌・未承認・適応外DB集計20180417～20180518

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/04/25	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/04/27	適応外	その他	ビソノテープ	呼吸器外科	頻脈コントロール
2018/05/01	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/05/01	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/05/01	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/01	適応外	その他	オランザピン錠2.5mg	泌尿器科	オピオイド開始に伴う悪心予防
2018/05/02	適応外	その他	オプソ内服液5mg	呼吸器内科	呼吸苦
2018/05/02	適応外	その他	ビオスリー配合散	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/05/02	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/05/07	適応外	その他	ビオスリー配合散	産科	腸内細菌叢の改善による流産予防
2018/05/07	適応外	その他	ダイアモックス注500mg	脳神経外科	もやもや病の脳循環予備能検査
2018/05/07	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/08	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/08	適応外	その他	アミノレバン点滴静注 500mL	産科	子宮内胎児発育不全に対する胎児の発育促進目的
2018/05/08	適応外	その他	ダイアモックス注500mg	脳神経外科	もやもや病の脳循環予備能検査
2018/05/08	適応外	その他	フィブリノゲンHT静注用1g	産科	産科危機的出血患者へのフィブリノゲン急速補充
2018/05/08	適応外	その他	ルネスタ錠3mg	精神神経科	不眠の高齢者(71歳)患者に対してルネスタ錠3mg処方。
2018/05/09	適応外	その他	コルヒチン	眼科	Behçet病に対する使用
2018/05/09	適応外	その他	グリセレブ配合点滴静注 200mL	耳鼻咽喉科	グリセロールテスト
2018/05/10	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/10	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/10	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/10	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/05/11	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/11	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流産に対する子宮収縮抑制目的
2018/05/11	適応外	その他	アミノレバンEN配合散	産科	子宮内胎児発育不全に対する胎児の発育促進目的
2018/05/11	適応外	その他	リーバクト配合顆粒	産科	子宮内胎児発育不全に対する胎児の発育促進目的
2018/05/11	適応外	その他	ブリカニール皮下注0.2mg	産科	子宮頸管縫縮術に伴う子宮収縮抑制目
2018/05/11	適応外	その他	ミラクリッド注射液10万単位	産科	膣内洗浄、サイトカイン産生抑制による子宮収縮抑制
2018/05/11	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	子宮収縮抑制
2018/05/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/05/12	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	子宮収縮抑制
2018/05/14	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/05/14	適応外	その他	カルボカインアンプル注2% 10mL	産科	会陰切開時の表面麻酔として使用
2018/05/14	適応外	その他	アルチバ静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/05/14	適応外	その他	硫酸アトロピン注	婦人科	イリノテカンの早発性下痢予防
2018/05/15	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着
2018/05/15	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/15	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/16	適応外	その他	マグセント注100mL	産科	早産の可能性が非常に高い場合の児の神経保護目的
2018/05/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/05/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/05/16	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2018/05/17	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/17	適応外	その他	タンデトロン	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2018/04/26	禁忌適応外	その他	インテバン坐剤25mg	産科	子宮収縮抑制目的
2018/04/27	禁忌適応外	その他	アトニン-O注5単位とプロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への対応

禁忌・未承認・適応外DB集計20180417～20180518

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/05/08	禁忌適応外	その他	ｱﾄﾆﾝｰO注5単位＋ﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝ・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/04/19	禁忌	ハイリスク薬	アクトス（ピオグリダゾン）	糖尿病内分泌栄養内科	心不全の既往あるが、ピオグリダゾン使用
2018/04/20	禁忌	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/04/23	禁忌	ハイリスク薬	タケルダ配合錠	眼科	硝子体出血患者への抗血栓薬使用
2018/04/23	禁忌	ハイリスク薬	スピロノラクトン・プログラフ	肝胆膵移植外科	スピロノラクトン（腹水貯留）・グラセプター（肝移植後）
2018/04/24	禁忌	ハイリスク薬	シベノール錠	呼吸器内科	シベノール　緑内障に対して禁忌
2018/04/25	禁忌	ハイリスク薬	グリコラン	婦人科	2型糖尿病
2018/04/26	禁忌	ハイリスク薬	ゼプリオン	精神科神経科	腎機能低下患者に対するゼプリオン使
2018/04/26	禁忌	ハイリスク薬	プログラフ、アルダクトンA	小児外科	上記薬剤の併用
2018/05/01	禁忌	ハイリスク薬	リクシアナ錠30mg	循環器内科	心房細動（腎不全患者に対する30mgの使用）
2018/05/16	禁忌	ハイリスク薬	アクトス錠15 15mg	糖尿病内分泌栄養内科	心不全の既往あるが、アクトス使用
2018/05/17	禁忌	ハイリスク薬	デキサート注射液6.6mg、デカドロン錠4mg	呼吸器内科	化学療法に伴う嘔気予防
2018/04/18	禁忌	その他	コソプト配合点眼液	眼科	喘息既往・眼圧下降目的にコソプト使用
2018/04/20	禁忌	その他	フルニトラゼパム錠2mg、トリアゾラム錠0.125mg、ロフラゼプ酸エチル錠1mg	精神科	緑内障患者に対して近医精神科より上記薬剤が処方され、長期にわたって眠前内服されていたことが発覚。
2018/04/23	禁忌	その他	マグコロールP	肝胆膵移植外科	TACE前日の腸内内容物除去
2018/04/27	禁忌	その他	グルコンサンKとセララ	呼吸器内科	高血圧に対しセララ、低Kに対しグルコンサンK
2018/05/08	禁忌	その他	セララ錠50mg	循環器内科	重度の腎機能障害患者に対する使用
2018/05/14	禁忌	その他	セララ錠50mg	糖尿病内分泌栄養内科	セララ錠50mgをカリウム製剤と併用（高血圧に対して使用）

禁忌･未承認･適応外DB集計20180519～20180621

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/05/23	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン/ドセタキセル	腫瘍内科	平滑筋肉腫に対してGEM/DOC
2018/05/30	適応外	抗がん剤	シタラビン	血液内科	ランゲルハンス組織球症
2018/05/30	適応外	抗がん剤	オンコビン点滴静注	血液内科	ランゲルハンス組織球症
2018/06/06	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、イホマイド、シスプラチン	泌尿器科	陰茎癌に対する化学療法
2018/06/07	適応外	抗がん剤	注射用メソトレキセート50mg	産科	異所性妊娠の治療
2018/06/07	適応外	抗がん剤	イマチニブ錠	皮膚科	尋常性天疱瘡の治療目的
2018/06/11	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳がん
2018/06/12	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺癌に対する化学療法
2018/06/12	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	皮膚科	再発外陰部パジェット病に対する緩和的治療目的
2018/06/13	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	皮膚科	陰嚢パジェット病再発に対する治療
2018/05/18	適応外	ハイリスク薬	アタラックスPカプセル	皮膚科	嘔気対策について
2018/05/21	適応外	ハイリスク薬	ハロマンス注+ハロペリドール内	婦人科	統合失調症治療
2018/05/21	適応外	ハイリスク薬	エクセグラン散20%	初期救急診療科	パーキンソン病
2018/05/24	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/05/25	適応外	ハイリスク薬	プレセデックス静注液200μg	脳神経外科	もやもや病小児例に対して、検査時および周術期に鎮静目的に使用
2018/05/25	適応外	ハイリスク薬	グラセプターカプセル	呼吸器内科	間質性肺炎、慢性GVHDに対して使用
2018/05/28	適応外	ハイリスク薬	シロスタゾールOD錠50mg	脳神経外科	もやもや病に伴う脳虚血発作予防
2018/05/30	適応外	ハイリスク薬	プラビックス錠75mg	神経内科	脳梗塞急性期に初日のみプラビックス錠300mgでローディング。以降75mgに減
2018/05/30	適応外	ハイリスク薬	セルセプトカプセル250mg	血液内科	造血幹細胞移植後のGVHD予防
2018/05/30	適応外	ハイリスク薬	デジレル錠25mg	糖尿病内分泌栄養内科	不眠
2018/05/30	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	抗リン脂質抗体症候群疑いの妊婦に対する妊娠予後改善目的
2018/06/05	適応外	ハイリスク薬	プログラフ注射液2mg 0.4mL	呼吸器内科	間質性肺炎急性増悪
2018/06/05	適応外	ハイリスク薬	デジレル錠25mg、リスペリドン0.5mL	呼吸器内科	不眠
2018/06/06	適応外	ハイリスク薬	アスピリン末	脳神経外科	小児もやもや病にたいする抗血栓作用
2018/06/07	適応外	ハイリスク薬	デキサート注射液1.65mg、6.6mg	産科	HELLP症候群による母体の症状改善目
2018/06/08	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/06/08	適応外	ハイリスク薬	バファリン配合錠A81	呼吸器外科	本態性振戦
2018/06/11	適応外	ハイリスク薬	エフィエント錠20mg、3.75mg	脳神経外科	多発脳動脈瘤に対する血流変更ステント留置に伴う抗血栓目的
2018/06/14	適応外	ハイリスク薬	シベノール錠100mg	循環器内科	閉塞性肥大型心筋症治療
2018/06/14	適応外	ハイリスク薬	イグザレルト錠10mg	循内	肺塞栓治療
2018/06/14	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/06/20	適応外	ハイリスク薬	セルセプト	血液内科	造血幹細胞移植時のGVHD予防
2018/06/20	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/05/21	適応外	その他	メキシレチン	呼吸器外科	神経障害性疼痛
2018/05/21	適応外	その他	ビオスリー配合散	産科	腸内細菌叢の改善による流産予防
2018/05/21	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2018/05/22	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/22	適応外	その他	リコモジュリン点滴静注用12800	呼吸器内科	間質性肺炎急性増悪に対する治療
2018/05/23	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/23	適応外	その他	ビクロックス点滴静注250mg	眼科	急性網膜壊死
2018/05/23	適応外	その他	バラシクロビル錠500mg	眼科	急性網膜壊死
2018/05/24	適応外	その他	セレコックス	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/05/24	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2018/05/24	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/24	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/05/25	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	頚管縫縮術時の子宮筋の弛緩目的
2018/05/25	適応外	その他	ミラクリッド注射液10万単位	産科	膣内洗浄、サイトカイン産生抑制による子宮収縮抑制
2018/05/28	適応外	麻薬	アルチバ静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/05/28	適応外	麻薬	オプソ内服液5mg 2.5mL	神経内科	ALSによる呼吸苦
2018/05/28	適応外	麻薬	アルチバ静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/05/28	適応外	その他	ラニチジン、ファモチジン	脳神経外科	痒み

禁忌・未承認・適応外DB集計20180519～20180621

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/05/29	適応外	その他	リコモジュリン点滴静注用12800	呼吸器内科	間質性肺炎急性増悪に対する治療
2018/05/29	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/29	適応外	麻薬	アルチバ静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/05/30	適応外	その他	リン酸ナトリウム補正液	NICU	リンの経口補給
2018/05/31	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/06/04	適応外	その他	コルヒチン	眼科	Behçet病に対する使用
2018/06/04	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着
2018/06/04	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/04	適応外	その他	ベタナミン錠	形成外科	ノルスパンによる眠気の改善
2018/06/04	適応外	その他	ノルスパンテープ20mg	形成外科	右坐骨褥瘡に対する創部痛に対する鎮痛目的
2018/06/04	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/06/04	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/06/05	適応外	その他	オクトレオチド	NICU	先天性乳び胸
2018/06/05	適応外	その他	サムスカ錠7.5mg	循環器内科	心不全に対し、サムスカ1日30mg服用
2018/06/05	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/06/05	適応外	麻薬	オプソ内服液5mg	呼吸器内科	呼吸苦
2018/06/05	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/05	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/06	適応外	その他	マグセント注100mL	産科	早産の可能性が非常に高い場合の児の神経保護目的
2018/06/06	適応外	その他	アミノレバン点滴静注 500mL	産科	子宮内胎児発育不全に対する胎児の発育促進目的
2018/06/06	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/06	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/06/06	適応外	その他	コルヒチン	脳神経外科	ベーチェット病（本人より申告あり）
2018/06/07	適応外	その他	カルチコール注射液8.5%	産科	マグネシウム中毒の症状緩和目的
2018/06/07	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/07	適応外	その他	リリカOD錠	脳神経外科	慢性咳嗽
2018/06/08	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/08	適応外	麻薬	MSコンチン、オプソ	呼吸器内科	咳嗽、呼吸苦に対してオプソ、MSコンチン使用
2018/06/11	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/12	適応外	その他	ミノマイシン	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/06/12	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/12	適応外	その他	PPSB-HT	心臓血管外科	ワーファリン使用患者の拮抗
2018/06/13	適応外	その他	アタラックス-P注射液(25mg/ml) 2.5%1mL	消化管外科	不眠
2018/06/14	適応外	その他	ゲンタマイシン注40mg	脳神経外科	脳室炎、脳炎、硬膜外膿瘍に対する抗菌薬髄注
2018/06/14	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/06/14	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PAの使用
2018/06/14	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/14	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/15	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/19	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/06/19	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/06/19	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/20	適応外	その他	マーカイン注脊麻用0.5%等比重4mL	泌尿器科	間質性膀胱炎、BCG関連萎縮膀胱に伴う疼痛管理目的
2018/06/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/06/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制

禁忌・未承認・適応外DB集計20180519～20180621

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/06/20	適応外	その他	ドグマチール錠50mg	産科	母乳分泌促進目的
2018/06/20	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/06/20	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/05/24	適応外禁忌	その他	インテバン坐剤25mg	産科	頸管縫縮術後の子宮収縮抑制目的
2018/05/24	禁忌 適応外	その他	インテバン坐剤25mg	産科	頸管縫縮術後の子宮収縮抑制目的
2018/06/11	禁忌適応外	その他	ﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝ・F注とｱﾄﾆﾝO注の併	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/05/23	禁忌	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg プラビックス錠75mg	眼科	硝子体出血時の抗血栓薬使用
2018/05/23	禁忌	ハイリスク薬	イグザレルト錠15mg	眼科	硝子体出血中の抗血栓薬内服
2018/05/30	禁忌	ハイリスク薬	リンデロン錠0.5mg	脳神経外科	脳腫瘍に対する抗浮腫目的 ：緑内障患
2018/06/20	禁忌	ハイリスク薬	プログラフ＋スピロノラクトン	肝胆膵	プログラフとスピロノラクトンの併用
2018/04/23	禁忌	その他	マグコロールP	肝胆膵移植外科	TACE前日の腸内内容物除去
2018/04/27	禁忌	その他	グルコンサンKとセララ	呼吸器内科	高血圧に対しセララ、低Kに対しグルコンサンK
2018/05/08	禁忌	その他	セララ錠50mg	循環器内科	重度の腎機能障害患者に対する使用
2018/05/14	禁忌	その他	セララ錠50mg	糖尿病内分泌栄養内科	セララ錠50mgをカリウム製剤と併用（高血圧に対して使用）
2018/05/21	禁忌	その他	ボルタレンサポ50mg	産科	妊娠反応陽性患者の下腹部痛に対する鎮痛
2018/05/21	禁忌	その他	イコサペント酸エチル粒状カプセル600mg	眼科	内境界膜下出血中の抗血栓薬使用
2018/05/23	禁忌	その他	サンピロ点眼液2%	眼科	妊婦に対して緑内障手術後に使用
2018/05/25	禁忌	その他	スピロノラクトン・プログラフ	肝胆膵移植外科	スピロノラクトン（腹水貯留）・プログラフ（肝移植後）
2018/05/31	禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	高血圧合併妊娠初期の血圧ｺﾝﾄﾛｰﾙj不
2018/06/11	禁忌	その他	ペレックス配合顆粒	眼科	緑内障患者に対する風邪薬
2018/06/11	禁忌	その他	ケーサプライ・セララ	肝胆膵移植外科	肺高血圧、低K血症
2018/06/11	禁忌	その他	プログラフ・スピロノラクトン	肝胆膵移植外科	胸水貯留・肝移植後
2018/06/13	禁忌	その他	コソプト配合点眼液	糖尿病内分泌栄養内科	気管支喘息（病名登録）患者にコソプト使用
2018/04/20	禁忌	その他	フルニトラゼパム錠2mg、トリアゾラム錠0.125mg、ロフラゼプ酸エチル錠1mg	精神科	緑内障患者に対して近医精神科より上記薬剤が処方され、長期にわたって眠前内服されていたことが発覚。

禁忌・未承認・適応外DB集計20180622～20180719

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/06/27	適応外	抗がん剤	シスプラチン	消化器内科	HCCにHAIC(肝動脈注化学療法)
2018/06/29	適応外	抗がん剤	パクリタキセル・カルボプラチン	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺癌に対する化学療法
2018/06/29	適応外	抗がん剤	タグリッソ80mg	呼吸器内科	髄液移行を期待して160mg/日で使用
2018/07/05	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	消化器内科	クローン病治療
2018/07/09	適応外	抗がん剤	ロイケリン散10%	消化器内科	大動脈炎症候群 腸管病変、潰瘍性大腸
2018/07/11	適応外	抗がん剤	ヴォトリエント	産科・婦人科	子宮肉腫に対する治療目的
2018/07/11	適応外	抗がん剤	パクリタキセル	皮膚科	乳房外パジェット治療
2018/07/12	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	皮膚科	有棘細胞癌に対する治療
2018/07/17	適応外	抗がん剤	エクザール、メソトレキセート	整形外科	デスモイド線維腫症
2018/07/18	適応外	抗がん剤	アリムタ注射用	呼吸器内科	胸腺腫に対するPEM療法
2018/06/27	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/06/27	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/06/28	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/06/28	適応外	ハイリスク薬	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対する治療に対し、クロピドレルローディング
2018/07/02	適応外	ハイリスク薬	イムラン、アロプリノール	消化器内科	イムランの血中濃度を上げるためにアロプリを使用
2018/07/02	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/07/02	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/07/02	適応外	ハイリスク薬	セルセプトカプセル	血液内科	造血幹細胞移植におけるGVHD予防
2018/07/05	適応外	ハイリスク薬	メトホルミン、ピオグリダゾン	循環器内科	1型糖尿病に対するﾒﾄﾎﾙﾐﾝの使用
2018/07/06	適応外	ハイリスク薬	バファリン配合錠A81	産科	死産歴のある患者への流死産予防目的
2018/07/06	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	流産予防
2018/07/09	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/07/09	適応外	ハイリスク薬	エフィエント錠	脳神経外科	脳動脈中FD術時の抗凝固目的
2018/07/10	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/07/11	適応外	ハイリスク薬	レミケード	整形外科	潰瘍性大腸炎に5mg/kgを6週おきに使
2018/07/02	適応外	麻薬	オキノーム散5mg	免疫内	CRMOの疼痛コントロール
2018/07/09	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/07/09	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/06/25	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/25	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/06/25	適応外	その他	ブリカニール皮下注0.2mg	産科	妊娠16週未満の切迫流産症例に対する子宮収縮抑制および流産予防
2018/06/27	適応外	その他	プレセデックス	小児外科	添付文書の上限量を超えての使用
2018/06/27	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/06/27	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/06/28	適応外	その他	オビソート注	皮膚科	無汗症診断目的
2018/06/28	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2018/07/03	適応外	その他	アリセプトD錠3mg	脳神経内科	PDの幻視、幻聴症状に対して使用
2018/07/03	適応外	その他	ホスカビル注	皮膚科	CMV腸炎
2018/07/04	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/06	適応外	その他	エクセグラン錠100mg	脳神経内科	他剤で改善みられない運動症状に対して使用。
2018/07/06	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/06	適応外	その他	ﾍﾊﾟﾘﾝCa皮下注2万単位/0.8mL	産科	流産予防
2018/07/09	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/09	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/10	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/10	適応外	その他	タケキャブ錠20mg	整形外科・消化器内科	十二指腸潰瘍に対し6週間以上の継続(9週間)
2018/07/11	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防

禁忌・未承認・適応外DB集計20180622～20180719

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/07/12	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/17	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/17	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/07/17	適応外	その他	フラジール内服錠250mg(軟膏と混合)	皮膚科	悪性黒色腫 右腕部 自壊部の出血・悪臭の対応
2018/07/18	適応外	その他	インデラル錠10mg	産科	甲状腺クリーゼの予防
2018/07/18	適応外	その他	ラベタロール塩酸塩錠50mg	産科	甲状腺クリーゼの予防
2018/07/18	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/07/18	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/07/11	禁忌適応外	ハイリスク薬	デキサート注射液6.6mg	産科	HELLP症候群による母体の症状改善目
2018/07/09	禁忌適応外	その他	アトニン-O注5単位＋プロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/07/03	禁忌適応外	その他	アトニン-O注5単位＋プロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/07/10	禁忌適応外	その他	アトニン-O注5単位とプロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/07/11	禁忌	ハイリスク薬	パーキネス錠2 2mg	眼科	緑内障患者に対するパーキネス(抗コリン薬)の使用
2018/07/04	禁忌	その他	アスパラギン酸カリウム	救急科	低カリウム補正
2018/07/09	禁忌	その他	プロポフォール	脳外科・麻酔科	
2018/07/12	禁忌	その他	フランドル錠20mg	眼科	閉塞隅角緑内障患者に対するフランドル錠の使用
2018/07/17	禁忌	その他	プログラフ・スピロノラクトン	肝胆膵外科	スピロノラクトン(腹水貯留)・プログラフ(肝移植後)

禁忌・未承認・適応外DB集計20180720～20180820

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/07/26	適応外	抗がん剤	オプジーボ	皮膚科	化学療法未治療の悪性黒色腫
2018/07/27	適応外	抗がん剤	イリノテカン	腫瘍内科	小腸腫瘍に対するFOLFIRI療法
2018/08/02	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン・ドセタキセル	産科・婦人科	子宮肉腫に対する治療
2018/08/02	適応外	抗がん剤	アブラキサン	がん診療部	小細胞肺癌に対する治療
2018/08/09	適応外	抗がん剤	注射用メソトレキセート50mg	産科	異所性妊娠に対する治療
2018/08/10	適応外	抗がん剤	リツキサン注10mg/mL	泌尿器科	腎移植後の慢性抗体関連拒絶に対して
2018/08/20	適応外	抗がん剤	パクリタキセル・シスプラチン	婦人科	妊婦に対しての術後補助療法
2018/07/20	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	不育症に対する妊娠予後の改善目的
2018/07/20	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/07/24	適応外	ハイリスク薬	エクセグラン	脳神経内科	パーキンソン治療目的でのエクセグラン使用
2018/07/24	適応外	ハイリスク薬	デパケンR錠200mg	精神科神経科	統合失調症患者に対するバルプロ酸処
2018/07/24	適応外	ハイリスク薬	エフィエント	脳神経外科	ステント併用コイル閉塞術に対する抗血栓目的
2018/07/24	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	妊娠高血圧腎症の予防
2018/07/26	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着
2018/07/27	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/07/30	適応外	ハイリスク薬	リウマトレックスカプセル2mg	循環器内科	サルコイドーシス
2018/07/30	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/08/01	適応外	ハイリスク薬	トピナ錠50mg	精神科神経科	抗精神病薬の体重増加に対して
2018/08/06	適応外	ハイリスク薬	フロリネフ	脳神経内科	低血圧症状に対して使用
2018/08/08	適応外	ハイリスク薬	セルセプトカプセル250mg	血液内科	造血幹細胞移植におけるGVHD予防
2018/08/08	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/08/08	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/08/13	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/08/13	適応外	ハイリスク薬	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	DAPT開始の初日にクロピドグレル300mgでローディング
2018/08/15	適応外	ハイリスク薬	フィコンパ錠2mg	小児科	てんかん発作コントールに対して
2018/08/17	適応外	ハイリスク薬	アスピリン末	脳外科	抗血小板作用を目的に低用量使用
2018/08/17	適応外	ハイリスク薬	セルセプトカプセル250mg	血液内科	造血幹細胞移植におけるGVHD予防
2018/08/17	適応外	ハイリスク薬	バファリン配合錠A81	産科	妊娠予後の改善
2018/08/17	適応外	ハイリスク薬	フィコンパ	脳外科	てんかん
2018/07/25	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/08/06	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/08/13	適応外	麻薬	オプソ内服液5mg	呼吸器内科	呼吸困難感に対するオプソ内服液5mgの使用
2018/08/15	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の陣痛緩和
2018/07/20	適応外	その他	ヘパリンカルシウム皮下注5千U/0.2mLシリンジ	産科	不育症に対する妊娠予後の改善目的
2018/07/23	適応外	その他	ラグノスゼリー	皮膚科	麻薬使用時の便秘コントロール目的
2018/07/23	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PAの使用
2018/07/23	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/07/23	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/23	適応外	その他	ヨウカカリウム丸50mg	皮膚科	結節性紅斑に対して
2018/07/23	適応外	その他	コルヒチン	免疫内科	Behçet病に対する使用（免疫膠原病内
2018/07/23	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/07/23	適応外	その他	ヨウ化カリウム丸	皮膚科	結節性紅斑
2018/07/24	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/25	適応外	その他	プロプラノロール塩酸塩錠10mg	眼科	手の震えに対するプロプラノロール使用
2018/07/25	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/25	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/07/25	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/07/25	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/07/25	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/07/25	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/07/25	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/07/25	適応外	その他	ミラクリッド注射液10万単位	産科	切迫早産時の腟内洗浄、サイトカインの産生抑制し早産予防

禁忌・未承認・適応外DB集計20180720～20180820

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/07/25	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	頚管縫縮時の子宮筋弛緩目的
2018/07/25	適応外	その他	イメンドカプセル	免疫膠原病内科	エンドキサン直後の吐き気にアロキシに追加
2018/07/25	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎治療目的
2018/07/26	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/26	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/07/26	適応外	その他	フィブリノゲンHT	血液内科	化学療法時のFIB低下に対して使用
2018/07/27	適応外	その他	バラシクロビル錠500mg	眼科	急性網膜壊死
2018/07/27	適応外	その他	ラグノスゼリー	消化管外科	麻薬使用時の便秘コントロール
2018/07/27	適応外	その他	デジレル25mg	消化管外科	易せん妄状態、不眠
2018/07/30	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/07/30	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/30	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/07/31	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/01	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/01	適応外	その他	サムスカ錠15mg	循環器内科	心不全適応で使用中。15mg/日で使用していたがさらなる効果を期待して7/27より30mg/日に増量。
2018/08/01	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/08/03	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/08/03	適応外	その他	ニコチン酸アミド散10%	皮膚科	水疱性類天疱瘡治療
2018/08/03	適応外	その他	ニコチン酸アミド散10%	皮膚科	水疱性類天疱瘡治療
2018/08/06	適応外	その他	ユベラN	皮膚科	円形脱毛症に対する治療、症状緩和
2018/08/07	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/08/07	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/07	適応外	その他	ロキソニンゲル1%	皮膚科	ダリエー病治療
2018/08/07	適応外	その他	グリチロン配合錠	皮膚科	円形脱毛症治療
2018/08/07	適応外	その他	献血グロベニン-I静注用5000mg	泌尿器科	腎移植前抗体除去目的？
2018/08/08	適応外	その他	ランプレンカプセル50mg	免疫膠原病内科	他剤にアレルギーが多数あるMAC症の治療
2018/08/09	適応外	その他	アナペイン注2mg/mL	産科	硬膜外無痛分娩での使用
2018/08/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/08/13	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PAの使用
2018/08/14	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/14	適応外	その他	ヘパリンカルシウム皮下注5千U/0.2mLシリンジ	産科	不育症に対する妊娠予後改善目的
2018/08/14	適応外	その他	ツムラ柴苓湯エキス顆粒	産科	不育症に対する妊娠予後の改善
2018/08/14	適応外	その他	コルヒチン	リウマチセンター（眼科入院）	皮膚型血管炎に対して使用
2018/08/15	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/08/16	適応外	その他	アミノレバン点滴静注 500mL	産科	子宮内胎児発育不全に対する胎児の発育促進目的
2018/08/16	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2018/08/16	適応外	その他	ビオスリー配合錠	産科	腸内細菌叢改善による切迫早産予防
2018/08/17	適応外	その他	ヘパリンカルシウム皮下注5千U/0.2mLシリンジ	産科	妊娠予後の改善
2018/08/17	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/08/17	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	頚管縫縮術時の子宮筋の弛緩目的
2018/08/17	適応外	その他	ミラクリッド注射液10万単位	産科	膣内洗浄、サイトカイン産生抑制による子宮収縮抑制
2018/08/17	適応外	その他	コルヒチン0.5mg	免疫膠原病内科	ベーチェット症候群
2018/08/17	適応外	その他	ミラペックスLA錠0.375mg	脳神経内科	コントロールに難渋しているパーキンソン病患者に対してミラペックスLA錠0.375mgを添付文書記載の用法用量である1日1回ではなく、1日3回投与。

禁忌・未承認・適応外DB集計20180720～20180820

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/07/25	適応外禁忌	その他	インテバン坐剤	産科	頸管縫縮術後の子宮収縮抑制目的
2018/07/30	禁忌適応外	その他	ﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝ・F注とｱﾄﾆﾝO注の併	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/08/17	禁忌適応外	その他	インテバン坐剤	産科	頸管縫縮術後の子宮収縮抑制目的
2018/08/04	禁忌	ハイリスク薬	シンビット注	循環器内科	不整脈のコントロール
2018/08/06	禁忌	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	眼科	硝子体出血中の抗血栓薬内服
2018/08/08	禁忌	ハイリスク薬	クエチアピン錠25mg	脳神経内科	2型糖尿病の既往あり、クエチアピン錠25mgは禁忌
2018/08/08	禁忌	ハイリスク薬	タクロリムスカプセル1mg	免疫膠原病内科	妊娠中のループス腎炎の加療
2018/07/24	禁忌	その他	リボトリール	脳神経内科	重症筋無力症疑いの患者でのリボトリール併用
2018/07/24	禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	妊娠20週未満での使用
2018/07/30	禁忌	その他	デノシン点滴静注用500mg	肝胆膵移植外科	血小板減少患者に対するGCV投与
2018/07/31	禁忌	その他	タベジール錠1mg	眼科	緑内障患者に対して禁忌
2018/08/03	禁忌	その他	センノシド錠12mg	産科	妊娠中の排便コントロール
2018/08/15	禁忌	その他	セララ錠50mg	循環器内科（眼科入院）	重度の腎機能障害患者に対する使用

禁忌・未承認・適応外DB集計20180821～20180918

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/08/31	未承認薬		シドフォビル	血液内科	出血性膀胱炎に対する膀胱内注入
2018/08/23	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	泌尿器科	去勢抵抗性前立腺がんに対する化学療
2018/09/04	適応外	抗がん剤	アブラキサン	呼吸器内科	小細胞肺がんの治療目的
2018/09/04	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	泌尿器科	シスプラチン不耐容膀胱癌患者に対する化学療法
2018/09/04	適応外	抗がん剤	パクリタキセル/カルボプラチン	腫瘍内科	原発不明癌の治療
2018/09/11	適応外	抗がん剤	シスプラチン	泌尿器科	陰茎癌に対するCDDP＋放射線療法「
2018/09/13	適応外	抗がん剤	ジカディアカプセル150mg	呼吸器内科	非小細胞肺癌治療
2018/08/22	適応外	ハイリスク薬	アムビゾーム	呼吸器外科	肺移植後の真菌感染予防
2018/08/23	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/08/23	適応外	ハイリスク薬	レミケード	消化器内科	潰瘍性大腸炎に6mg/kgを7週おき投与
2018/08/23	適応外	ハイリスク薬	ノリトレン錠	整形外科	神経障害性疼痛の緩和
2018/08/24	適応外	ハイリスク薬	デキサート注射液1.65mg	産科	HELLP症候群による母体の症状改善目
2018/08/27	適応外	ハイリスク薬	オランザピン2.5mg錠	乳腺外科	嘔気に対して（抗がん剤使用は無し）
2018/08/29	禁忌 適応外	ハイリスク薬	バファリン配合錠A81 81mg	産科	妊娠高血圧症候群の発症予防
2018/08/30	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/08/31	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/09/04	適応外	ハイリスク薬	アザニン錠50mg	皮膚科	後天性表皮水疱症治療目的
2018/09/04	適応外	ハイリスク薬	エクセグラン錠100mg	脳神経内科	パーキンソン病患者の運動障害の改善
2018/09/05	適応外	ハイリスク薬	リツキサン	小児科	AIHAに対する治療目的
2018/09/06	適応外	ハイリスク薬	シクレスト舌下錠	救急科	夜間せん妄症状改善
2018/09/10	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/09/13	適応外	ハイリスク薬	デキサート注射液1.65mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/09/18	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/09/18	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/08/23	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/09/03	適応外	麻薬	モルヒネ塩酸塩錠10mg	呼吸器内科	呼吸困難感に対するモルヒネ塩酸塩錠の使用
2018/09/03	適応外	麻薬	モルヒネ塩酸塩注	放射線治療科	呼吸困難感の軽減
2018/09/07	適応外	麻薬	ケタラール静注用200mg	救急科	受傷後の他剤でコントロール不能の痛みに対して
2018/09/10	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/09/13	適応外	麻薬	MSコンチン錠、オプソ内用液	呼吸器内科	咳嗽・呼吸困難
2018/08/21	適応外	その他	ブリカニール皮下注	産科	妊娠16週未満の切迫流産症例に対する子宮収縮抑制および流産予防
2018/08/21	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/08/21	適応外	その他	クレキサン	産科	腹部手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制（術後24時間以内の使
2018/08/21	適応外	その他	クレキサン	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/22	適応外	その他	プレマリン	産科・婦人科	止血目的でプレマリン錠0.625mg 1回4錠 1日4回
2018/08/22	適応外	その他	ロキソプロフェン細粒	心外	術後疼痛に対して
2018/08/22	適応外	その他	タンデトロン	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2018/08/22	適応外	その他	クレキサン	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/23	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/08/23	適応外	その他	フィブリノゲンHT静注用1g	産科	産科危機的出血患者へのフィブリノゲン急速補充
2018/08/23	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/23	適応外	その他	ロキソニン錠60mg		夜間頻尿に対するロキソニン内服
2018/08/24	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/24	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/08/24	適応外	その他	アタラックス-P注射液(25mg/ml) 2.5%1mL	消化管外科	不眠
2018/08/24	適応外	その他	ケナコルトA筋注	皮膚科	ダリエー病の角化障害に対して
2018/08/27	適応外	その他	フィブリノゲンHT静注用1g	産科	産科危機的出血患者へのフィブリノゲン急速補充
2018/08/27	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/27	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的

禁忌・未承認・適応外DB集計20180821～20180918

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/08/27	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/27	適応外	その他	アイピーディカプセル	整形外科	間質性膀胱炎
2018/08/29	適応外	その他	献血グロベニン-I静注用5000mg 5g100mL(溶解液付)	泌尿器科	腎移植後の慢性抗体関連性拒絶反応の抑制
2018/08/29	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/08/29	適応外	その他	ミラクリッド注射液10万単位	産科	膣内洗浄、サイトカイン産生抑制による子宮収縮抑制
2018/08/29	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/08/30	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/30	適応外	その他	ﾌﾗﾝﾄﾞﾙﾃｰﾌﾟ	免疫膠原病内科	強皮症の手指の虚血治療目的
2018/08/30	適応外	その他	ピレチア錠25mg	産科	悪阻から継続する吐き気に対する制吐
2018/08/31	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/03	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/09/05	適応外	その他	ホスカビル	呼吸器外科	サイトメガロウイルス感染症
2018/09/05	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/07	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/09/10	適応外	その他	点滴静注ホスカビル	免疫膠原病内科	デノシンでの肝障害疑いでサイトメガロウイルス感染患者
2018/09/10	適応外	その他	ゾルピデムOD錠5mg	脳神経内科	ジストニアに対してゾルピデム5mg 定期内服
2018/09/10	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/10	適応外	その他	ロキソプロフェンNa錠60mg	眼科	夜間頻尿（内科の開業医より）
2018/09/11	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/11	適応外	その他	リザベンカプセル100mg	歯科口腔外科	歯科口腔外科領域での術後瘢痕に使用
2018/09/12	適応外	その他	ミノサイクリン	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/09/12	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/12	適応外	その他	献血グロベニンI	泌尿器科	生体腎移植後慢性抗体関連拒絶の治療
2018/09/13	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/13	適応外	その他	タンデトロン	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2018/09/13	適応外	その他	タンデトロン	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2018/09/18	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/18	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/08/21	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢改善による切迫早産予防
2018/08/23	禁忌適応外	その他	ﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝ・F注とｱﾄﾆﾝO注の併	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/08/27	禁忌適応外	その他	ﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝ・F注とｱﾄﾆﾝO注の併	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/08/29	禁忌適応外	その他	インテバン坐剤25mg	産科	頸管縫縮術後の子宮収縮抑制目的
2018/08/24	禁忌	ハイリスク薬	クエチアピン錠25mg	肝胆膵移植外科	糖尿病禁忌薬だが糖尿病既往あり
2018/08/21	禁忌	その他	マイスリー錠5mg	眼科	急性狭隅角発作のためマイスリー内服
2018/08/29	禁忌	その他	塩酸リルマザホン錠2mg	乳腺外科	重症筋無力症患者における不眠に対し
2018/09/05	禁忌	その他	デノシン	血内	血小板減少患者に対するデノシン投与

禁忌・未承認・適応外DB集計20180918-20181015

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/09/10	適応外	抗がん剤	シスプラチン	消化器内科	HCCに対する治療(肝動注)
2018/09/18	適応外	抗がん剤	イマチニブ錠100mg	皮膚科	水疱性類天疱瘡治療
2018/09/20	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌に対するドセタキセル100mg/㎡の使用
2018/09/21	適応外	抗がん剤	アブラキサン	がん診療部	小細胞肺癌
2018/09/26	適応外	抗がん剤	テモゾロミド	脳神経外科	視床神経膠腫の治療
2018/09/27	適応外	抗がん剤	アブラキサン、カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺癌に対するnabPAC/CBDCA療法
2018/09/27	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	呼吸器内科	胸腺癌に対するドセタキセル療法
2018/09/28	適応外	抗がん剤	ロイケリン散10%	消化器内科	潰瘍性大腸炎の治療
2018/10/01	適応外	抗がん剤	ﾋﾞﾉﾚﾙﾋﾞﾝ、ｹﾞﾑｼﾀﾋﾞﾝ	腫瘍内科	原発不明癌(悪性胸膜中皮腫)に対するVNR/GEM療法
2018/10/01	適応外	抗がん剤	エスワンタイホウ配合カプセルT20	京都警察病院外科	右乳癌再発の治療目的で、エスワンタイホウ配合カプセルT20 1回2cp 1日2回朝夕食後を月火水木金内服、土日休薬を繰り返す。休薬期間なし。
2018/10/02	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	整形外科	左膝窩部軟部腫瘍(粘液型脂肪肉腫)
2018/10/02	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	整形外科	左膝窩部軟部腫瘍(粘液型脂肪肉腫)
2018/10/04	適応外	抗がん剤	ドセタキセル【アルコール含有】	がん診療部	左局所進行乳癌に対する術前化学療法
2018/10/04	適応外	抗がん剤	パクリタキセル	皮膚科	乳房外パジェット病に対して
2018/10/15	適応外	抗がん剤	ロイケリン	消化器内科	クローン病治療目的
2018/09/19	適応外	ハイリスク薬	リクシアナ錠30mg	整形外科	人工膝関節単顆置換術における静脈血栓塞栓症の発症抑制
2018/09/19	適応外	ハイリスク薬	ﾒｿﾄﾚｷｾｰﾄ2.5mg	免疫膠原病内科	ベーチェット病　PSL＋CyAで効果不十分時
2018/09/19	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/09/19	適応外	ハイリスク薬	エクセグラン錠100mg	脳神経内科	パーキンソン病
2018/09/20	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/09/20	適応外	ハイリスク薬	イーケプラ錠500mg、250mg	脳神経内科	強直間代発作に対する単剤での使用
2018/09/27	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/09/28	適応外	ハイリスク薬	アザニン錠50mg	脳神経内科	重症筋無力症の治療
2018/10/02	適応外	ハイリスク薬	シムレクト	呼吸器外科	肺移植後の拒絶にたいして
2018/10/03	適応外	ハイリスク薬	ロナセン錠2mg	精神神経科	自閉症スペクトラム障害における易刺激性に対するロナセン錠2mgの使用
2018/10/04	適応外	ハイリスク薬	ﾘｳﾏﾄﾚｯｸｽ	免疫膠原病内科	再発多発筋膜炎
2018/10/05	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	妊娠高血圧腎症の予防
2018/10/05	適応外	ハイリスク薬	リクシアナ錠30mg	整形外科	人工関節単顆置換術における下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制
2018/10/09	適応外	ハイリスク薬	レミケード点滴静注用100 100mg	呼吸器内科	難治性サルコイドーシス
2018/10/09	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/10/10	適応外	ハイリスク薬	テグレトール細粒50%	脳神経内科	ミトコンドリア脳筋症に伴う痙攣発作抑制目的に上限量突破して使用。
2018/10/15	適応外	ハイリスク薬	エクセグラン錠100mg	脳神経内科	パーキンソン病
	適応外	ハイリスク薬	ﾘｳﾏﾄﾚｯｸｽｶﾌﾟｾﾙ2mg	免疫膠原病内科	成人ｽﾃｨﾙ病
2018/08/27	適応外	その他	ポリドカスクレロール3%	形成外科	胸部海綿状血管腫治療に対して
2018/09/17	適応外	その他	ロラゼパム錠0.5mg	泌尿器科	抗がん薬予測性嘔吐に対する制吐療法
2018/09/18	適応外	その他	ニコチン酸アミド散10%	救急科	類天疱瘡治療
2018/09/19	適応外	その他	プレセデックス注	腎臓内科	肝性脳症　不穏時の対応
2018/09/19	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/19	適応外	その他	タンデトロン	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2018/09/19	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/09/19	適応外	その他	サイレース錠2mg	循環器内科	睡眠導入
2018/09/20	適応外	その他	メキシレチン塩酸塩カプセル100mg	脳神経内科	ジストニアに対し、メキシレチン塩酸塩カプセル100mg
2018/09/20	適応外	その他	ｺﾙﾋﾁﾝ	免疫膠原病内科	ベーチェット病
2018/09/27	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/27	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/09/27	適応外	その他	ベストロン耳鼻科用1%	耳鼻咽喉科	人工器官の感染予防
2018/09/27	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/09/27	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的

禁忌・未承認・適応外DB集計20180918-20181015

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/09/27	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑下出血に対するtPAの使用
2018/09/27	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑下出血に対するtPAの使用
2018/09/28	適応外	その他	ブリカニール皮下注0.2mg	産科	妊娠13週の子宮頚管縫縮術に伴う子宮収縮抑制
2018/09/28	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/28	適応外	その他	サムスカ錠7.5mg	循環器内科	心不全に対し、サムスカ1日37.5mg服用
2018/09/28	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/28	適応外	その他	アロプリノール錠50mg	消化器内科	ロイケリンの血中濃度上昇目的
2018/09/28	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/09/28	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/09/28	適応外	その他	アミノレバン点滴静注 500mL	産科	子宮内胎児発育不全に対する胎児の発育促進目的
2018/10/01	適応外	その他	フィルグラスチム	呼吸器外科	好中球減少症
2018/10/02	適応外	その他	デスモプレシン注4協和	糖尿病内分泌栄養内科	DDAVP試験に使用
2018/10/02	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/10/02	適応外	その他	アラバ錠	血液内科	未-0235]BKウイルスによる出血性膀胱
2018/10/03	適応外	その他	アスピリン末	脳神経外科	小児もやもや病に対する低用量ASA使用目的
2018/10/04	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/10/09	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/10/10	適応外	その他	ノイキノン錠10mg	脳神経内科	うっ血性心不全症状抑制目的に上限量突破して使用。
2018/10/10	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/11	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/11	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/10/11	適応外	その他	タガメット錠200mg	小児科	PFAPA疑いにより内服
2018/10/12	適応外	その他	TAFRO症候群	免疫・膠原病	TAFRO症候群
2018/10/15	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/10/16	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/10/16	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/17	適応外	その他	ポプスカイン0.25%バッグ	救急科	外傷性肋骨骨折に対する硬膜外麻酔
2018/10/12	適応外	麻薬	ナルサス　ナルラピド	眼科	咳に対して使用
2018/09/19	禁忌	ハイリスク薬	グラセプターカプセル、スピロノラクトン錠	肝胆膵移植外科	上記2剤併用禁忌だが、浮腫治療のためスピロノラクトン併用中、K値は問題なし
2018/09/28	禁忌	その他	アムロジピンOD錠5mg	産科	高血圧合併妊娠に対する降圧目的
2018/10/04	禁忌	その他	スピロノラクトン	肝胆膵移植外科	プログラフと併用
2018/10/09	禁忌	その他	コロネル細粒83.3%	腎臓内科	腎不全の患者に対してコロネル細粒83.3%使用（禁忌）
2018/10/09	禁忌	その他	トランコロン	糖尿病内分泌栄養内科	前立腺肥大による排尿障害あるが、使用中
2018/10/16	禁忌	その他	スピリーバ2.5μgレスピマット60吸入	眼科	肺気腫に対して使用中

禁忌・未承認・適応外DB集計20181016-20181115

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/10/22	未承認薬	ハイリスク薬	シドフォビル	血液内科	ウイルス性出血性膀胱炎
2018/10/16	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	整形外科	右大腿骨遠位骨腫瘍
2018/10/16	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	整形外科	右大腿骨遠位骨腫瘍
2018/10/18	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	術後補助化学療法
2018/10/22	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	がん診療部	進行乳癌
2018/10/25	適応外	抗がん剤	アブラキサン、カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺癌に対するnabPAC/CBDCA療法
2018/10/29	適応外	抗がん剤	ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ	乳腺外科	乳癌
2018/10/29	適応外	抗がん剤	エスワンタイホウ配合OD錠T25	腫瘍内科	肝のう胞腺癌に対するエスワンタイホウの使用
2018/11/08	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	皮膚科	潰瘍性大腸炎治療目的
2018/11/12	適応外	抗がん剤	フルオロウラシル注	皮膚科	臀部有棘細胞癌　放射腺治療併用目的
2018/11/12	適応外	抗がん剤	シスプラチン注	皮膚科	臀部有棘細胞癌　放射線併用治療目的
2018/11/14	適応外	抗がん剤	エトポシド、カルボプラチン	泌尿器科	前立腺小細胞癌に対する化学療法
2018/11/16	適応外	抗がん剤	オプジーボ点滴静注	がん診療部	胸腺癌
2018/10/17	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/10/19	適応外	ハイリスク薬	レトロゾール錠2.5mg	産婦人科	採卵目的
2018/10/23	適応外	ハイリスク薬	リスパダール内用液1mg/mL	泌尿器科	オピオイドによる嘔気予防
2018/10/24	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/11/01	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠＋ヘパリンCa皮下注	産科	反復流産歴＋ﾌﾟﾛﾃｲﾝS活性(12)に対して妊娠予後改善目的に使用
2018/11/05	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器内科	胸膜癒着術
2018/11/12	適応外	ハイリスク薬	エフィエント錠20mg	脳外科	FD術前の抗凝固目的
2018/11/12	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	2018/11/6発症のBranch atheromatous disease(BAD)。発症48時間以内ということでスロンノン添付文書通り使用されていた。持続投与から間欠投与に投与量減量した時点で症状増悪。眞木Dr、綾木Drご相談のうえで11/10よりBAD増悪に対し、スロンノン60mg/48h持続投与再開。その後、適応外使用で40mg/24hで持続投与されることとなった。
2018/11/13	適応外	ハイリスク薬	注射用メソトレキセート50mg	産科	異所性妊娠に対する治療
2018/11/13	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	11/13未明発症の脳梗塞患者。スロンノンHI注添付文書用法用量をこえて、60mg 48h、40mg 48h、20mg 24hの持続投与を予定されている。
2018/11/13	適応外	ハイリスク薬	ネオーラル50mgカプセル	呼吸器内科	間質性肺炎
2018/11/16	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器内科	胸膜癒着目的
2018/10/24	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/11/08	適応外	麻薬	オプソ内服液5mg、MSコンチン	呼吸器内科	咳嗽・呼吸困難
2018/11/08	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/10/16	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/10/16	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/17	適応外	その他	ポプスカイン0.25%バッグ	救急科	外傷性肋骨骨折に対する硬膜外麻酔
2018/10/17	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/17	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/10/19	適応外	その他	クリアクター静注用40万	眼科	黄斑下出血に対するtPAの使用
2018/10/23	適応外	その他	ペンタサ錠500mg	消化器内科(眼科入院)	クロンカイト・カナダ症候群
2018/10/24	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/24	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/25	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/10/25	適応外	その他	アナペイン注2mg/mL	産科	硬膜外無痛分娩での使用
2018/10/26	適応外	その他	レキップCR錠2mg	脳神経内科	レキップCR錠2mg初回投与量4mgとなっており、4日後に8mgまで増量する予定。添付文書上は2mgから開始することとなっており、増量は2mgずつ1週間間隔で行うこととなっている。
2018/10/26	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防

禁忌・未承認・適応外DB集計20181016-20181115

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/10/26	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/10/29	適応外	その他	リトドリン塩酸塩点滴静注液50mg	産科	FGRに対する児への血流向上のための子宮収縮抑制目的
2018/10/29	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/10/29	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/10/30	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/10/31	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流産に対する子宮収縮抑制目的
2018/10/31	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による流産予防
2018/11/01	適応外	その他	ミノサイクリン注	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/11/02	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/11/02	適応外	その他	タンデトロン注射用500	呼吸器外科	肺血流量の改善目的にて投与
2018/11/05	適応外	その他	デスモプレシン注4協和	糖尿病内分泌栄養内科	DDAVP負荷試験にデスモプレシン注4協和を使用
2018/11/05	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/11/05	適応外	その他	ブリカニール皮下注0.2mg	産科	16週未満の切迫流早産症例に対する子宮収縮抑制および流早産予防
2018/11/05	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/11/05	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による流早産予防
2018/11/06	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	CAOS疑いに対する子宮収縮抑制目的
2018/11/06	適応外	その他	ナロキソン	心臓血管外科	脊髄虚血に対して
2018/11/07	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/11/07	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/11/08	適応外	その他	プレセデックス静注液200μg	肝胆膵移植外科	RASS指示の最大量で添付文書の上限を超える可能性あり
2018/11/08	適応外	その他	マグセント注100mL	産科	32週未満の早産のﾘｽｸが高い場合の児の神経保護目的
2018/11/12	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU 2千低ヘパ国際単位0.2mL	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/11/13	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/11/14	適応外	その他	アタラックス-P注射液(25mg/ml) 2.5%1mL	消化管外科	不眠
2018/10/31	適応外禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流産に対する子宮収縮抑制
2018/10/24	禁忌適応外	その他	ｱﾄﾆﾝとﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝの併用	産科	産後出血への対応
2018/10/29	禁忌	ハイリスク薬	プログラフ、スピロノラクトン	肝胆膵移植外科	プログラフ使用中。禁忌だが腹水に対してスピロノラクトン併用中。K値は問題な
2018/10/16	禁忌	その他	スピリーバ2.5μgレスピマット60吸入	眼科	肺気腫に対して使用中
2018/10/22	禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	妊娠高血圧症候群に対する血圧コントロール目的
2018/10/23	禁忌	その他	レボフロキサシン	呼吸器外科、ICT	肺MAC症（小児）
2018/11/01	禁忌	その他	セララ、ケーサプライ	肝胆膵移植外科	上記2剤併用禁忌だが、以前より併用中。なおK値は低値。
2018/11/14	禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	高血圧合併妊娠に対する血圧コントロール目的

禁忌・未承認・適応外DB集計20181116-20181215

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/11/30	未承認薬	ハイリスク薬	シドフォビル点滴静注用	血液内科	ウイルス性出血性膀胱炎に対する膀胱内注入
2018/11/16	適応外	抗がん剤	オプジーボ点滴静注	がん診療部	胸腺癌
2018/11/19	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	腫瘍内科	原発不明癌に対する治療
2018/11/19	適応外	抗がん剤	リムパーザ錠	腫瘍内科	膀胱癌
2018/11/20	適応外	抗がん剤	アブラキサン	呼吸器内科	小細胞肺癌
2018/11/20	適応外	抗がん剤	リムパーザ錠	腫瘍内科	膵癌
2018/11/22	適応外	抗がん剤	カルセド	がん診療部	胸腺癌に対する治療
2018/11/26	適応外	抗がん薬	注射用メソトレキセート50mg	産科	異所性妊娠に対する治療
2018/11/26	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2018/11/29	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2018/11/30	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	腫瘍内科	子宮頸癌
2018/12/04	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、イホマイド、シスプラチン	泌尿器科	陰茎癌に対する化学療法
2018/12/04	適応外	抗がん剤	ドセタキセル注	乳腺外科	乳癌
2018/12/10	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチン	泌尿器科	前立腺癌に対する化学療法
2018/12/10	適応外	抗がん剤	エトポシド、シスプラチン	泌尿器科	前立腺小細胞癌に対する化学療法
2018/12/11	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2018/12/12	適応外	抗がん剤	エピルビシン	皮膚科	エクリン汗孔癌に対する治療
2018/12/12	適応外	抗がん剤	カルボプラチン	皮膚科	エクリン汗孔癌に対する治療目的
2018/11/16	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器内科	胸膜癒着目的
2018/11/19	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	脳梗塞に対して、スロンノンHI注10mg/2mL 60mg 72h持続投与の後、40mg 24h持続投与。
2018/11/21	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/11/22	適応外	ハイリスク薬	ネオーラルカプセル50mg	皮膚科	水疱性類天疱瘡治療
2018/11/26	適応外	ハイリスク薬	クエチアピン錠25mg	泌尿器科	嘔気に対して
2018/11/27	適応外	ハイリスク薬	エフィエント錠3.75mg、20mg	脳神経外科	ｸﾛﾋﾟﾄﾞｸﾞﾚﾙpoor responderに対し脳動脈瘤血流変更ステント留置する際の抗血小板療法
2018/11/28	適応外	ハイリスク薬	イムラン錠50mg	脳神経内科	多発性硬化症の増悪疑い
2018/12/05	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着目的
2018/12/12	適応外	ハイリスク薬	デジレル錠25 25mg	消化管外科	不眠に対して
2018/12/13	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/12/14	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/11/26	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/11/27	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/12/06	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	子宮内胎児死亡後、児の娩出時の疼痛緩和目的で使用
2018/12/07	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/12/12	適応外	麻薬	MSコンチン錠10mg	消化器内科	難治性咳嗽
2018/11/16	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	頸管縫縮術後の血栓予防
2018/11/16	適応外	その他	ブリカニール皮下注0.2mg	産科	妊娠13週の子宮頸管縫縮術に伴う子宮収縮抑制
2018/11/16	適応外	その他	PPSB-HT静注用500単位	脳外科	イグザレルト投与中の患者における、急性重篤出血時、又は重大な出血が予想される緊急を要する手術・処置の施行時の出血傾向の抑制
2018/11/19	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	ラパロ後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/11/19	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/11/20	適応外	その他	ミノサイクリン注	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/11/20	適応外	その他	オレンシア点滴静注用250mg	免疫・膠原病内科	ゴーハム病
2018/11/20	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/11/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/11/22	適応外	その他	ビオスリー配合OD錠	産科	腸内細菌叢の改善による早産予防
2018/11/22	適応外	その他	インテバン坐剤	産科	子宮収縮抑制
2018/11/26	適応外	その他	アラベル	脳神経外科	小児における脳腫瘍部位の明確化
2018/11/27	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/11/27	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/11/27	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的

禁忌・未承認・適応外DB集計20181116-20181215

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/11/27	適応外	その他	アジスロマイシン錠250mg	眼科（呼吸器内科の処方）	肺移植後慢性拒絶
2018/11/28	適応外	その他	メスチノン錠60mg	脳神経内科	他剤で効果不十分の起立性低血圧の患者に適応外使用でメスチノン錠60mg 1回0.5錠 1日2回内服開始予定。日本神経治療学会発行の標準神経治療によると適応外使用で推奨されている。
2018/11/30	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/03	適応外	その他	ツムラ芍薬甘草湯	腫瘍内科	吃逆
2018/12/04	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/04	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するtPAの使用
2018/12/05	適応外	その他	アンナカ注20%	整形外科	抗腫瘍剤の効果増強目的
2018/12/06	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/12/06	適応外	その他	ブリカニール皮下注0.2mg	産科	腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術後の子宮収縮抑制目的
2018/12/07	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するtPAの使用
2018/12/07	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/10	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/12/10	適応外	その他	ウトロゲスタン膣用カプセル	産科	絨毛膜下血腫を伴う切迫流産の治療目
2018/12/10	適応外	その他	アドシルカ	免疫膠原病内科	オーバーラップ症候群で強皮症
2018/12/10	適応外	その他	ルネスタ錠3mg	脳神経内科	高齢（76歳）患者へのルネスタ錠3mg投
2018/12/11	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/12	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/12	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/12/12	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/14	適応外	その他	アルプロスタジルアルファデクス500μg	呼外	肺移植後の肺血流量改善目的にて使用
2018/12/14	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/11/22	禁忌適応外	ハイリスク薬	トリプタノール錠	皮膚科	緑内障患者の神経性障害疼痛
2018/11/26	禁忌	ハイリスク薬	エリキュース5mg	救急科	DVT治療
2018/11/27	禁忌	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2018/11/21	適応外禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2018/11/27	適応外禁忌	その他	アトニン-O注5単位とプロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への使用
2018/11/20	禁忌適応外	その他	アトニン-O注5単位とプロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の出血への使用
2018/12/05	禁忌適応外	その他	ｱﾄﾆﾝとﾌﾟﾛｽﾀﾙﾓﾝの併用	産科	産褥期の危機的出血への対応
2018/12/10	禁忌	その他	フランドルテープとアドシルカ	免疫膠原病内科	オーバーラップ症候群で強皮症
2018/12/11	禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	高血圧合併妊娠の血圧コントロール目
2018/12/13	禁忌	その他	セララ錠50mg	循環器内科	重度の腎機能障害患者に対する使用

禁忌・未承認・適応外DB集計20181216-20190115

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/12/26	未承認薬	その他	シドフォビル	血液内科	出血性膀胱炎
2018/12/17	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2018/12/17	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2018/12/18	適応外	抗がん剤	メソトレキセート錠2.5mg	免疫膠原病内科	皮膚筋炎
2018/12/18	適応外	抗がん剤	アブラキサン、カルボプラチン	呼吸器内科	胸腺癌に対するnabPAC/CBDCA療法
2018/12/21	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	腫瘍内科	ｸﾘﾆｶﾙｼｰｹﾝｽ検査結果に基づく、子宮頸癌に対する治療
2018/12/25	適応外	抗がん剤	注射用メソトレキセート50mg	産科	異所性妊娠に対する治療
2018/12/25	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2019/01/04	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン	がん診療部	胸腺癌に対する治療目的
2019/01/09	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2019/01/09	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌
2019/01/15	適応外	抗がん剤	テモゾロミド錠	脳外科	初発の神経膠腫(初回から維持用量で開始)
2018/12/17	適応外	ハイリスク薬	プログラフカプセル	消化器内科	クローン病の治療
2018/12/19	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	妊娠高血圧腎症の発症予防
2018/12/21	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2018/12/21	適応外	ハイリスク薬	ホスカビル	血液腫瘍内科	サイトメガロウイルス網膜炎治療
2018/12/26	適応外	ハイリスク薬	ピシバニール	呼吸器外科	胸膜癒着術
2018/12/27	適応外	ハイリスク薬	エクセグラン錠	肝胆膵移植外科	適応外でParkinson病に対して使用中
2018/12/28	適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	不育症に対する妊娠予後の改善目的
2019/01/07	適応外	ハイリスク薬	ワーファリン	消化器内科	門脈・脾静脈血栓
2019/01/09	適応外	ハイリスク薬	リクシアナOD錠30mg	循環器内科	静脈血栓塞栓症の発症抑制
2019/01/09	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	脳梗塞に対して、スロンノンHI注10mg/2mL 60mg 72h持続投与の後、40mg 16h持続投与。
2019/01/15	適応外	ハイリスク薬	エフィエント錠20mg、3.75mg	脳神経外科	ｸﾛﾋﾟﾄﾞｸﾞﾚﾙpoor responderに対し脳動脈瘤血流変更ステント留置する際の抗血小板療法
2018/12/18	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の陣痛緩和
2018/12/21	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/01/11	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/01/15	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2018/12/18	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/12/18	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/18	適応外	その他	フランドルテープ	放射線治療科	降圧目的
2018/12/19	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/19	適応外	その他	カバサール錠0.25mg	産科	OHSSの発症予防(実際は発症後に使用している)
2018/12/19	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/19	適応外	その他	セファランチン末1%	血内	ITPの治療目的
2018/12/19	適応外	その他	アルプロスタジルアルファデクス500μg	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2018/12/19	適応外	その他	レキップCR錠2mg	脳神経内科	レキップCR錠2mg 1回1錠1日1回開始3日後にレキップCR錠2mg 1回2錠1日1回へ増量予定であることについて長谷川Drに確認。退院日近いため、添付文書記載より早めに増量したいとのこと。副作用に注意しながら使用する予定。
2018/12/20	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/21	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/21	適応外	その他	アロプリノール	消化器内科	イムランの血中濃度を上げるためにアロプリを使用
2018/12/25	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg「タカタ」	免疫・膠原病内科	Behçet病に対する使用(免疫膠原病内
2018/12/26	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/26	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2018/12/26	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/27	適応外	その他	デノシン点滴静注用500mg	小児科	デノシン点滴静注用500mgの硝子体内

禁忌・未承認・適応外DB集計20181216-20190115

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2018/12/28	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/28		その他	ヘパリンカルシウム皮下注5千U/0.2mLシリンジモチダ	産科	不育症に対する妊娠予後の改善目的
2018/12/28	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2018/12/28	適応外	その他	クレキサン皮下注キット2000IU	産科	帝王切開術後の肺塞栓症および深部静脈血栓症予防
2019/01/04	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流早産に対する子宮収縮抑制目的
2019/01/04	適応外	その他	インテバンSPカプセル	皮膚科	好酸球性膿疱性毛包炎疑いに対する治療目的
2019/01/07	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2019/01/07	適応外	その他	レボカルニチン	消化器内科	末梢神経障害
2019/01/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2019/01/08	適応外	その他	ホスカビル注	皮膚科	デノシンでSJSだがCMV再活性化したた
2019/01/08	適応外	その他	セルシン錠2mg	耳鼻咽喉科	メニエール病に対する急性症状に対して
2019/01/08	適応外	その他	ヨウ化カリウム丸	皮膚科	結節性紅斑疑いに対する治療
2019/01/09	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2019/01/15	適応外	その他	アクテムラ点滴静注用80mg	免疫・膠原病内科	強皮症の治療
2018/12/26	禁忌適応外	ハイリスク薬	デキサート	産科	HELLP症候群による母体の症状改善目
2019/01/08	禁忌	ハイリスク薬	スルモンチール散10%	眼科	うつ病に対して使用中
2018/12/28	禁忌適応外	その他	アトニン-O注5単位とプロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への対応
2019/01/07	適応外禁忌	その他	エストラーナテープ0.72mg	産科	生殖補助医療におけるホルモン補充
2019/01/10	禁忌適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	妊娠20週未満の血圧コントロール
2019/01/11	適応外禁忌	その他	ベナンバックス注	皮膚科	カリニ肺炎予防(ﾀﾞｲﾌｪﾝ錠でSJS疑い、PSL30mg併用)
2018/12/17	禁忌	その他	スピロノラクトン	肝胆膵移植外科	グラセプター服用中だが腹水貯留ありスピロノラクトン併用中、現在K値問題なし
2018/12/28	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2018/12/28	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチ	肝胆膵移植外科	感染予防のため
2018/12/28	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2019/01/07	禁忌	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	高血圧合併妊娠に対する血圧コントロール目的
2019/01/07	禁忌	その他	スピオルトレスピマット	呼吸器内科	前立腺肥大に伴う排尿障害のある患者に禁忌

禁忌・未承認・適応外DB集計20190116-20190215

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2019/01/15	適応外	抗がん剤	ロイケリン	消化器内科	クローン病の寛解
2019/01/17	適応外	抗がん剤	アフィニトール錠	腫瘍内科	子宮体癌＋多発肺転移＋骨転移
2019/01/22	適応外	抗がん剤	リムパーザ	腫瘍内科	ｸﾘﾆｶﾙｼｰｸｴﾝｽ検査に基づく膵癌の治療
2019/01/25	適応外	抗がん剤	アフィニトール錠	呼吸器内科	肺癌治療
2019/01/31	適応外	抗がん剤	ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ	乳腺	乳癌
2019/02/14	適応外	抗がん剤	イリノテカン、ネダプラチン	泌尿器科	精巣腫瘍に対する化学療法
2019/02/14	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌化学療法
2019/01/18	適応外	ハイリスク薬	エフィエント	脳外科	FD術における抗血小板薬としての使用
2019/01/22	適応外	ハイリスク薬	インチュニブ錠1mg	精神科神経科	ADHDへの易刺激性の抑制目的
2019/01/23	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2019/01/23	適応外	ハイリスク薬	ラパリムス1mg錠	小児科	CTLA4ハプロ不全症に対する諸症状に対する使用
2019/01/24	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	脳梗塞に対してスロンノン持続投与（2日間以上）
2019/01/25	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	スロンノンHI注　60mg 72時間持続投与の後、40mg 24時間持続投与。
2019/01/25	適応外	ハイリスク薬	ｾﾙｾﾌﾟﾄｶﾌﾟｾﾙ250mg	血液内科	造血幹細胞移植におけるGVHD予防
2019/01/28	適応外	ハイリスク薬	クロピドグレル	脳神経内科	脳梗塞に対するDAPT開始の初日にクロピドグレル300mgでローディング
2019/01/29	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2019/01/29	適応外	ハイリスク薬	アクテムラ	免疫・膠原病内科	成人Still病の治療のため
2019/01/30	適応外	ハイリスク薬	メソトレキセート錠2.5mg	免疫膠原病内科	再発性多発軟骨炎疑い
2019/01/31	適応外	ハイリスク薬	メソトレキセート錠2.5mg	整形外科、免疫膠原病内科	皮膚筋炎に対して使用
2019/01/31	適応外	ハイリスク薬	バファリン配合錠A81	産科	APS疑い患者の妊娠予後改善目的
2019/02/06	適応外	ハイリスク薬	アザニン錠	皮膚科	落葉状類天疱瘡治療目的
2019/02/07	適応外	ハイリスク薬	シクロスポリン25mg	呼吸器内科	間質性肺炎
2019/02/08	適応外	ハイリスク薬	アクテムラ	免疫・膠原病内科	成人スティル病
2019/02/12	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	スロンノンHI注60mg　72時間持続投与。その後40mgを24時間持続投与。
2019/02/14	適応外	ハイリスク薬	リツキサン	免疫膠原病内科	全身性エリテマトーデス,横断性脊髄炎
2019/02/15	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経外科	脳梗塞
2019/02/15	適応外	ハイリスク薬	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	脳梗塞
2019/01/16	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/01/17	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/02/07	適応外	麻薬	ケタラール静注用200mg	小児科	造血幹細胞移植のGVHD予防MTXによる口腔内疼痛
2019/02/13	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/01/17	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2019/01/18	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2019/01/21	適応外	その他	ミノサイクリン注	呼吸器内科	胸膜癒着術
2019/01/21	適応外	その他	アロプリノール	消化器内科	クローン病の寛解（ロイケリンの血中濃度上昇目的）
2019/01/22	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2019/01/22	適応外	その他	オクトレオチド注100μg	耳鼻咽喉科	リンパ漏に対して
2019/01/22	適応外	その他	インデラル	消化器内科	食道静脈瘤の破裂予防
2019/01/22	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2019/01/22	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2019/01/22	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2019/01/22	適応外	その他	ミラクリッド注射液10万単位	産科	子宮内のサイトカイン産生抑制による子宮収縮抑制
2019/01/25	適応外	その他	マグセント注100mL	産科	胎児の脳神経保護目的
2019/01/28	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2019/01/29	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2019/01/30	適応外	その他	ラピアクタ	心臓血管外科	インフルエンザ暴露後の予防
2019/01/30	適応外	その他	アルプロスタジルアルファデクス500μg	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2019/01/30	適応外	その他	オクトレオチド注100μg	心臓血管外科	乳び胸水に対して
2019/01/31	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2019/01/31	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	参加	分娩時の緊急子宮弛緩
2019/02/04	適応外	その他	ロイコボリン注3mg	血液内科	大量メソトレキセート投与時の口内炎予防（含嗽として使用）
2019/02/05	適応外	その他	ミネリック-5注シリンジ 2mL	免疫内科	Zn、Cuの補充目的で2A使用

禁忌・未承認・適応外DB集計20190116-20190215

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2019/02/05	適応外	その他	ラグノスゼリー分包16.05g 40.496%	脳神経内科	腎機能低下された慢性便秘症に対してラグノスゼリー分包16.05g 1回1包1日2回朝夕食後内服。
2019/02/13	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PAの使用
2019/02/14	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫流産に対する子宮収縮抑制
2019/02/01	禁忌適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	妊娠高血圧腎症の発症予防
2019/02/15	禁忌適応外	ハイリスク薬	バイアスピリン錠100mg	産科	妊娠高血圧症候群の予防
2019/02/08	禁忌適応外	ハイリスク薬 その他	バイアスピリン錠100mg ヘパリンカルシウム皮下注5千U/0.2mLシリンジ	免内/産科	APS患者の妊娠予後改善目的
2019/01/17	禁忌適応外	その他	アトニン-O注5単位＋プロスタルモン・F注射液1000の併用	産科	産褥期の危機的出血への対応
2019/01/31	禁忌	ハイリスク薬	プログラフカプセル1mg	肝胆膵移植外科	肝移植における免疫抑制
2019/02/15	禁忌	ハイリスク薬	セレネース注5mg 0.5%1mL	精神科神経科	妊婦へのハロペリドール投与
2019/01/18	禁忌	その他	アーチスト錠10mg	循環器内科	気管支喘息疑い患者へのアーチスト錠10mg処方
2019/01/30	禁忌	その他	セララ錠50mg	循環器内科	重度の腎機能障害患者に対する使用
2019/01/30	禁忌	その他	セララ　ケーサプライ	肝胆膵移植外科	セララ服用中だが低Kのためケーサプライ併用継続中
2019/01/29	禁忌	その他	スピオルトレスピマット	呼吸器内科	前立腺肥大に伴う排尿障害のある患者に禁忌

禁忌・未承認・適応外DB集計20190216-20190315

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2019/02/18	適応外	抗がん剤	アブラキサン	腫瘍内科	小細胞肺癌に対する使用
2019/02/19	適応外	抗がん剤	CBCDA/PEM	呼吸器内科	悪性中皮腫
2019/02/19	適応外	抗がん剤	エクザール注射用10mg、メトトレキサート注	整形外科	デスモイド線維腫症
2019/03/06	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	皮膚科	頭部血管肉腫に対する治療目的
2019/02/18	適応外	ハイリスク薬	ｾﾙｾﾌﾟﾄｶﾌﾟｾﾙ250mg	血液内科	造血幹細胞移植におけるGVHD予防
2019/02/18	適応外	ハイリスク薬	リクシアナOD錠30mg	整形外科	深部静脈血栓症予防
2019/02/18	適応外	ハイリスク薬	リウマトレックスカプセル2mg	呼吸器内科（眼科入院）	サルコイドーシスに対してMTX使用
2019/02/21	適応外	ハイリスク薬	レミケード点滴静注用100 100mg	免疫・膠原病内科	再発性多発性軟骨炎
2019/02/22	適応外	ハイリスク薬	ハーフジゴキシンKY錠0.125mg	産科	胎児頻脈の治療目的
2019/02/25	適応外	ハイリスク薬	ソタコール錠40mg	産科	胎児頻脈（心房粗動）の治療目的
2019/02/25	適応外	ハイリスク薬	イグザレルト錠	循環器内科	肺静脈血栓塞栓症にヘパリンナトリウムと併用
2019/02/28	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	RDS予防
2019/03/06	適応外	ハイリスク薬	メソトレキセート注	産科	異所性妊娠に対する治療
2019/03/07	適応外	ハイリスク薬	メトトレキセート	免疫膠原病内科	皮膚筋炎
2019/03/12	適応外	ハイリスク薬	スロンノン	脳神経内科	スロンノンHI注60mg　72時間持続投与。その後40mgを24時間持続投与。
2019/03/15	適応外	ハイリスク薬	リンデロン注4mg	産科	母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制
2019/02/19	適応外	麻薬	ケタラール注	放射線治療科	IVR後の腎梗塞による強度疼痛
2019/02/25	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/02/25	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/02/27	適応外	麻薬	ケタラール静注用200mg	血液内科	造血幹細胞移植のGVHD予防MTXによる口腔内疼痛
2019/03/04	適応外	麻薬	オプソ5mg	放射線治療科	呼吸困難感
2019/03/06	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/03/11	適応外	麻薬	オキシコドン徐放カプセル	皮膚科	
2019/03/11	適応外	麻薬	オキシコドン徐放カプセル	皮膚科	ASOに対する除痛目的
2019/03/15	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/02/19	適応外	その他	ロキソプロフェンNa錠60mg	循環器内科	夜間頻尿
2019/02/25	適応外	その他	アルプロスタジルアルファデクス500μg	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2019/02/27	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	免疫膠原病内科（眼科入院）	ベーチェット病に対する使用
2019/02/28	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制目的
2019/03/01	適応外	その他	ミラクリッド注射液10万単位	産科	膣内洗浄、サイトカイン産生抑制による子宮収縮抑制
2019/03/01	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	頸管縫縮術で胎胞返納を行う際の子宮筋弛緩目的
2019/03/05	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	皮膚科	ベーチェット病に対する使用
2019/03/07	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎治療目的
2019/03/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2019/03/13	適応外	その他	ゾルピデム酒石酸塩OD錠5mg	脳神経内科	Meige症候群が疑われる患者の局所性ジストニアに対して、ゾルピデム酒石酸塩OD錠徐々に増量して15mg/day使用
2019/03/14	適応外	その他	アルプロスタジルアルファデクス500μg	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2019/03/15	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	切迫流・早産に対する子宮収縮抑制
2019/03/07	禁忌	抗がん剤	カルセド注射用20mg	呼吸器内科	心筋梗塞既往がある患者に対する小細胞肺癌治療
2019/02/26	禁忌適応外	ハイリスク薬	デキサート	産科	HELLP症候群による母体の症状改善目
2019/02/27	禁忌適応外	その他	エストラーナテープ0.72mg	産科	生殖補助医療におけるホルモン補充
2019/03/01	適応外禁忌	その他	インテバン坐剤	産科	頸管縫縮術に対する強力な子宮収縮抑制目的
2019/03/14	適応外禁忌	その他	アトニンとプロスタルモンの併用	産科	産褥期の危機的出血への使用
2019/02/25	禁忌	ハイリスク薬	アナフラニール錠25mg	眼科	抑うつ状態に対して使用
2019/03/05	禁忌	ハイリスク薬	リフレックス錠15mg	脳神経内科	リフレックス錠15mgとエフピーOD錠2.5mgの併用
2019/02/26	禁忌	その他	サラジェン顆粒0.5%	眼科（リウマチセンター処方）	気管支喘息患者に対してサラジェン使用
2019/02/27	禁忌	その他	スピオルトレスピマット	呼吸器内科	前立腺肥大症に対するCOPD治療
2019/03/04	禁忌	その他	ベサコリン散5%	他院　泌尿器科	気管支喘息患者に対する使用

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2019/03/12	禁忌	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	分娩時の緊急子宮弛緩
2019/03/12	禁忌	その他	スピロノラクトン	肝胆膵移植外科	グラセプター併用中だが腹水貯留あり併用開始

禁忌･未承認･適応外DB集計20190316-20190331

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2019/03/18	適応外	抗がん剤	ロイケリン	消化器内科	クローン病の寛解維持
2019/03/25	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	乳腺外科	乳癌治療
2019/03/25	適応外	抗がん剤	キイトルーダ	腫瘍内科	ｸﾘﾆｶﾙｼｰｹﾝｽ検査結果に基づく、乳癌に対する治療
2019/03/26	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳癌治療
2019/03/26	適応外	抗がん剤	CBCDA/ABR	呼吸器内科	胸腺癌に対する使用
2019/03/28	適応外	抗がん剤	AMR/CDDP	呼吸器内科	胸腺腫に対して使用
2019/03/28	適応外	要注意薬	バファリン配合錠A81+ヘパリンカルシウム皮下注5千U/0.2mLシリンジの併用	産科	プロテインS活性低値の妊娠予後改善目的
2019/03/20	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用5mg	産科	分娩時の疼痛緩和
2019/03/18	適応外	その他	アルプロスタジルアルファデクス500μg	呼吸器外科	肺移植後の血流維持
2019/03/19	適応外	その他	献血ヴェノグロブリンIH10%静注5g/50mL	循環器内科	劇症型心筋炎に対する使用
2019/03/20	適応外	その他	ミリスロール注1mg/2mL	産科	頸管縫縮術で胎胞返納を行う際の子宮筋弛緩目的
2019/03/20	適応外	その他	ミラクリッド	産科	膣内洗浄、サイトカイン産生抑制による子宮収縮抑制
2019/03/20	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2019/03/22	適応外	その他	プロゲデポー筋注125mg	産科	切迫早産に対する子宮収縮抑制
2019/03/25	適応外	その他	ガバペン錠200mg	脳神経内科	レストレスレッグス症候群に対して持参薬レグナイト錠600mgの代替としてガバペン錠600mg
2019/03/28	適応外	その他	ミノマイシン塩酸塩錠50mg	皮膚科	類天疱瘡治療目的
2019/03/20	適応外禁忌	その他	インテバン坐剤25mg	産科	頸管縫縮術後の子宮収縮抑制目的
2019/03/27	禁忌	要注意薬	プログラフ　スピロノラクトン	肝胆膵移植外科	腹水コントロール

別紙２

平成３１年４月１８日

京都大学医学部附属病院
医薬品安全管理責任者　松原和夫

医薬品安全管理補助者指名書

医療法施行規則第九条の二十の二* 第一項第三号イ及びロに掲げる措置を適切に実施するため、担当者として下記の者を指名します。

*平成三十年改正省令

記

所 属	職 名	氏 名	指 名 日
薬剤部	副薬剤部長	中川 貴之	平成２８年９月２８日
	副薬剤部長	米澤 淳	平成２８年９月２８日
	副薬剤部長	深津 祥央	平成２８年９月２８日
	副薬剤部長	石塚 良子	平成２８年９月２８日
	副薬剤部長	池見 泰明	平成２８年９月２８日
	講師	今井 哲司	平成３１年４月１８日
	助教	中川 俊作	平成２９年１０月２日
	薬剤主任	猪熊 容子	平成２８年１２月１２日
	薬剤主任	祝 千佳子	平成２９年１２月１３日
	薬剤主任	老本名津子	平成２８年９月２８日
	薬剤主任	岡村みや子	平成３０年９月３日
	薬剤主任	尾崎 淳子	平成２８年９月２８日
	薬剤主任	山際 岳朗	平成２８年９月２８日
	薬剤主任	吉田 優子	平成２８年９月２８日

	薬剤師	朝倉佳代子	平成３１年４月１８日
	薬剤師	家永 嘉子	平成２８年１２月１２日
	薬剤師	石橋 直哉	平成２８年１２月１２日
	薬剤師	上杉 美和	平成２８年９月２８日
	薬剤師	梶原 望渡	平成３１年４月１８日
	薬剤師	川田 将義	平成２８年１２月１２日
	薬剤師	北田 徳昭	平成３１年４月１８日
	薬剤師	北野 治廣	平成３０年９月３日
	薬剤師	佐藤栄里子	平成３０年９月３日
	薬剤師	佐藤 裕紀	平成３０年９月３日
	薬剤師	重面 雄紀	平成３０年１月４日
	薬剤師	杉本 充弘	平成２８年９月２８日
	薬剤師	都築 徹教	平成３１年４月１８日
	薬剤師	野口 葉子	平成３０年９月３日
	薬剤師	福留 唯	平成３１年４月１８日
	薬剤師	松田 裕也	平成２８年９月２８日
	薬剤師	松村 勝之	平成３１年４月１８日
	薬剤師	丸山志穂子	平成２８年１２月１２日
	薬剤師	森田真樹子	平成２８年１２月１２日
	薬剤師	森田 洋亮	平成２８年９月２８日
	薬剤師	山嶋 仁実	平成３１年４月１８日
	薬剤師	山本 将太	平成２８年１２月１２日

別紙３

病　院　協　議　会

2019年10月3日（木 ）

	氏　　名		氏　　名
1	宮　本　教　授（病院長） （脳神経外科）	28	福　田　教　授 （麻酔科）
2	伊　達　教　授（副病院長） （呼吸器外科）	29	片　岡　講　師 （脳神経外科）
3	髙　折　教　授（副病院長） （血液内科）	30	森　本　教　授 （形成外科）
4	松　田　教　授（副病院長） （整形外科）	31	湊　谷　教　授 （心臓血管外科）
5	平　井　教　授（副病院長） （呼吸器内科）	32	羽　賀　教　授 （病理診断科）
6	稲　垣　教　授 （糖尿病・内分泌・栄養内科）	33	長　尾　教　授 （検査部）
7	木　村　教　授 （循環器内科）	34	河　井　病院教授 （新生児集中治療部）
8	妹　尾　教　授 （消化器内科）	35	吉　田　講　師 （脳卒中診療部）
9	大　村　准教授 （免疫・膠原病内科）	36	松　原　教　授　　※医師以外 （薬剤部）
10	小　池　教　授 （初期診療・救急科）	37	黒　田　教　授　　※医師以外 （医療情報企画部）
11	髙　橋　教　授 （脳神経内科）	38	横　出　教　授 （地域ネットワーク医療部）
12	柳　田　教　授 （腎臓内科）	39	松　村　教　授 （医療安全管理部）
13	武　藤　教　授 （入院がん診療部）	40	清　水　教　授 （臨床研究総合センター）
14	恒　藤　教　授 （緩和医療科）	41	森　田　教　授　　※医師以外 （臨床研究総合セ臨床研究運営部）
15	坂　井　教　授 （消化管外科）	42	大　菊　特任教授　※医師以外 （臨床研究総合医療開発戦略部）
16	戸　井　教　授 （乳腺外科）	43	上　嶋　特定教授 （相談支援センター）
17	上　本　教　授 （肝胆膵・移植外科）	44	澤　本　教　授 （人間健康科学系専攻長）
18	辻　川　教　授 （眼科）	45	陳　　特定教授 （呼吸管理睡眠制御学）
19	万　代　教　授 （産科婦人科）	46	池　田　特定教授 （てんかん・運動異常生理学講座）
20	滝　田　教授 （小児科）	47	小　杉　教　授 （医の倫理委員会）
21	椛　島　教　授 （皮膚科）	48	小　西（靖）教　授 （医学教育推進センター）
22	小　川　教　授 （泌尿器科）	49	伊　藤　特定教授 （研修センター）
23	大　森　教　授 （耳鼻咽喉科・頭頸部外科）	50	井　川　　※医師以外 看　護　部　長
24	村　井　教　授 （精神科神経科）	51	佐々木　　※医師以外 事　務　部　長
25	別　所　教　授 （歯科口腔外科）	52	
26	溝　脇　教　授 （放射線治療科）	53	
27	富　樫　教　授 （放射線診断科）	54	

別紙４

管理者権限の明確化について

厚生労働省令

○　管理者が有する病院の管理運営に係る権限及び病院の管理運営のために必要となる一定の人事・予算執行権限について明確化することを求める。

○　管理者が有する権限を明確化した内部規程を特定機能病院の承認申請時に提出させるとともに、毎年報告させることで確認する。

病院の管理運営に係る権限

１．京都大学医学部附属病院規程に次のように定めている。

（略）

第２条　病院に、病院長を置く。

２　病院長は、理事又は医学研究科若しくは病院の専任の教授をもつて充てる。

３　病院長は、病院の院務を掌理する。

（略）

第１４条　この規程に定めるもののほか、病院の内部組織については、病院長が定める。

（略）

２．京都大学医学部病院協議会規程に次のように定めている。病院協議会は、病院運営に関する合議体である。

（略）

第２条　協議会は、副病院長、病院長補佐、診療科の科長、中央診療センター長及び各部・室長、医療情報企画部長、地域ネットワーク医療部長、医療安全管理部長、総合臨床教育・研修センター長、診療報酬センター長、がんセンター長、先端医療機器開発・臨床研究センター長、リウマチセンター長、ｉＰＳ細胞臨床開発部長、臨床研究総合センター長、副センター長及び各部長、看護部長、薬剤部長並びに事務部長をもって組織する。

２　前項に掲げるもののほか、病院教授の称号を付与された者を協議会組織に加えるものとする。

３　前２項に掲げるもののほか、医学研究科附属医学教育・国際化推進センター専任教授及び医学研究科人間健康科学系専攻長を協議会組織に加えるものとする。

４　前３項に掲げるもののほか、病院長が必要と認めるときは、協議会の議を踏まえて、医学研究科、医学部又は病院の教授、准教授又は講師を加えることができる。

第３条　病院協議会は、毎月１回病院長が招集し、議長となる。ただし、必要があるときは臨時に招集することができる。

（略）

３．京都大学医学部附属病院執行部内規に次のように定めている。病院執行部は、病院の業務に関し迅速な意思決定を行い、病院執行部会議において企画・実施する。

（設置）

第１条　京都大学医学部附属病院規程第１４条の規定に基づき、京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院の業務に関し迅速な意思決定を行うため、京都大学医学部附属病院執行部（以下「病院執行部」という。）を置く。

（組織）

第２条　病院執行部は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) その他病院長が必要と認めた者

（業務）

第３条　病院執行部の業務は、次に掲げるとおりとする。

(1) 病院の診療、教育、研究に関する企画及び実施に関すること。

(2) 病院の経営に関する企画及び実施に関すること。

(3) その他重要事項に関すること。

（病院執行部会議）

第４条　前条の業務を企画・実施するため、病院執行部に病院執行部会議（以下「会議」という。）を置く。

（議長）

第５条　病院長は、会議を招集し、その議長となる。

２　議長に事故あるときは、副病院長のうち議長が指名する者がその職務を代理する。

（略）

人事権限

１．京都大学医学部附属病院の診療科の組織に関する内規に次のように定めている。

（診療科長の選考）

第４条　診療科長及び専門診療科長の候補者は病院長が選考し、協議会の意見を聴くものとする。

２．京都大学医学部附属病院規程に次のように定めている。

第６条　病院に、中央診療センターを置く。

２（略）

３　中央診療センターにセンター長を置く。

４　センター長は、病院長が指名する副病院長をもつて充てる。

５～６（略）

７　前各項に定めるもののほか、中央診療センターに関し必要な事項は、病院長が定める。

３．京都大学医学部附属病院規程第６条第７項の規定に基づき、京都大学医学部附属病院中央診療センター内規に次のように定めている。

第４条　センターの部に部長を、室に室長を置く。

２　部長及び室長（以下「部長等」という。）は、医学研究科、医学部又は病院の専任の教授のうちから病院長が指名する。ただし、必要がある場合には、医学研究科、医学部又は病院の専任の准教授もしくは講師のうちから指名することができる。

（ただし、地域ネットワーク医療部、がんセンター、リウマチセンター、もやもや病支援センター、高度生殖医療センター、頭蓋底腫瘍センターについては、各内規において、部長及びセンター長を病院長が指名すると規定されている。）

４．京都大学医学部附属病院規程に次のように定めている。

第１１条　病院に次の部及びセンターを置く。

医療情報企画部
感染制御部
総合臨床教育・研修センター
診療報酬センター
先端医療機器開発・臨床研究センター
ｉＰＳ細胞臨床開発部
臨床研究総合センター
先制医療・生活習慣病研究センター
看護職キャリアパス支援センター
ＥＨＲ利用推進センター
レセプト情報等オンサイトリサーチセンター（京都）運用部
倫理支援部
クリニカルバイオリソースセンター

２　前項の部又はセンターに関し必要な事項は、病院長が定める。

（これらのうち、感染制御部長については上記３と同様に「京都大学医学部附属病院中央診療センター内規」によることとされており、それ以外は各内規において、部長及びセンター長を病院長が指名すると規定されている。（ただし、看護職キャリアパス支援センター長は看護部長、ＥＨＲ利用推進センター長及びレセプト情報等オンサイトリサーチセンター（京都）運用部長は医療情報企画部長の宛て職となっているため除く。））

予算執行権限

１．国立大学法人京都大学予算規則において病院の予算責任者は、病院長と定めている。

（略）

（予算単位と予算責任者）

第３条　会計規程第６条に定める予算単位及び予算責任者は、別表に定めるところによる。

（略）

別表（抜粋）

医学部附属病院　　病院長

２．京都大学医学部附属病院予算委員会規程に次のように定めている。

第１条　京都大学医学部附属病院における予算について審議するため、京都大学医学部附属病院予算委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第２条　委員会は、次に掲げる事項を審議する。

(1)　概算要求事項に関すること。

(2)　予算配分に関すること。

(3)　予算の執行に関すること。

(4)　その他予算に関し、委員会が必要と認めること。

第３条　委員会は、次に掲げる委員で組織する。

(1)　病院長

(2)　内科系教授２名

(3)　外科系教授２名

(4)　中央診療センターの部（室）長３名（但し、前各号の委員を兼ねることはできない。）

(5)　薬剤部長、看護部長及び事務部長

(6)　その他病院長が必要と認める者。

２　前項第１号及び第５号以外の委員は、病院長が委嘱する。

３　第一項第１号及び第５号以外の委員の任期は、２年とし再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第４条　委員会に委員長を置き、病院長をもってあてる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

４　委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

（略）

※以下の内規等は、上述の規程等を補完するもの

病院の管理運営に係る権限

４．京都大学医学部附属病院運営企画室内規に次のように定めている。

（設置）

第１条　京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院運営企画室（以下「運営企画室」という。）を置く。

（業務）

第２条　運営企画室は、病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。

（略）

５．外来医長・看護師長会議規程に次のように定めている。

第１条　病院に、外来医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第２条　会議は、各診療科外来における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) 各診療科外来における診療及び診療事務に関すること。

(2) 各診療科外来間の連絡及び調整に関すること。

(3) その他各診療科外来に関すること。

（略）

６．病棟医長・看護師長会議規程に次のように定めている。

第１条　病院に、病棟医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第２条　会議は、病棟における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) 病棟における診療及び診療事務に関すること。

(2) 病棟間の連絡及び調整に関すること。

(3) その他病棟に関すること。

（略）

７．京都大学医学部附属病院危機管理会議内規に次のように定めている。構成員は、病院執行部である。

（目的）

第１条　京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）において発生した緊急かつ重大な事案に迅速に対応するため、京都大学医学部附属病院危機管理会議（以下「危機管理会議」という。）を置く。

（業務等）

第２条　危機管理会議は、病院において発生した緊急かつ重大な医療事故、研究活動における不適合事案、院内感染、集団食中毒、天災、人災等に迅速な対応を行う。ただし、医療法に定める特定臨床研究活動及び再生医療等技術を用いる臨床研究活動における不適合事案については、この限りでない。

２　前項における対応のうち、診療行為及び研究活動の継続又は中止の判断については、危機管理会議の議を踏まえて、病院長が行う。

（組織）

第３条 危機管理会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

(1) 病院長

(2) 副病院長

(3) 病院長補佐

(4) その他病院長が必要と認める者

（議長）

第４条 病院長は、会議を招集しその議長となる。

（略）

人事権限

５．外来医長・副医長職務内規に次のように定めている。

第二条　病院各診療科外来に、外来副医長一名を置くことができる。

２　外来副医長は、当該診療科の講師または助教から、当該診療科長の推せんにより病院長が任命する。

６．病棟医長・副医長職務内規に次のように定めている。

第二条　病院各病棟に、病棟副医長一名を置くことができる。

２　病棟副医長は、当該部局の講師または助教から、当該部局長の推せんにより病院長が任命する。

７．京都大学医学部附属病院医員等取扱要項に次のように定めている。

１．医員

第１（略）

第２　医員の採用は、関係診療科の長・診療部の長（以下「診療科長等」という。）の意見を参考に、病院長が選考のうえ、決定する。

第３（略）

２～４（略）

第４（略）

第５（略）

２．医員（研修医）

第６（略）

第７　医員（研修医）の採用は、別に定める要件を満たした者の中から病院長が決定する。

別紙５

国立大学法人京都大学医学部附属病院業務監督会議規程

（平成３０年９月１１日総長裁定）

（趣旨）

第１条　国立大学法人京都大学（以下「本学」という。）に、医学部附属病院業務監督会議（以下「監督会議」という。）を置く。

（業務）

第２条　監督会議は、京都大学医学部附属病院（以下「附属病院」という。）の運営方針、中期計画、予算及び決算その他の附属病院の管理運営に関する重要事項について監督し、必要と認めるときは、総長に対し意見を述べるものとする。

（構成）

第３条　監督会議は、次の各号に掲げる委員７名以上で組織する。

(1) 総長が指名する理事又は副学長

(2) 本学の役員又は職員以外の者のうちから総長が任命するもの

(3) その他本学の教職員のうちから総長が必要と認める者　若干名

２　前項第２号の委員は、本学と利害関係を有しない者でなければならない。

３　監督会議の委員の過半数は、第１項第２号の委員でなければならない。

４　第１項第３号の委員は、総長が委嘱する。

５　第１項第２号及び第３号の委員の任期は、２年とし、再任を妨げない。ただし、任命し、又は委嘱する総長の任期の終期を超えることはできない。

６　前項の規定にかかわらず、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（議長）

第４条　監督会議に議長を置き、前条第１項第１号の委員のうちから総長が指名するものをもって充てる。

２　議長は、監督会議を主宰する。

３　議長に事故があるときは、前条第１項第１号の委員のうちからあらかじめ総長が指名するものが、その職務を代行する。

（招集）

第５条　監督会議は、議長が招集する。

２　議長は、委員総数の３分の１以上から共同して書面により要求があったときは、監督会議を招集しなければならない。

（開会）

第６条　監督会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開会することができない。

（委員以外の者の出席）

第７条　監督会議は、必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

（雑則）

第８条　監督会議に関する事務は、医学部附属病院事務部総務課において処理する。

第９条　この規程に定めるもののほか、監督会議の議事の運営その他必要な事項は、監督会議が定める。

附　則

１　この規程は、平成３０年９月１１日から施行する。

２　この規程の施行後最初に任命し、又は委嘱する第３条第１項第２号及び第３号の委員の任期は、同条第５項本文の規定にかかわらず、平成３２年９月３０日までとする。

別紙６

京都大学医学部附属病院業務監督会議　委員名簿

2019年10月1日現在

氏　名 任　期	役 職 名	備　考
潮 見 佳 男 2019.4.1～	京都大学副学長（法務担当）	議長 特別な関係有
佐 藤 直 樹 2019.4.1～	京都大学理事（財務担当）、副学長	特別な関係有
田 中 一 成 2019.4.1～2020.9.30	静岡県立病院機構　静岡県立総合病院　院長	特別な関係無
邉 見 公 雄 2019.4.1～2020.9.30	全国自治体病院協議会　名誉会長 全国公私病院連盟　会長	特別な関係無
松 井 道 宣 2019.4.1～2020.9.30	京都府医師会　会長	特別な関係無
森 本 泰 介 2019.4.1～2020.9.30	京都市立病院機構　京都市立病院　院長	特別な関係無
山 口 育 子 2019.4.1～2020.9.30	認定NPO法人　ささえあい医療人権センター　理事長	特別な関係無

注）外部委員は、氏名の五十音順に記載